

Ⅲ 事 業 編

第 1 母子保健事業

1 母子保健の歩み

- 昭和 23 年 妊産婦・乳幼児の健康診査を開始
- 昭和 36 年 3 歳児健康診査を開始
- 昭和 40 年 母子保健法制定
- 昭和 41 年 3 か月児健康診査と同時にツベルクリン反応・BCG 接種を開始
- 昭和 44 年 乳幼児心臓疾患精密検診開始
- 昭和 48 年 「碧南市健康を守る会」に小児保健部会が発足
- 昭和 51 年 小児保健部会を母子保健部会に名称変更
3 か月児・2 歳児健康診査開始、合わせて 3 歳児健康診査（保健所事業）を保健センターで実施
- 昭和 53 年 1 歳 6 か月児健康診査を開始、2 歳児健康診査を中止
- 昭和 55 年 母子モデル地区地域育成事業を開始
- 昭和 57 年 母子健康手帳の交付及び妊婦保健指導を開始
3 歳児健康診査に眼位検査及び視力検査を導入し乳幼児の目の相談を併設
ことば教室を開始
- 昭和 58 年 むし歯のできにくいおやつ教室を開始
- 昭和 59 年 育児相談を開始
- 昭和 61 年 パパとママの育児教室を開始
- 昭和 62 年 新婚学級を開始
- 平成元年 新婚学級をニューライフセミナーに名称変更
- 平成 2 年 ことばの教室をのびのび教室に名称変更
- 平成 2 年 ニューライフセミナーを新婚セミナーに名称変更
- 平成 4 年 3 歳児健康診査に聴覚検査を導入
すくすく教室を開始
母子保健法改正で母子健康手帳の交付が市に委譲、並びに母親教室が市に委譲
され、パパとママの育児教室と合わせてパパママ教室に名称変更し開始
- 平成 8 年 乳幼児心臓疾患精密検診を廃止
- 平成 9 年 地域保健法の施行により、妊婦・乳児健康診査を医療機関委託及び保健センターで開始。3 か月児・3 歳児健康診査、新生児訪問も市主催で開始

- これらに併せて、離乳食講習会、乳幼児経過観察クリニックを開始
6月おやつ教室をかむかむ教室に名称を変更
- 平成11年 マタニティークッキング教室を開始
- 平成12年 子育て広場を開始
- 平成13年 2歳児育児相談開始
乳幼児事故アンケート実施、妊娠中の喫煙についてアンケート実施
- 平成14年 新婚セミナー中止
のびのび教室を月2回実施
- 平成15年 子育て広場を年6クール開催（1クール4回の実施）
母子健康手帳の交付について初産婦は、毎週水曜日午前中集団教育と個別相談を実施（2月から）
のびのび教室を2グループに分け、月3回実施
子育てママのヘルシークッキング教室を開始
- 平成16年 のびのび教室を10月から月4回実施
すくすく教室の内容を見直し1クール4回実施（年4クール）
子育て講演会を実施
母子保健推進員養成講習会の実施
3月から母子保健推進員（25名）による赤ちゃんお誕生おめでとう訪問（第1子のみ）を開始
経過観察クリニックを中止
- 平成17年 かむかむ教室を中止し、対象年齢を1歳児として6月より歯と栄養のおたんじょうび教室を開始
1月から赤ちゃんお誕生おめでとう訪問を全出生児とする。また、産後うつのアンケートを全産婦に実施
1月から母子保健推進員が運営主体で赤ちゃんサロンを開始
母子保健推進員の第2期生の養成講習会及び第1期生のフォローアップ研修会の実施
- 平成18年 妊婦健康診査受診（公費負担）を2回から3回にする
マタニティークッキング教室を年6回から毎月1回（年12回）とし、講話内容を3つに変更し実施
子育てママのヘルシークッキング教室を子育てママの食育クッキング教室に名称を変更
- 平成19年 妊婦健康診査受診（公費負担）を3回から7回にする

- 歯と栄養のおたんじょう日教室をかむかむ教室に名称変更する
- しんまいママのふれあいサロンを中止する
- すくすく教室の対象年齢及び内容を変更する
- 平成 20 年 妊婦健康診査受診（公費負担）を 7 回から 14 回に変更する
（妊婦健診の一部を補助する受診票の交付）
- 平成 21 年 養育支援訪問事業の中核機関としてケース検討会の開催及び訪問の開始
- 平成 22 年 妊婦健康診査の公費負担での検査項目を追加
- 平成 23 年 妊婦健康診査の公費負担での検査項目を追加（HTLV－1 抗体検査）
- 平成 25 年 離乳食講習会をごっくん教室（離乳食前期）に名称変更し、もぐもぐ教室（離乳食後期）」を隔月で開始
- かむかむ教室を毎月実施から隔月実施にする
- 平成 25 年 4 月 1 日以降に出産した産婦に産婦健康診査受診票を交付（公費）
- 母子保健法（第 18 条）に基づく低出生体重児届出先が市町村に変更され、未熟児の家庭訪問が市町村に移譲
- パパママ教室の内容に、乳幼児の泣きについてなどを追加
- 平成 25 年 4 月から 3 か月児健康診査と同日で実施していた BCG 接種を対象月齢の変更に伴い、別日での実施に変更
- 平成 26 年 3 歳児健康診査の耳鼻科医師による聴覚診察を平成 27 年 3 月で終了
- すくすく教室の参加月を偶数月とし 4 回参加とする
- 平成 27 年 3 か月児健康診査に股関節に関するアンケートを取り入れる
- 平成 28 年 プレママ食育教室を中止し、初産婦向け母子健康手帳交付時（集団教育）に栄養指導を実施
- 一般不妊治療費助成を全額助成にする。特定不妊治療費助成を、平成 28 年 7 月から申請受付開始（平成 28 年 4 月 1 日の医療費から適用）
- 平成 29 年 ごっくん教室、もぐもぐ教室、かむかむ教室を離乳食教室 前期・後期・完了期と名称変更し、離乳食の進行に合わせた時期に受講
- 平成 30 年 のびのび教室を、参加対象年齢を 2 グループに分けて実施
- 11 月から子育て世代包括支援センターを開始
- 令和元年 令和 2 年 1 月から産後ケア事業を開始
- 令和 3 年 新生児聴覚検査（公費負担）を開始する。（令和 3 年 4 月 1 日以降に生まれた児から対象）
- 令和 5 年 産婦健康診査を 1 回から 2 回に変更する
- 多胎妊娠の場合、5 回分の妊婦健康診査を追加する

2月から出産・子育て応援事業を開始

2 母子健康手帳交付

(1) 目的

妊娠届出書に基づき、母子健康手帳を交付し、妊娠中の管理及び産後・子どもが6歳になるまでの健康状態を記録し、保管する。

(2) 実施方法

初産婦は毎週水曜日 9時から10時（受付8時45分から）に集団で交付

経産婦は平日の午前中（祝日および12月29日から1月3日を除く）に個別で交付

(3) 交付状況

（単位：人）

交付数	初産	経産	11週以内		12～19週		20～27週		28週以降		分娩後	
			初産	経産	初産	経産	初産	経産	初産	経産	初産	経産
528	218	305	207	293	8	8	2	3	1	1	0	0
双子 3 品胎 1	集団交付 126		500 (95.6%)		16 (3.1%)		5 (1.0%)		2 (0.4%)		0 (0%)	

(4) 母子健康手帳交付時の健康状態

異常なし：515人

異常あり：8人

(5) 実施内容（初産婦の集団指導）

ア 講話の内容：母子健康手帳の大切さ、利用方法及び妊娠中に気を付けること、出産後の手続き（保健師）

妊娠中の食事内容の注意点について（食事バランス、体重管理・貧血予防等）（栄養士）

口腔の健康と妊婦歯科健康診査のすすめ（歯科衛生士）

イ グループワーク（情報交換）

ウ 個別相談（妊娠届出書のアンケートに基づいて）

3 妊産婦・乳児健康診査

(1) 目的

健診を通じて異常の早期発見を図るとともに、適切な指導を行う。経済的負担の軽減を図り、無事に出産を迎えることができることを目的とし、一部を補助する「受診票」を交付する。

(2) 交付

母子健康手帳交付時に、妊婦健康診査（１４回分）、産婦健康診査（２回分）、新生児聴覚検査（１回分）、乳児健康診査（２回分）の受診票を発行

多胎妊娠者には妊婦健康診査５回分を追加交付

(3) 受診状況（医療機関委託・償還払い）

（単位：件）

	受診数	判定結果	
		異常なし	異常あり
妊婦健康診査 第 １回－１	518	438	80
妊婦健康診査 第 ２回	499	484	15
妊婦健康診査 第 ３回	472	465	7
妊婦健康診査 第 ４回	488	482	6
妊婦健康診査 第 ５回	473	463	10
妊婦健康診査 第 ６回	462	449	13
妊婦健康診査 第 ７回	451	425	26
妊婦健康診査 第 ８回	476	228	248
妊婦健康診査 第 ９回	390	369	21
妊婦健康診査 第 10回	455	375	80
妊婦健康診査 第 11回	428	419	9
妊婦健康診査 第 12回	451	285	166
妊婦健康診査 第 13回	306	294	12
妊婦健康診査 第 14回	182	174	8
妊婦健康診査 第 １回－２	505	484	21
産婦健康診査 第 １回	505	494	11
産婦健康診査 第 ２回	366	361	5
新生児聴覚検査	399	389	10
乳児健康診査 第 １回	498	450	48
乳児健康診査 第 ２回	458	436	22

(4) 健診結果（健康診査結果報告書の内訳）

妊婦健診結果

（単位：件）

	高血圧・ 蛋白尿	貧血	その他	HBs 抗 原陽性
1 回目	15	27	76	1
8 回目	15	191	98	—
12 回目	7	146	35	—

※重複あり

貧 血：Hb11.0g/dl 未満

高血圧：140/90mmHg 以上

蛋白尿：（++）以上

新生児聴覚検査結果

乳児健診結果

（単位：件）

	身体 発育	運動 発達	心疾患	その他
1 回目	1	0	16	31
2 回目	1	10	3	8

※重複あり

※ その他の内容

1 回目 性分化疾患、色素失調症など

2 回目 歌舞伎症候群など

（単位：件）

	両耳	右耳のみ	左耳のみ
Refer（要再検査）	3	5	2

4 パパママ教室

(1) 目的

夫婦になる心構えや子どものいる夫婦関係を考えながら育児の具体的な方法を学び、豊かな子育てと健やかな家庭づくりの手助けをする。

(2) 内容

ア 講演「子育てに大切なコミュニケーション～もうすぐ赤ちゃんに出会うみなさまへ～」

講師：同志社女子大学現代社会学部現代こども学科 教授 勝浦 眞仁氏

イ 講話「赤ちゃんとの暮らし」 抱っこの仕方・おむつ交換・お風呂の入れ方など

ウ グループ学習「赤ちゃん、なぜ泣くの？どう泣くの？」

乳幼児揺さぶられ症候群についてのDVD視聴、赤ちゃんの泣き声をCDで聞き、乳児の泣きや対応方法について理解する。また、参加者同士で意見交換をし、学習を深める。

(3) 日時

6月、9月、12月、3月の日曜日 9時30分から12時

(4) 対象

母子健康手帳の交付がされている妊婦とその夫、家族

(5) 参加状況

実施回数 4回 参加人数 69人（うち妊婦数 35人）

5 離乳食教室 前期

(1) 目的

授乳・離乳の支援ガイド、乳幼児身体発育曲線の活用・実践ガイドに基づき、離乳食開始時に必要となる基本の知識を中心に普及するとともに、保護者自身が食事内容を振り返り、バランスの良い食事につながるきっかけとする。

(2) 内容

ア 講話「離乳食前期の進め方（栄養士）」・「離乳食の食べさせ方（歯科衛生士）」

イ 試食、質疑応答

(3) 日時

毎月第4水曜日 13時15分から14時15分

(4) 対象

生後4か月から6か月ごろの児をもつ保護者及び家族

(5) その他

試食調理は碧南市健康づくり食ボランティアの協力を得ている

(6) 参加状況

実施回数 12回 参加数 111組

6 離乳食教室 後期

(1) 目的

授乳・離乳の支援ガイド、乳幼児身体発育曲線の活用・実践ガイドに基づき、生後7か月から11か月頃の児の発達と事故予防、離乳食中期・後期の進め方、食べ方のコツについて普及する。

(2) 内容

講話「発達と事故予防（保健師）」・「離乳食後期の進め方（栄養士）」・「食べる意欲の作り方（歯科衛生士）」、試食、質疑応答

(3) 日時

偶数月第1金曜日 10時から11時15分

(4) 対象

7か月から11か月の児とその保護者及び家族

(5) その他

試食調理は碧南市健康づくり食ボランティアの協力を得ている

(6) 参加状況

実施回数 6回 参加数 75組

7 離乳食教室 完了期

(1) 目的

授乳・離乳の支援ガイド、乳幼児身体発育曲線の活用・実践ガイドに基づき、前歯の生えてきた1歳から1歳半頃の児を対象に、この時期の発達と子どもへの関わり方、離乳食完了期の進め方、そしゃくについて伝える。

(2) 内容

講話「1歳から1歳半頃の発達と子どもへの関わり方（保健師）」・「離乳食完了期の食生活と好き嫌いについて（栄養士）」・「そしゃくの練習（歯科衛生士）」、試食、質疑応答

(3) 日時

奇数月第3金曜日 10時から11時15分

(4) 対象

1歳から1歳半頃の児とその保護者及び家族

(5) その他

試食調理は碧南市健康づくり食ボランティアの協力を得ている

(6) 参加状況

実施回数 6回 参加数 58組

8 すくすく教室

(1) 目的

1歳6か月から2歳までは発達の過程から育児が大変な時期である。この時期の育児不安や育児に困っている親が、子どもとの関わりを見つめ直す機会とする。また、不安などを相談できる場所があることを知ってもらい、親が育児を抱え込まないようにする。

(2) 内容

ア 自由遊びと個別相談

イ 全体遊び

ウ 親グループ（隔月）

(3) 日時

毎月第1金曜日 9時30分から11時

(4) 対象

1歳6か月から2歳の児とその保護者

(5) 定員

12組

(6) 参加期間

4か月間

(7) 従事者

保健師4名から6名、保育士1名、心理相談員1名、栄養士1名、歯科衛生士1名

(8) 参加状況

(単位：人)

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	延参加者数
参加数	3	2	8	6	7	8	65
実施月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実参加者数
参加数	4	2	6	7	4	8	24

9 他機関からの依頼による健康教室

	実施回数(回)	参加人数(人)	担当
子育て支援センター等	7	76	保健師、栄養士
小学校、中学校	5	890	保健師
高等学校	1	10	保健師

10 乳幼児健康診査

(1) 乳幼児健康診査の結果

(単位：人)

		3か月児健康診査		1歳6か月児健康診査		3歳児健康診査	
対象者数		526		553		581	
受診者数		530	100.8%	550	99.5%	582	100.2%
判定区分	問題なし	405	76.4%	403	73.3%	467	80.2%
	要観察	28	5.3%	87	15.8%	54	9.3%
	要精密	47	8.9%	22	4.0%	27	4.6%
	要治療	7	1.3%	8	1.5%	0	0%
	既医療	43	8.1%	30	5.5%	34	5.8%
判定区分不明		0	—	0	—	0	—

(2) 乳幼児健康診査の結果の疾患別内訳（別表1から3 36から38ページ参照）

(3) 乳幼児健康診査の精密検査受診結果（別表4 39ページ参照）

(4) 子育て支援（保健指導・支援）の結果

ア 3か月児健康診査

(単位:人)

	支援不要	自ら対処 可能	保健機関 継続支援	機関連携 支援	状況確認	未入力
子の要因（発達）	522	3	1	0	3	1
子の要因（その他）	458	34	1	0	36	1
親、家庭の要因	485	25	8	2	9	1
親子関係	524	2	3	0	0	1
実件数	414	59	9	2	45	1

イ 1歳6か月児健康診査

(単位:人)

	支援不要	自ら対処 可能	保健機関 継続支援	機関連携 支援	状況確認	未入力
子の要因（発達）	263	59	29	1	198	0
子の要因（その他）	529	15	0	0	6	0
親、家庭の要因	519	16	6	3	6	0
親子関係	527	21	0	1	1	0
実件数	234	86	28	2	200	0

ウ 3歳児健康診査

(単位:人)

	支援不要	自ら対処 可能	保健機関 継続支援	機関連携 支援	状況確認	未入力
子の要因（発達）	397	89	31	7	58	0
子の要因（その他）	551	29	0	0	2	0
親、家庭の要因	558	16	4	0	4	0
親子関係	575	5	1	0	1	0
実件数	367	115	32	7	61	0

1.1 乳幼児の眼科スクリーニング

乳幼児の眼の異常は早期発見することが必要である。昭和57年度から乳幼児健康診査（3か月・1歳6か月）時の医師によるスクリーニング、保護者からのアンケート調査（1歳6か月・3歳）、眼科医師による眼位検査（3歳児）および目の健康相談、令和4年度からはスポットビジョンスクリーナーを実施している。

(1) 目の健康相談実施状況（3歳児眼位検査に併設）（単位：人）

	対象者数	受診人数	未受診人数
1歳6か月児アンケート	0	0	0
合計	0	0	0

※1歳6か月児アンケートの「はい」と回答のあった人数：59人

(2) 目の健康相談結果（0人）

異常なし 0人 要精密検査 0人

(3) 3歳児健診 視覚アンケート・視力検査・スポットビジョンスクリーナー・

眼位検査結果 ※重複あり

（単位：人）

眼位検査実施数		582	
家庭での視力測定		582	
内訳	両眼可	351	
	未実施又は理解不能	19	
	右眼、左眼ともに 0.5 不可	33	
	右眼 0.5 不可又は、左眼 0.5 不可	8	
スポットビジョンスクリーナー実施数		582	
内訳	異常なし	536	
	異常の疑い	42	
	再掲	遠視	2
		不同視	4
		乱視	32
		斜視	5
		近視	0
	測定不能	2	
	未実施	2	
	管理中		13
事後処理	問題なし	317	
	指導	15	
	家庭での視力測定再努力	191	
	精密検査	57	

事後処 理	内 訳	屈折異常疑	44
		眼位異常疑	4
		その他	10
	検査不能		2

ア 管理中の内容（13人）

乱視（1人） デルモイド（1人） 遠視（2人） 斜視（1人）
 さか睫毛（1人） 左眼瞼疣贅（1人） 左眼神経麻痺、眼瞼下垂（1人）
 内斜視、遠視（1人） 睫毛乱生（1人） 斜視、弱視（1人）
 間歇性外斜視（2人）

イ 再視力測定児追跡結果

(ア) 書類返送あり 64人
 異常なし 53人 異常あり 11人
 (イ) 書類返送なし 127人

1.2 心理相談

(1) 目的

言語面や社会面等の発達に関しての心配や不安についての軽減を図る。

(2) 対象

ア 1歳6か月児健診及び3歳児健診において言語面や社会面等の発達について経過観察が必要と思われる児

イ 保護者等から相談で必要と認められた児

(3) 実施状況 (単位：人)

1歳6か月児	3歳児	その他	合計
18	15	4	37

1.3 幼児健康診査での栄養相談

(1) 目的

規則正しくバランスの良い食生活ができるよう、保護者に具体的なアドバイスをし、
 児の健やかな成長ができるように栄養士が援助する。

(2) 対象

ア 1歳6か月児及び3歳児健診受診の親子（栄養資料は個別に説明・配布）

- イ 1歳6か月児及び3歳児健診において体重増加不良、肥満傾向等の認められる児
ウ 相談を希望する親子

(3) 相談実施状況 (単位：人)

1歳6か月児	3歳児	合計
70	63	133

相談内容 (単位：人)

	1歳6か月児	3歳児
偏食	31	43
食生活	16	4
身長・体重	3	5
肥満	0	1
間食	8	0
小食	4	6
多食	3	0
授乳	1	0
アレルギー	4	1
食べムラ	0	3

1 4 3歳児健診 耳の聞こえのアンケート・聴覚検査結果

聴力検査結果 ※重複あり (単位：人)

異常なし	470
主治医管理	3
異常の疑い（滲出性中耳炎等）	2
異常の疑い（難聴等）	22
家庭での聴力検査再努力	88

(1) 管理中の内容

右耳難聴（1人） 未熟児管理中（2人） 双胎

(2) 再聴力検査追跡結果

ア 書類返送あり 35人

異常なし 32人 異常あり 3人

イ 書類返送なし 53人

1 5 育児相談、歯科相談

(1) 目的

育児における心配や不安の軽減を図り、こどもの発育状況に応じた育児の援助をする。

(2) 内容

身体計測（必要に応じて頭囲、胸囲）、育児相談、歯科相談

(3) 実施日、実施場所

ア 育児相談・歯科相談：保健センター 毎週月曜日 9時から11時

イ 2歳児育児相談：保健センター 毎月第1水曜日午後

ウ 子育て支援センター育児相談：

と一ぶ、たなおっこ、ららくるにしばた 各施設年4回（午前）

こころつくしんかわ 年6回（午前）

(4) 対象

相談等を希望する乳幼児の保護者・乳幼児健診事後として必要と思われる児

(5) 実施状況

（単位：人）

育児相談(46回)			2歳児 育児相談 (12回)	子育て支援センター育児相談				計
	初回	再来		と一ぶ (4回)	たなおっこ (4回)	ららくる にしばた (4回)	こころつく しんかわ (6回)	
乳児	202	283	—	3	5	4	6	503
幼児	135	287	143	16	19	11	16	627
計	337	570	143	19	24	15	22	1130

ア 来所目的 ※重複あり

（単位：人）

	育児相談	2歳児育児相談
身体計測	784	75
健診事後	66	67
育児相談	64	9
栄養相談	99	—
歯科相談	144	—

イ 相談内容 ※重複あり

（単位：人）

	育児相談	2歳児育児相談
栄養・食事	113	1
歯について	145	0

	育児相談	2歳児育児相談
発達について	64	74
身長・体重	839	101
育児全般	31	2
その他	8	0

16 栄養相談

(1) 目的

乳幼児の栄養を中心とする心配や不安を軽減し、児の健やかな成長ができるようにする。

(2) 内容

栄養士による個別相談

(3) 実施日・場所

月2回（月曜日）9時から11時 保健センター

(4) 対象者

相談を希望する保護者

(5) 実施状況

(単位：人)

	乳児	幼児	合計
栄養相談	66	41	107

相談内容

(単位：人)

離乳食	48
量	16
偏食	19
授乳	5
食生活	5
体重	4
小食	4
間食	4
アレルギー	2

17 のびのび教室

(1) 目的

- ア ことばや発達の遅れなどに心配がある親子に対し、集団保育・親子遊び等を通して発達を促す。
- イ 保護者が情報交換を通して、育児について一緒に考え、よりよい育児ができるように支援する。

(2) 内容

- ア 自由遊びと設定保育
- イ 親グループ（毎月1回）
- ウ 心理相談

(3) 日時

- ア ひよこグループ（2歳から2歳7・8か月未満）
毎月第1・3火曜日 9時30分から11時
- イ ぞうグループ（2歳7・8か月から就園まで）
毎月第2・4火曜日 9時30分から11時

(4) 対象

- ア 1歳6か月児健診及び3歳児健診で、ことばや発達の遅れなどの心配のある児
- イ 保護者等からの相談で保健師が必要と認めた児

(5) 参加状況（令和5年度 実施回数48回 実人数42人）

4年度からの継続参加児	11人
5年度からの参加児	31人（うち、見学のみ2人）
ひよこグループ	実25人（延べ127人）（うち見学のみ1人）
ぞうグループ	実22人（延べ138人）（うち見学のみ1人）
ひよこグループからぞうグループへ移行した児	5人

ア 月別参加状況（単位：人）

ひよこグループ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加人数	11	4	8	8	9	9	6	12	13	13	19	15	127

ぞうグループ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加人数	8	6	12	6	8	10	12	17	12	12	16	19	138

イ 年齢（初回参加時） (単位：人)

	男	女	計
2～3 歳未満	23	14	37
3～4 歳未満	3	2	5
計	26	16	42

ウ 参加の主問題 ※重複あり (単位：件 ()内は人)

	男	女	計
ことば遅れ	21	13	34
かんしゃく	1	1	2
おちつきなし	9	7	16
母の育児不安	0	0	0
発達の遅れ	0	0	0
そ の 他	1	0	1
計	32 (26)	21 (16)	53 (42)

その他の内容

人見知り・場所見知り 1 人

エ 参加後の状況 (単位：人)

に じ の 学 園 入 園	1
保育園・幼稚園入園	10
卒 業	5
次 年 度 継 続	14
福祉課親子支援事業	10
そ の 他	2
計	42

その他の内容

転出のため終了 1 人 母の出産のため終了 1 人

(6) 従事者

保健師 4 名から 5 名 保育士 1 名 心理相談員 1 名

18 母子保健推進員

(1) 目的

身近な地域にいる育児についての相談相手として、また保健センターとのパイプ役と

して母子保健推進員を養成し、保健センターの母子保健活動の充実を図るとともに子育て支援のひとつとして、子育てを地域で支える基盤作りの担い手とする。

(2) 定員

50名

(3) 職務

ア 乳児のいる家庭を訪問(育児情報の提供と記念品を持参)

イ 各種事業への協力

ウ 地域において母子保健の問題の把握に関すること及び知識の普及に関すること

エ その他母子保健の推進に関すること

(4) 委嘱人数

33名(令和5年4月1日現在)

(5) 活動内容

ア 赤ちゃんお誕生おめでとう訪問

(ア) 従事実人数 15名(2名1組で訪問)

(イ) 訪問件数 302件

イ 赤ちゃんサロン

(ア) 従事実人数 23名(1回につき6名)

(イ) 開催回数 24回

(ウ) 従事延人数 136名

(6) 養成講習会

(単位：人)

内 容		参加人数
第1回	母子保健推進員とは、母子保健推進員活動の概要	3
第2回	家庭訪問の演習、先輩母子保健推進員との交流	3
第3回	話の聞き方、まとめ	3

19 母子保健推進員フォローアップ研修

(1) 目的

碧南市母子保健推進員として知識を高め、今後の赤ちゃんお誕生おめでとう訪問及び教室事業の活動に役立てる。

(2) 実施状況

(単位：人)

実施日	内 容	講師・担当	参加人数
5月26日	令和4年度母子保健推進員活動実績	健康課職員	11
7月6日	講演「子どもの快適な睡眠について」	妊婦と IPHI 乳幼児睡眠コンサルタント 近藤清美氏	14
9月21日	蒲郡市母子保健推進員との交流会	蒲郡市母子保健推進員 6人	11
11月9日	講演「助産院での産後ケア～そこからみえるもの～」	かとう助産院 加藤朋子氏	10
1月18日	離乳食について 口腔について	健康課職員	13
3月28日	令和6年度母子保健推進員活動について	健康課職員	14

20 赤ちゃんお誕生おめでとう訪問

(1) 目的

- ア 身近な地域に育児相談ができる人がいることを知ってもらう。
- イ 産婦の育児不安などを早期に把握し、心配に応じ保健師等の訪問へとつなげる。
- ウ 育児に役立つ情報の提供。

(2) 対象

令和5年2月から令和6年1月生まれの児とその保護者（生後2か月頃に訪問）

(3) 訪問従事者

母子保健推進員又は市職員

(4) 実績

(単位：人)

対象数（乳児）	保護者数	母子保健推進員による訪問	市職員による訪問	訪問未実施
505	499	302	193	14

※訪問実績には対象者以外（月遅れの訪問等）も含む

未実施の理由：

里帰り中10人（すべて里帰り先へ依頼）

不在4人（居住実態が他市のため他市へ依頼1件、予定が合わず令和6年4月訪問予定3件）

2.1 赤ちゃんサロン

(1) 目的

ア 月齢の低い児をもつ保護者が安心して集える場とする。

イ 保護者同士が交流し仲間づくりをすることで、育児の孤立化を防止する。

(2) 対象

生後5か月までの児とその保護者

(3) 従事者

母子保健推進員6名、保健師

(4) 実施日

月2回 木曜日 実施回数24回

(5) 実施場所

保健センター

(6) 参加者数

開催回数(回)	参加組数(組)	参加者数(人)	新規組数(組)
24	293	587	81

2.2 家庭訪問

(1) 目的

ア 妊産婦及び乳幼児の健康の保持増進のための訪問指導を行う。

イ 新生児及び乳幼児の育児支援としての母子訪問指導を行う。

ウ 乳幼児健診などで継続支援の必要な児に対して訪問指導を行う。

(2) 実績

(単位：件数)

対 象	妊産婦	新生児	乳 児	幼 児	その他	合 計
延件数	185	19	185	63	75	527

※妊産婦、乳児の件数は、「赤ちゃんお誕生おめでとう訪問」を含む

2.3 養育支援訪問事業

(1) 目的

養育支援が特に必要であると判断した家庭に対して、養育に関する指導、助言等を行

うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する。

(2) 対象

- ア 妊娠期から継続的な支援を特に必要とする家庭
- イ 子育てに対して強い不安や孤立感等を抱える家庭
- ウ 虐待のおそれやそのリスクを抱える、特に支援が必要と認められる家庭

(3) 支援内容

目標、支援計画に基づき下記のような支援を行う

- ア 安定した妊娠・出産・育児を迎えるための相談支援
- イ 育児不安の解消や養育技術の提供のための相談支援
- ウ 養育環境の維持改善や児の発達に関する相談支援

(4) 支援員

養育支援員、保健師

(5) 支援数

(単位：人)

対象者数	支援回数	ケース検討回数
0	0	0

支援終了者 0人 継続支援数 0人 検討のみ 0人

(6) 検討会議構成メンバー

刈谷児童相談センター、こども課、養育支援員等支援に係わる関係機関

(7) 中核機関

健康課

2 4 一般不妊治療費助成事業

(1) 目的

不妊治療を受けている夫婦に対し、不妊治療に要する費用を助成することにより、当該夫婦の経済的な負担の軽減を図り、もって少子化対策の推進に寄与する。

(2) 対象者

法律上の夫婦又は事実上の婚姻関係にあることが確認できる夫婦で、次のいずれにも該当する方

- ア 申請時において、夫婦の一方又は両方が碧南市に住所を有していること
- イ 医療機関によって一般不妊治療が必要であると認められたこと
- ウ 夫婦いずれもが、医療保険各法の規定による被保険者、組合員又は被扶養者であること

(3) 助成の対象

不妊の検査、一般不妊治療（タイミング法、人工授精）

(4) 助成の額及び期間

ア 助成額

保険診療で支払った額の全額（千円未満切捨て）とする

イ 助成期間

助成を開始した最初の月から、継続する２年間

(5) 実績

申請数	妊娠確認数
60 件（44 人）	11 人

2 5 生殖補助医療費助成事業

(1) 目的

不妊治療を受けている夫婦に対し、不妊治療に要する費用を助成することにより、当該夫婦の経済的な負担の軽減を図り、もって少子化対策の推進に寄与する。

(2) 対象者

法律上の夫婦又は事実上の婚姻関係にあることが確認できる夫婦で、次のいずれにも該当する方

ア 申請時において、夫婦の一方又は両方が碧南市に住所を有していること

イ 医療機関によって生殖補助又は先進医療が必要であると認められたこと

ウ 夫婦いずれもが、医療保険各法の規定による被保険者、組合員又は被扶養者であること

(3) 助成の対象

生殖補助医療（体外受精・顕微授精、男性不妊の手術）および先進医療を受ける時に医療保険が適用された入院基本料など一般の診療と共通する部分（基礎的部分）

(4) 助成の額及び期間

ア 助成額

保険診療で支払った額、１回の治療につき上限１０万円（千円未満切捨て）とする

イ 助成回数

４０歳未満であるときは６回まで

４０歳以上であるときは３回まで

(5) 実績

申請数	妊娠確認数
82 件 (50 人)	34 人

2 6 特定不妊治療費助成事業

(1) 目的

一般不妊治療費助成と同様。

(2) 対象者

ア 愛知県が実施する特定不妊治療費助成事業の対象者

イ 愛知県が実施する特定不妊治療費助成事業の要件に該当する43歳以上の方

ウ 夫及び妻の前年(1月から5月までの間に第6条の申請をする場合にあっては、前々
年)の所得の合計額が、730万円未満であること

(3) 助成の対象

特定不妊治療にかかる費用

(愛知県が実施する特定不妊治療費助成事業の要件に該当する費用)

(4) 助成の額及び回数

ア 助成額

(ア) 特定不妊治療

特定不妊治療の内愛知県特定不妊治療費助成金を控除した額とし、その額が
10万円を超えるときは、10万円とする

(イ) 男性不妊治療

男性不妊治療の内愛知県特定不妊治療費助成金を控除した額とし、その額が
10万円を超えるときは、10万円とする

イ 助成回数

(ア) 当該年度が初めての申請の場合

治療開始日の妻の年齢が40歳未満 6回

治療開始日の妻の年齢が40歳以上 3回

(イ) 当該年度以前に愛知県の助成金の受給歴のある夫婦の場合、愛知県の助成回数
に準ずる

(ウ) 令和3年1月1日以降に治療終了したものについて、1子ごとに助成回数は改
める

(5) 実績

申請数		妊娠確認数
43 歳未満	43 歳以上	
3 件 (3 人)	0 件 (0 人)	3 人

27 産後ケア事業

(1) 目的

出産直後の母子支援として、一定期間、医療機関又は助産施設において、母体の休養及び体力の回復並びに母体及び乳児のケアを行うことにより、母子の心身の安定及び育児不安の解消を図る。

(2) 対象者

碧南市に住所を有する出産後 1 年を経過していない母親とその子で、家族等から子育て等の支援を受けることができない者のうち、次のいずれかに該当する者

ア 出産後の身体的な不調又は体調の回復の遅れがあり、休養の必要があると認められる者

イ 育児に対する不安等があり、心理的なケアの必要があると認められる者

ウ 育児に係る保健指導の必要があると認められる者

ただし、母親またはその子が、感染性の疾患に罹患している場合または入院・治療等が必要な場合は利用不可

(3) 内容

産後のからだやこころのケア、生活のアドバイス、授乳相談、育児相談など

(4) 契約実施機関 (5 医療機関、3 助産院)

碧南市民病院、医療法人清風会 岡村産科婦人科、社会医療法人 財団新和会 八千代病院、愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院、医療法人 尚志会 山田産婦人科、かとう助産院、碧助産院、りこ助産院

(5) 実 績

	宿泊ケア	通所ケア
実利用者数 (延利用日数)	1 人 (延べ 3 日)	2 人 (延べ 3 日)

28 出産・子育て応援事業

(1) 目的

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ「伴

走型相談支援」と妊婦及び出生した子どもを対象として応援給付金を支給する「経済的支援」を一体的に実施する。

(2) 内容および対象

ア 伴走型相談支援

出産・育児の見通しを一緒に立てるため、①妊娠届出時、②妊娠8か月頃、③出産後に面談をし、その後継続的な情報の発信や随時の相談を実施する

イ 経済的支援

妊娠の届出をした妊婦および出生した児を対象に出産および子育て応援給付金を各5万円支給する

(3) 実績

ア 伴走型相談支援（転入分含む）

① 妊娠届出時面談	面談実施数（人）	527
② 妊娠8か月頃	アンケート送付数（人）	499
	アンケート返送数（人）	392 (78.5%)
	面談希望数（人）	16
	面談実施数（人）	11 (うち電話対応7)
③ 出生後	赤ちゃんお誕生おめでとう訪問数（人）	495

イ 経済的支援（転入分含む）

出産応援給付数（人）	549
子育て応援給付（人）	507

疾病の発見

		97パーセンタイル超	90パーセンタイル超	90～10パーセンタイル	10パーセンタイル未満	3パーセンタイル未満	未入力	
発育	体重	12	31	412	52	23	0	
	身長	9	22	445	37	17	0	
	頭囲	20	37	427	35	11	0	
	身体発育不良	所見なし	1～2階級	2階級超	未入力			
		425	86	10	9			
		所見なし	所見あり	未入力				
神経系	筋緊張	530	0	0				
	反射	530	0	0				
運動発達	定額	524	6	0				
	手の握り(物をつかまない)	530	0	0				
	姿勢	530	0	0				
精神発達	笑わない	530	0	0				
	声が出ない	530	0	0				
	視線が合わない	530	0	0				
感覚器	追視	530	0	0				
	聴覚異常	529	1	0				
循環器	心音異常	521	9	0				
消化器	腹部腫瘍	530	0	0				
泌尿生殖器	そけいヘルニア	528	2	0				
	停留精巣(男児)	264	1	0				
	仙骨皮膚洞・腫瘍	530	0	0				
	外性器異常	528	2	0				
股関節	股関節開閉制限	516	14	0				
皮膚	血管腫	520	10	0				
	湿疹	497	33	0				
	被虐待跡	530	0	0				

保健指導・支援

授乳		支援不要	自ら対処可能	保健機関 継続支援	他機関 連携支援	状況確認	未入力				
		494	33	0	0	0	3				
栄養 方法		母乳	人工	混合	未入力						
	1か月時	147	60	315	8						
	3～4か月時	191	170	169	0						
生活 習慣	メディアの視聴	いいえ	はい	未入力	1						
健やか 親子・ 問診項 目	子育ての相談相手	いる	いない	未入力	3						
	ゆったりとした気分で子と過ごせる	はい	いいえ	何とも言えない	未入力	1					
	現在、あなた（お母さん）は喫煙 をしていますか。	母	なし	あり	本数合計	本数回答者	ありの内0または未入力	未入力	0	0	
	現在、お子さんのお父さんは喫煙 をしていますか。	父	なし	あり	本数合計	本数回答者	ありの内0または未入力	未入力	23	10	
	事故防止（誤飲）	はい	いいえ	未入力	150	1445	127	23			
		418	106	6							
	妊娠・出産について満足している	はい	いいえ	どちらとも言えない	未入力						
		421	34	66	9						
	妊娠中、あなた（お母さん）は喫 煙をしていましたか。	なし	あり	本数合計	本数回答者	ありの内0または未入力	未入力	12			
		510	8	62	7	1					
	妊娠中、あなた（お母さん）は飲 酒をしていましたか。	なし	あり	未入力	4						
		523	3	4							
	この地域で、今後も子育てをして いきたいですか。	そう思う	どちらかといえばそ う思う	どちらかといえばそ う思わない	そう思わない	未入力					
		416	93	10	4	7					
	お子さんのお父さんは、育児をし ていますか。	よくやっている	時々やっている	ほとんどしない	何ともいえない	未入力					
		386	109	14	11	10					
	あなたは、お子さんに対して、育 てにくさを感じていますか。	育てにくさ	いつも感じる	時々感じる	感じない	未入力					
			5	67	449	9					
	育てにくさを感じた時に、相談先を知っているな ど、何らかの解決する方法を知っていますか。	対処方法	はい	いいえ	未入力	6					
			49	17							
	子どもの社会性の発達過程	はい	いいえ	未入力	5						
	499	26	5								
この数か月の間に、ご家庭で以 下のことがありましたか。	しつけのし過ぎが あった（はい）	感情的に叩いた （はい）	乳幼児だけを家に 残して外出した（は い）	長時間食事を与え なかった（はい）	感情的な言葉で怒 鳴った（はい）	子どもの口をふさい だ（はい）	子どもを激しく揺さ ぶった（はい）	該当なし（は い）	未入力	17	
	7	3	3	0	14	1	0	493			
乳幼児ゆさぶられ症候群	はい	いいえ	未入力	4							
	510	16	4								
子ども医療電話相談（#8000）を 知っていますか。	はい	いいえ	未入力	5							
	399	126	5								
子どものかかりつけ医（医師）	はい	いいえ	何ともいえない	未入力							
	313	142	67	8							
お子さんのお母さんは妊娠中、 働いていましたか。	妊娠中の就労	働いていたことがある	働いていない	未入力							
		348	170	12							
妊娠中、仕事を続けることに対して、職場 から配慮をされたと思いますか。	配慮の有無	はい	いいえ	未入力							
		307	30	11							
妊娠中、マタニティマークを知っ ていましたか。	妊娠中の周知	知らなかった	知っていた	未入力							
		30	490	10							
マタニティマークを身につけたりするなどし て利用したことがありますか。	妊娠中の利用	利用したことがある	利用したことはない	未入力							
		404	82	4							
子育て 支援		支援不要	自ら対処可能	保健機関 継続支援	機関連携支援	状況確認	未入力				
	子の要因（発達）	522	3	1	0	3	1				
	子の要因（その他）	458	34	1	0	36	1				
	親、家庭の要因	485	25	8	2	9	1				
	親子関係	524	2	3	0	0	1				
	実件数	414	59	9	2	45	1				

疾病の発見(医科)

		97パーセンタイル超	90パーセンタイル超	90～10パーセンタイル	10パーセンタイル未満	3パーセンタイル未満	未入力
発育	体重	9	34	428	53	26	0
	身長	12	21	433	55	29	0
		所見なし	1～2階級	2階級超	未入力		
	身体発育不良	374	164	8	4		
運動発達		所見なし	所見あり	未入力			
	歩行の遅れ	539	11	0			
	胸部・脊柱の変形	550	0	0			
	歩容	544	6	0			
	O脚	549	1	0			
	手の使い方が未熟	544	6	0			
精神発達	発達の遅れ	497	53	0			
	視線が合わない	540	9	1			
	指示理解の遅れ	539	11	0			
	多動	547	2	1			
感覚器	斜視	550	0	0			
	聴覚異常	550	0	0			
消化器	腹部腫瘍	550	0	0			
	臍ヘルニア	550	0	0			
泌尿生殖器	停留精巣(男児)	285	3	0			
	そけいヘルニア	550	0	0			
皮膚	アトピー性皮膚炎	536	14	0			
	被虐待跡	550	0	0			

疾病の発見(歯科)

		総本数	処置歯数	未入力				
う蝕	う蝕数	8	0	0				
	う蝕罹患型	O1型	O2型	A型	B型	C型	未入力	
		270	278	2	0	0		0
口腔		なし	あり	未入力				
	歯列・咬合異常	514	36	0				
	軟組織異常	531	19	0				
	その他異常	537	13	0				
	歯垢付着	542	8	0				

保健指導・支援

		ほぼ毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	ほとんど食べない	未入力						
生活習慣・食習慣	朝食	517	16	7	8	2						
	就寝時間	9時前	9時台	1時台	11時以降	未入力						
		185	247	95	15	8						
	メディアの視聴	いいえ	はい	未入力								
		309	229	12								
	おやつ回数	3回未満	3回以上	未入力								
		478	72	0								
	甘いおやつを食べる習慣	ない	ある	未入力								
		461	89	0								
	甘い飲み物を飲む習慣	ない	ある	未入力								
		411	139	0								
	母乳を飲みながら寝る習慣	ない	ある	未入力								
口腔機能		482	68	0								
	哺乳ビンで飲みながら寝る習慣	ない	ある	未入力								
		500	50	0								
	歯みがき	保護者が仕上げみがきをしている	保護者のみでみがく	子どもだけでみがく	みがかない	未入力						
		373	154	15	8	0						
	飲み込みめない・かまずに丸飲み	ない	時々ある	いつもある	未入力							
		295	237	18	0							
	食事のときに足裏が床についている	はい	いいえ	未入力								
		408	141	1								
	水分を飲むときに使用するもの	コップ	ストローマグ	その他	未入力							
		320	222	8	0							
健やか親子・問診項目	子育ての相談相手	いる	いない	未入力								
		530	19	1								
	ゆったりした気分で子と過ごせる	はい	いいえ	何ともいえない	未入力							
		415	14	121	0							
	現在、あなた(お母さん)は喫煙をしていますか。	母	なし	あり	本数合計	本数回答者	未入力					
			522	26	264	25	2					
	現在、お子さんのお父さんは喫煙をしていますか。	父	なし	あり	本数合計	本数回答者	未入力					
			372	167	1657	136	11					
	事故防止(浴室)	はい	いいえ	該当しない	未入力							
		378	159	13	0							
	予防接種	四種混合	はい	いいえ	未入力							
			525	13	12							
		麻しん・風しん	はい	いいえ	未入力							
			501	36	13							
	この地域で、今後子育てをしていきたいですか。	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	未入力						
		392	134	14	2	8						
	お子さんのお父さんは、育児をしていますか。	よくやっている	時々やっている	ほとんどしない	何ともいえない	未入力						
		371	145	11	7	16						
	あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか。	育てにくさ	いつも感じる	時々感じる	感じない	未入力						
			5	107	430	8						
子育て支援	育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っていますか。	対処方法	はい	いいえ	未入力							
			95	15	2							
	子どもの社会性の発達過程	はい	いいえ	未入力								
		519	28	3								
	この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。	しつけのし過ぎがあった(はい)	感情的に叩いた(はい)	乳幼児だけを家に残して外出した(はい)	長時間食事を与えなかった(はい)	感情的な言葉で怒鳴った(はい)	子どもの口をふさいだ(はい)	子どもを激しく揺さぶった(はい)	該当なし(はい)	未入力		
		10	14	2	1	67	0	1	463	5		
		支援不要	自ら対処可能	保健機関継続支援	機関連携支援	状況確認	未入力					
	子の要因(発達)	263	59	29	1	198	0					
	子の要因(その他)	529	15	0	0	6	0					
	親・家庭の要因	519	16	6	3	6	0					
	親子関係	527	21	0	1	0	0					
	実件数	234	86	28	2	200	0					

疾病の発見(医科)

	ふとりすぎ	ややふとりすぎ	ふとりぎみ	ふつう	やせ	やせすぎ	未入力
発育	肥満度	2	5	16	557	2	0
	所見なし	10パーセンタイル未満	3パーセンタイル未満	未入力			
	低身長	463	69	50	0		
	所見なし	1~2階級	2階級超	未入力			
	身体発育不良	388	176	1	17		
運動 発達	所見なし	所見あり	未入力				
	胸郭・背柱の変形	582	0	0			
	歩容	573	4	5			
	O脚	582	0	0			
精神 発達	母指と示指で輪ができない	540	25	17			
	発語の遅れ	531	50	1			
	視線が合わない	560	21	1			
	指示理解の遅れ	561	20	1			
皮膚	多動	563	16	3			
	吃音	565	10	7			
	アトピー性皮膚炎	568	14	0			
	被虐待跡	582	0	0			
感覚器	視覚検査	異常なし	管理中	異常の疑いあり	未入力		
		375	12	68	127		
	聴覚検査	異常なし	主治医管理	異常の疑い(難聴等)	未入力		
		502	3	2	22	53	

疾病の発見(歯科)

	総本数	処置歯数	未入力			
う蝕	う蝕数	40	1	0		
	う蝕罹患型	O型	A型	B型	C1型	C2型
		572	7	2	0	1
口腔	歯列・咬合異常	なし	反対咬合 (下顎前突)	上顎前突 (過蓋咬合)	開咬	その他
		521	35	13	9	4
	軟組織異常	なし	小帯	歯肉	その他	未入力
		575	7	0	0	0
口腔 習癖	歯の形態・歯数異常	なし	あり	未入力		
		555	27	0		
	その他異常	582	0	0		
	歯垢付着	571	11	0		
	指しゃぶり・おしゃぶり	なし	あり	未入力		
		563	19	0		

保健指導・支援

	ほぼ毎日食べる	週4~5日食べる	週2~3日食べる	ほとんど食べない	未入力	
生活習慣・食習慣	朝食	533	28	12	7	2
	就寝時間	9時前	9時台	10時台	11時以降	未入力
		129	294	134	16	9
	メディアの視聴	いいえ	はい	未入力		
生活習慣・食習慣	排泄の自立	274	305	3		
	できる	手伝えばできる	できない	未入力		
		159	257	164	2	
	おやつ回数	3回未満	3回以上	未入力		
生活習慣・食習慣		463	119	0		
	甘いおやつを食べる習慣	ない	ある	未入力		
		334	248	0		
	甘い飲み物を飲む習慣	ない	ある	未入力		
生活習慣・食習慣		358	224	0		
	母乳を飲みながら寝る習慣	ない	ある	未入力		
		565	17	0		
	哺乳ビンで飲みながら寝る習慣	ない	ある	未入力		
生活習慣・食習慣		562	20	0		
	歯みがき	親が仕上げみがきをする	親だけでみがく	子どもだけでみがく	ほとんどみがかない	未入力
		479	100	2	1	0
口腔機能	飲み込み	親が仕上げみがきをする	親だけでみがく	子どもだけでみがく	ほとんどみがかない	未入力
		479	100	2	1	0
	飲み込み	ない	時々ある	いつもある	未入力	
		444	130	8	0	
口腔機能	食事のときに足裏が床についている	はい	いいえ	未入力		
		465	117	0		
	口を閉じて食べる	はい	いいえ	未入力		
		543	39	0		
健康やか親子・問診項目	子育ての相談相手	いる	いない	未入力		
		558	22	2		
	ゆったりとした気分で子と過ごせる	はい	いいえ	何ともいえない	未入力	
		412	37	128	5	
健康やか親子・問診項目	現在、あなた(お母さん)は喫煙をしていますか。	母	なし	あり	本数合計	本数回答者
			550	30	289	30
	現在、お子さんのお父さんは喫煙をしていますか。	父	なし	あり	本数合計	本数回答者
			411	159	1561	135
健康やか親子・問診項目	事故防止(転落)	はい	いいえ	未入力		
		543	36	3		
	この地域で、今後とも子育てをしていきたいですか。	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	未入力
		437	132	3	6	4
健康やか親子・問診項目	お子さんのお父さんは、育児をしていますか。	よくやっている	時々やっている	ほとんどしない	何ともいえない	未入力
		375	160	19	10	18
	あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか。	育てにくさ	いつも感じる	時々感じる	感じない	未入力
			9	153	409	11
健康やか親子・問診項目	育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っていますか。	対処方法	はい	いいえ	未入力	
			144	16	2	
	子どもの社会性の発達過程	はい	いいえ	未入力		
		452	125	5		
健康やか親子・問診項目	この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。	しつけのし過ぎがあった(はい)	感情的に叩いた(はい)	乳幼児だけを家に残して外出した(はい)	長時間食事を与えなかった(はい)	感情的な言葉で怒鳴った(はい)
		22	20	4	1	139
	子どものかかりつけ医	はい	いいえ	何ともいえない	未入力	
			462	67	30	23
子育て支援	医師	217	308	30	27	
	歯科医師					
	支援不要	自ら対処可能	保健機関継続支援	他機関連携支援	状況確認	未入力
		397	89	31	7	58
子育て支援	子の要因(発達)	551	29	0	0	0
	子の要因(その他)	558	16	4	0	4
	親子関係	575	5	1	0	1
	案件数	367	115	32	7	61

健診	3か月児健診					1歳6か月児健診								3歳児健診							
	健診受診状況	対象者数	受診者数	受診結果		(再)他院紹介	未受診	対象者数	受診者数	受診結果		(再)他院紹介	未受診	対象者数	受診者数	受診結果			(再)他院紹介	未受診	
				異常なし	要観察・異常あり					病名など	異常なし					要観察・異常あり	病名など	異常なし			要観察・異常あり
骨関節疾患		42	38	20	13	両股関節開排制限（5） 左臼蓋形成不全（1） 発育性股関節形成不全疑い（2） 左発育性股関節形成不全疑い（1） 先天性股関節脱臼疑い（1） 左膝クリック（1） 明らかなDDHを疑う所見なし（2）	0	9	8	5	2	3	運動発達遅滞（2） うちわ歩行（1） 両0脚（1）	0	3	3	1	1	0	0	2
泌尿器腎疾患														3	3	0	3	無症候性血尿疑い（2） 血尿疑い（1）	0	0	
眼 科									2	0	0	0		0	2	71	50	6	44	12	21
耳鼻科		1	1	1	0		0	0	1	0	0	0		0	1	28	12	8	4	0	16
その他		3	3	1	2	右遊走精巣疑い（1） 大泉門指尖大（1）	0	0	12	6	0	6	遊走性精巣（1） 言語発達遅滞（1） 言語発達遅滞の疑い 言語発達遅滞の疑い、軽度（1） 発達遅滞（1） 右陰嚢水腫疑い（1）	1	6	22	18	0	18	4	4
合計		47	36	21	15		0	9	23	11	2	9		1	12	127	84	15	69	16	43

紹介先

右陰嚢水腫疑い→安城更生病院

右乱視→加藤眼科（2）
左乱視→加藤眼科（1）
両遠視・弱視疑い→加藤眼科（3）
両遠視性乱視→西尾市民病院
両乱視→加藤眼科（3）
左弱視疑い→加藤眼科（1）
左遠視→加藤眼科（1）
家族性低身長→市の育児相談（1）
発達障害・自閉症の疑い→三河青い鳥医療療育センター（1）
低身長→刈谷豊田総合病院（1）
不整脈で診察での異常なし、超音波での検査のため紹介→安城更生病院（1）

第2 各種予防接種事業

1 予防接種の歩み

- 昭和 37 年 インフルエンザ予防接種集団接種開始、勧奨接種
- 昭和 41 年 定期予防接種（5 種類）ジフテリア・百日咳（2 種混合）・急性灰白髄炎・種痘・腸パラチフス・ジフテリア
- 昭和 44 年 ジフテリア・百日咳（2 種混合）に破傷風を加えて 3 種混合となる
腸パラチフス予防接種廃止
- 昭和 45 年 予防接種対象者全員に問診票、体温測定（37℃以上中止）および胸部聴打診開始
- 昭和 46 年 日本脳炎予防接種対象者の変更（小学 2 年生・中学 1 年生）
- 昭和 49 年 予防接種小委員会発足
種痘予防接種について第 1 期 2 歳以上は中止
(安城更生病院小児科部長の協力を得て、年長児について Lc ワクチンにて実施)
- 昭和 50 年 3 種混合予防接種による死亡事故が県内にあり 2 月より中止、10 月より百日咳を除く 2 種混合にて再開
種痘予防接種中止
予防接種事故対策委員会設置
- 昭和 51 年 予防接種法改正（対象疾病 10 種類）
定期予防接種（6 種類）痘そう・百日咳・ジフテリア・急性灰白髄炎・麻しん・風しん
一般的臨時予防接種（3 種類）インフルエンザ・日本脳炎・ウイルス病
緊急的臨時予防接種
痘そう・コレラ及び厚生大臣が定める疾病
定期一般的臨時予防接種が義務接種となる
義務違反の罰則は、緊急的臨時予防接種に限定された
新保健センター設立に伴い各公民館で実施していた予防接種を保健センターにて統一会場として 1 月 13 日より開始する
予防接種相談コーナー開設
ジフテリア第Ⅲ期廃止になり、第Ⅳ期が繰り上がる
- 昭和 52 年 9 月インフルエンザ予防接種実施要領変更（接種間隔・接種量）
1 月より風しん予防接種開始（中学 2 年生女子・中学 3 年生女子の一部）
- 昭和 53 年 1 2 月より麻しん予防接種開始

(集団的個別接種方法により保健センターにて実施)

- 昭和 54 年 百日咳患者の発生が見られ 5 月より百日咳を含むジフテリア・百日咳・破傷風
(3 種混合) を再開
- 昭和 55 年 8 月痘そう撲滅宣言 (WHO) により廃止
ポリオ投与量の変更 1 m l → 0.05 m l
- 昭和 56 年 ジフテリア・百日咳・破傷風混合新ワクチン (沈降性) にて実施
- 昭和 57 年 自動噴射式注射機 (ハイジェッター) にて予防接種実施
園児・小・中学生に使用 (インフルエンザ・日本脳炎)
- 昭和 58 年 日本脳炎予防接種を園児に保健センターで実施
- 昭和 59 年 自動噴射式注射機は中学生のみに使用
- 昭和 60 年 ジフテリア第Ⅲ期ワクチンをジフテリア単味より、ジフテリア・破傷風の 2 種
混合 (液状) に変更する
- 昭和 62 年 8 月インフルエンザ予防接種について、保護者の同意方式にて実施通達あり
8 月自動噴射式注射機の使用禁止の通達あり、全面的に中止する
- 昭和 63 年 麻しん予防接種、平成元年 3 月まで保健センターにて実施
- 平成元年 麻しん・おたふくかぜ、風しん新 3 種混合 (MMR)、9 指定医療機関にて実
施 (個別接種開始) 接種期間は、5 月と 10 月
日本脳炎予防接種ワクチンが中山研株から北京株に変更
接種量の変更 1 m l → 0.5 m l
集団接種禁忌者を碧南市民病院へ接種依頼開始
- 平成 2 年 MMR ワクチンによる無菌性髄膜炎の発生頻度が高いため原則とし、麻しんワ
クチンを接種するよう通達あり、麻しんワクチンを主に実施し、希望者のみ
MMR を実施
- 平成 3 年 2 種混合ワクチンを液状より沈降性に変更
- 平成 4 年 3 種混合の接種開始年齢を 2 歳から 1 歳 5 か月に変更する
麻しんは 9 指定医療機関にて、7・8 月を除く毎月実施となる
- 平成 5 年 MMR ワクチン接種については当面、実施を見合わせるように通達あり、全
面的に中止
麻しん指定医療機関 9 機関 → 8 機関
- 平成 6 年 10 月予防接種法の大改正 (実施は、平成 7 年度より)
義務接種 → 勧奨接種、問診票 → 予診票、集団接種 → 個別接種の推奨
定期予防接種 (7 種類) ジフテリア・百日咳・急性灰白髄炎・麻しん・風しん・
日本脳炎・破傷風

臨時予防接種は、疾病の蔓延予防上、緊急の必要があると認められた場合に知事が接種対象者、接種期間を指定して行う（想定される疾病はない）

インフルエンザ予防接種中止

接種対象年齢変更 接種対象年齢が生後90月（7歳6か月）未満となる

「予防接種ガイドライン」が策定される それに伴い碧南市予防接種診断基準の見直しを行う

10月結核予防法の改正（実施は、平成7年度より）

ツベルクリン反応判読基準の変更

陰性4mm以下→9mm以下、陽性10mm以上とし、擬陽性はなし

BCGは、義務接種→勧奨接種

平成7年 麻疹は、8指定医療機関で、通年実施となる

風しん予防接種

1歳2か月児を対象に接種開始

経過措置として

小学1年生全員を対象に接種開始（平成11年度まで実施）

中学生への接種は、男子も接種対象となる（平成15年度まで実施）

日本脳炎予防接種の対象学年の変更

小学2年生→小学4年生、中学1年生→中学3年生

平成8年 麻疹指定医療機関 8機関→9機関

平成9年 麻疹指定医療機関 9機関→7機関

平成11年 3種混合予防接種開始年齢を1歳5か月から生後6か月に変更する

風しん予防接種

経過措置対象者（小学生）への学校での接種終了

平成12年 5月から6月の（2回分）のポリオ予防接種は、厚生省の通達により見合わせる（接種後に副反応と思われる症例2例発生のため）

平成13年 11月7日予防接種法改正、定期予防接種の二類疾病として高齢者インフルエンザ予防接種開始（個別接種により市内25医療機関）

風しん予防接種

経過措置対象者（中学生）への学校での接種終了

平成14年 インフルエンザ指定医療機関 25機関→26機関

風しん予防接種

経過措置対象者（昭和54年4月2日から昭和62年10月1日生）の方へ再度接種勧奨をする（広報掲載）

乳幼児の接種日に同時実施

1 2月結核予防法施行令一部改正（実施は平成15年4月から）

児童・生徒のツベルクリン反応検査及びBCG接種廃止

平成15年 風しん予防接種

経過措置対象者への接種終了（9月30日まで）

日本脳炎第2期・第3期及び2種混合第2期の予備日接種会場の変更

学校→保健センター

平成17年 4月ツベルクリン反応を実施しないBCG直接接種開始

BCG対象者の変更 4歳未満→生後6か月未満

5月日本脳炎予防接種の積極的勧奨の差し控え

現行ワクチン使用による重症ADEM（急性散在性脳脊髄炎）との因果関係
が認められたため積極的勧奨を差し控える通知あり見合わせる

7月予防接種法施行令等の一部改正

ジフテリア・破傷風・百日咳の定期予防接種

使用ワクチンが3種混合ワクチンのみとなる

日本脳炎予防接種第3期の廃止

麻しん風しんの定期予防接種の対象年齢等の変更（施行日18年4月1日）

第1期 1歳から2歳未満 MRワクチン1回接種

第2期 5歳以上7歳未満 MRワクチン1回接種

接種期間は小学校へ入学する前年度4月1日から3月31日

接種間隔の変更

生ワクチンから他種類のワクチンを接種する場合

4週間以上→27日以上

不活化ワクチンから他種類のワクチンを接種する場合

1週間以上→6日以上

平成18年 4月麻しん風しん混合ワクチン（MR）の導入と2回接種制度開始（第2期
は単抗原ワクチン対象者は除外する）

風しん・2種混合第2期が集団接種から個別接種へ変更

麻しん風しん指定医療機関 7機関→8機関

6月麻しん風しん第2期の対象変更（単抗原ワクチン接種者も対象となる）

接種開始は7月

平成20年 中学1年生（第3期）及び高校3年生（第4期）に相当する年齢のものに2回
目の麻しん風しん混合ワクチンの予防接種を5年間の時限措置として実施

(第3期、第4期については、市内13指定医療機関で対応)

- 平成 21 年 平成21年6月2日から乾燥細菌培養日本脳炎ワクチンの使用による予防接種を、今まで一度も接種をしていない第1期対象者について希望される者に接種開始
- 平成 22 年 11月1日から日本脳炎第2期について希望される者に、接種開始
日本脳炎の第1期接種の標準的年齢となる3歳児への積極的勧奨の開始
- 平成 23 年 日本脳炎の積極的勧奨の対象者の拡大
平成23年度9歳・10歳になるもので、第1期の不足分について勧奨
平成23年1月11日から「子宮頸がんなどワクチン接種緊急促進事業の実施要領」に基づき、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種を平成25年3月30日の時限措置で実施
- 平成 24 年 日本脳炎の積極的勧奨の対象者の拡大
平成24年度8歳・9歳になるもので、第1期の不足分について勧奨
平成24年9月1日から、ポリオの予防接種が生ワクチンから不活化ワクチンに変わり、集団接種から個別接種に変更。3種混合予防接種も個別接種に変更する
平成24年11月1日より4種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ)の予防接種開始
- 平成 25 年 4月から子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種が定期予防接種となる
平成25年6月14日付で、厚生労働省より「ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種に対応について」勧告があり、積極的勧奨を差し控える
4月からBCG予防接種の接種対象月齢が、「生後6月から1歳に達するまで」に変更される
6月から妊婦などが風しんに罹患することを防ぎ、先天性風しん症候群の発生防止のために、風しんワクチン予防接種助成事業を開始する
7月から後期高齢者医療広域連合被保険者に対して高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業を開始する。
日本脳炎の積極的勧奨の対象者の拡大
平成25年度8歳になるもので、第1期の不足分について勧奨
第2期として、平成7年度から平成10年度生まれの者に勧奨
- 平成 26 年 定期予防接種がすべて個別接種となる
10月から水痘ワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン接種が定期予防接種となる

- 平成 27 年 7 月から子宮頸がん予防ワクチン接種後の症状に係る医療支援事業を開始
- 平成 28 年 10 月から B 型肝炎ワクチンが定期予防接種となる
- 令和元年 4 月 1 日で子宮頸がん予防ワクチン接種後の症状に係る医療支援事業終了
令和元年度から 3 年間にかぎり、風しん第 5 期の予防接種開始
- 令和 2 年 10 月からロタウイルスワクチンが定期予防接種となる
中学 3 年生に対するインフルエンザ予防接種費用助成実施
- 令和 3 年 2 月から新型コロナウイルスワクチンの初回接種（1・2 回目接種）が臨時予防接種となる。
2 月から医療従事者向け先行接種、3 月から一般の医療従事者向け優先接種開始
5 月から優先順位に基づく一般接種の開始（個別医療機関）
6 月から集団接種の開始（碧南市民病院）
12 月から追加接種（3 回目接種）
- 令和 4 年 1 月から、5 歳から 11 歳に対する新型コロナウイルスワクチンの初回接種（1・2 回目接種）が特例承認される
4 月から令和 3 年 11 月 26 日付で、厚生労働省より「ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種の今後の対応について」通知があり積極的勧奨を再開
風しん第 5 期予防接種が令和 7 年 3 月 31 日までの時限措置となる
- 令和 5 年 4 月 1 日からジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎及び破傷風の定期予防接種の対象者について、沈降性ジフテリア破傷風混合トキソイドとして接種する場合を除き、「生後 2 月以上」となる。また、ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期予防接種の実施方法として、9 価ワクチンによる 2 回接種及び 3 回接種が導入となる。

2 定期予防接種（A 類疾病）

令和 5 年度予防接種実施状況での報告数 令和 6 年 4 月末現在

(1) 混合ワクチン

ア 第 1 期（百日咳・ジフテリア・破傷風）

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
初回 1 回目	0	0(0)	0.0
2 回目	0	0(0)	0.0
3 回目	0	0(0)	0.0

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
追加	0	0(0)	0.0

※ 対象者数は、新規対象者数、（）内は、当該年度碧南市内での接種数
イ 第1期（百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ）

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
初回1回目	502	560(547)	111.6
2回目	502	569(565)	113.3
3回目	502	563(559)	112.2
追加	502	555(547)	110.6

※ 対象者数は、新規対象者数、（）内は、当該年度碧南市内での接種数
ウ 第2期（ジフテリア・破傷風）

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
第2期（2混）	691	549(548)	79.5

※ 対象者数は、新規対象者数、（）内は、当該年度碧南市内での接種数
(2) ポリオ（急性灰白髄炎）不活化ワクチン

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
初回1回目	—	0	—
2回目	—	0	—
3回目	—	0	—
追加	—	0	—

(3) 麻しん風しん

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
第1期	574	532(527)	92.7
第2期	638	605(604)	94.8

※ 対象者数は、第1期は当該年度10月1日現在での1歳児数、第2期は当該年度内に6歳になった者の数、（）内は、当該年度碧南市内での接種数

(4) 日本脳炎

		対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
第1期	初回1回目	580	574(571)	99.0
	2回目	580	579(577)	99.8
	追加	648	650(648)	100.3
第2期		660	657(654)	99.5

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(5) BCG接種

対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
529	522(517)	98.7

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(6) 小児の肺炎球菌ワクチン

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
初回 1 回目	502	506(495)	100.8
2 回目	502	527(522)	105.0
3 回目	502	515(511)	102.6
追加	502	550(544)	109.6

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(7) ヒブワクチン

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
初回 1 回目	502	505(494)	100.6
2 回目	502	525(520)	104.6
3 回目	502	512(508)	102.0
追加	502	553(546)	110.2

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(8) 子宮頸がん予防ワクチン (定期及びキャッチアップ接種)

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1 回目	5,398	305(300)	5.7
2 回目	5,398	250(246)	4.6
3 回目	5,398	223(217)	4.1

※ 対象者数は、当該年度 10 月 1 日現在の対象年齢者数、

() 内は、当該年度碧南市内での接種数

(9) 水痘

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1 回目	574	526(520)	91.6
2 回目	574	526(518)	91.6

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(10) B型肝炎

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1 回目	502	500 (489)	99. 6
2 回目	502	522 (516)	104. 0
3 回目	502	524 (515)	104. 4

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

(11) ロタウイルス感染症ワクチン

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)		接種率 (%)
		1 価	5 価	
1 回目	502	61 (55)	431 (427)	98. 0
2 回目	502	69 (63)	445 (445)	102. 4
3 回目	502		433 (432)	86. 3

※ 対象者数は、新規対象者数、 () 内は、当該年度碧南市内での接種数

3 予防接種広域化実施状況

(単位：件)

予防接種種類	接種件数	予防接種種類	接種件数
ロタウイルス感染症	13	麻しん風しん	6
B型肝炎	18	水痘	14
ヒブ	21	日本脳炎	10
小児用肺炎球菌	20	2 種混合	1
4 種混合	23	子宮頸がん予防	14
B C G	5		

接種件数合計 1 4 5 件

依頼者数 4 2 人

(理由 かかりつけ医のため 3 1 人、里帰り等で市外の病院で接種を希望 7 人、
施設入所中のため 4 人)

4 県外医療機関依頼実施状況

(単位：件)

予防接種種類	接種件数	予防接種種類	接種件数
ロタウイルス感染症	4	B型肝炎	4
ヒブ	6	小児用肺炎球菌	6
4 種混合	5		

接種件数合計 25件

依頼者数 6人

(理由 里帰り中 6人)

5 風しん第5期予防接種

(1) 対象者

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性

(2) 実施期間

令和元年度から令和6年度

(3) 実施方法

風しん抗体検査を実施後、抗体価が基準の範囲内の場合、風しんの予防接種を実施

(4) 実績 (単位：人)

風しん抗体検査実施数 ※	67
風しん予防接種実施数	11

※令和2年度実施の抗体検査5件を含む

6 定期予防接種（B類疾病）

(1) 高齢者インフルエンザ予防接種 (単位：人)

年 齢	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	計
対象者	23	3,600	4,201	3,581	6,266	17,671
指定医療機関接種者	14	1,725	2,460	2,275	4,122	10,596
広域接種者等	1	46	57	43	119	266
総接種者	15	1,771	2,517	2,318	4,241	10,862
接種率 (%)	65.2	49.2	59.9	64.7	67.7	61.5

(2) 高齢者の肺炎球菌予防接種 (単位：人)

年 齢	60～64	65	70	75	80	85	90	95	100	計
対象者	1	798	439	446	315	200	144	46	8	2,397
指定医療機関接種者	1	306	90	89	44	26	29	11	2	598
広域接種者等	0	6	4	2	2	0	2	0	0	16
総接種者	1	312	94	91	46	26	31	11	2	614
接種率 (%)	100.0	39.1	21.4	20.4	14.6	13.0	21.5	23.9	25.0	25.6

7 新型コロナワクチン予防接種

碧南市 総接種回数 216,593回

令和6年3月31日現在

年代	対象者 数※1	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
65歳 以上	17,402 人	16,253人 93.4%	16,221人 93.2%	15,727人 90.4%	14,000人 80.5%	11,061人 63.6%	8,052人 46.3%	5,645人 32.4%
60-64 歳	4,038人	3,626人 89.8%	3,646人 90.3%	3,401人 84.2%	2,606人 64.5%	1,264人 31.3%	182人 4.5%	32人 0.8%
18-59 歳	39,283 人	33,772人 86.0%	33,621人 85.6%	24,671人 62.8%	10,377人 26.4%	1,215人 3.1%	299人 0.8%	115人 0.3%
12-17 歳	4,419人	3,511人 79.5%	3,459人 78.3%	1,456人 32.9%	390人 8.8%	25人 0.6%	-	-
5-11 歳	4,686人	744人 15.9%	721人 15.4%	216人 4.6%	13人 0.3%	3人 0.1%	-	-
6か月 -4歳	2,664人	96人 3.6%	91人 3.4%	74人 2.8%	8人 0.3%	-	-	-
合計	72,492 人	58,002人 80.0%	57,759人 79.7%	45,545人 62.8%	27,394人 37.8%	13,568人 18.7%	8,533人 11.8%	5,792人 8.0%

※1 対象者数は、令和5年度計画人口

8 風しんワクチン予防接種助成事業（任意接種）

(1) 目的

風しんの発病を予防し、妊婦が風しんに罹患することを防ぐとともに、先天性風しん症候群の発生の防止を目的とする。

(2) 対象者

接種当日、碧南市民で、事前の抗体検査結果が風しんワクチン接種事業費補助金交付要綱の別表1で定める風しん抗体価に該当し、下記に該当する者（但し、風しんの罹患歴のある者及び過去に風しんワクチン予防接種事業助成を受けた者を除く）

ア 妊娠を予定又は希望している女性（但し、経産婦を除く）

イ 妊娠を予定又は希望している上記ア以外の女性

ウ 妊娠を予定又は希望している女性又は妊娠をしている女性の夫（事実上婚姻関係にある者を含む）または同居者

ただし、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を除く

(3) 実施期間

令和5年4月1日から令和6年3月29日

(4) 助成回数及び助成内容

一人あたり1回、接種費用の助成上限5,000円

(5) 実績

(単位：人)

	風しん ワクチン	麻しん風しん 混合ワクチン
ア 妊娠を予定又は希望している女性（但し、経産婦を除く）	1	2
イ 妊娠を予定又は希望している上記ア以外の女性	4	30
ウ 妊娠を予定又は希望している女性又は、妊娠をしている女性の夫（事実上婚姻関係にある者を含む）または同居者	0	2

第3 献血推進事業

1 献血推進の歩み

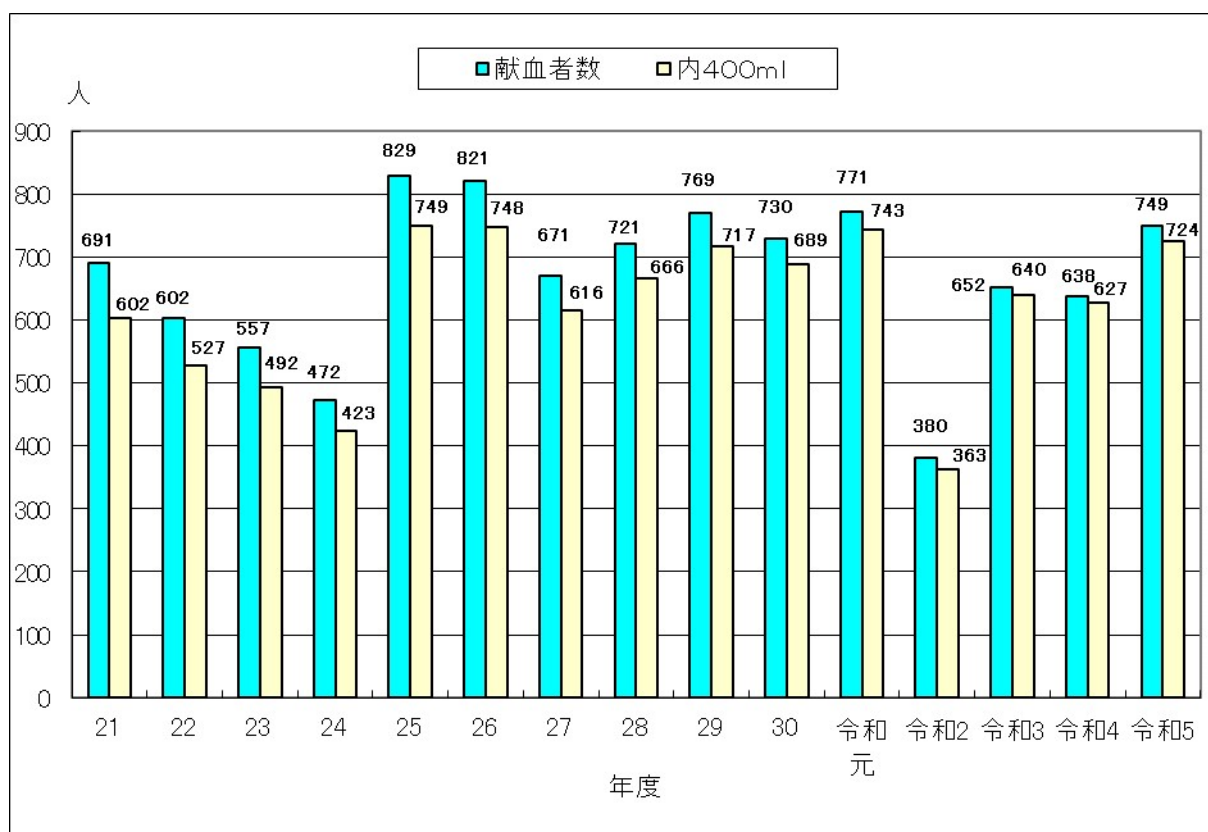
- 昭和 27 年 日本赤十字社が血液銀行を設置し血液事業を開始
- 昭和 39 年 輸血用血液を献血により確保する体制を確立するよう閣議決定
- 昭和 42 年 「碧南市健康を守る会」の発足と同時に献血部会をもうけて「碧南市献血グループ」結成
- 昭和 43 年 献血運動開始
- 昭和 46 年 「碧南市健康を守る会」愛知県知事表彰受賞
- 昭和 47 年 愛知県献血推進協議会に加盟
- 昭和 48 年 健康を守る会で感謝状・記念品の贈呈開始（30回以上）
- 昭和 49 年 「預血制度」が廃止され、輸血用血液はすべて献血でまかない得る体制が確立
- 「市民献血グループ」厚生大臣賞受賞
- 昭和 52 年 「企業団体献血グループ」愛知県知事表彰受賞
- 昭和 57 年 市民憲章推進協議会で感謝状・記念品の贈呈開始
- 昭和 61 年 400ml 献血と成分献血導入
- 平成元年 感謝状・記念品の贈呈を健康を守る会は50回以上、市民憲章推進協議会は30回以上に変更
- 平成 6 年 感謝状・記念品の贈呈を健康を守る会は30回以上、市民憲章推進協議会は50回以上に変更
- 平成 9 年 感謝状・記念品の贈呈を市民憲章推進協議会は70回以上に変更
- 平成 19 年 市民憲章推進協議会の感謝状・記念品の贈呈事業の中止
- 令和 4 年 「市民献血グループ」愛知県知事表彰受賞

2 市民献血結果

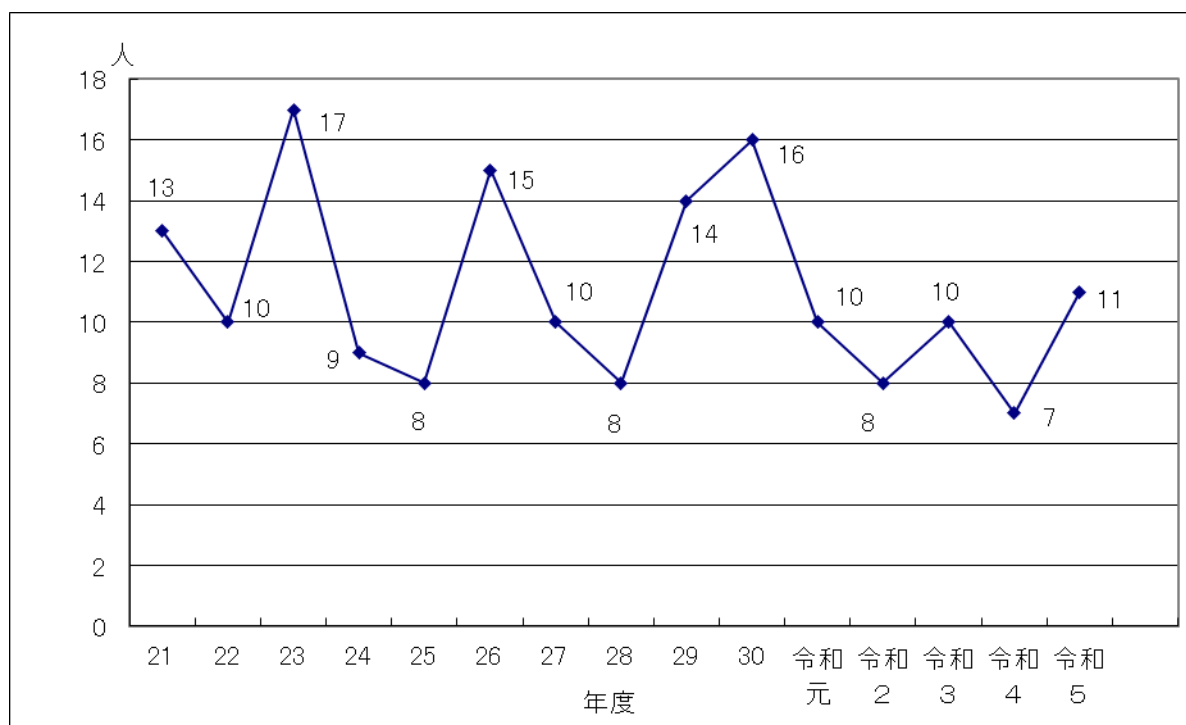
(単位：人)

月・日 (曜日)	開催場所	受付	採血	内 400ml	内 200ml	不採血	備考
6月29日(木)	スギ製菓(株)	29	26	20	6	3	企業献血
7月18日(火)	日本コンスターチ(株) 衣浦事業所	5	5	5	0	0	企業献血
7月18日(火)	(株) J E R A 碧南火力発電所	23	22	20	2	1	企業献血
7月19日(火)	碧南市役所 正面玄関	75	62	62	－	13	
9月1日(金)	愛知県中央信用組合本店	43	33	29	4	10	
9月10日(日)	トヨタ自動車(株) 豊養会衣浦支部	129	112	111	1	17	企業献血
10月13日(金)	名古屋トヨペット(株) 碧南店	60	51	48	3	9	企業献血
10月15日(日)	十一八駐車場 (碧南ライオンズクラブ)	66	49	49	0	17	大浜てらま ちウォーキング
11月15日(水)	碧南市役所 正面玄関	70	63	63	－	7	
1月21日(日)	碧南営農センター	51	44	44	0	7	農業まつり
2月13日(火)	日本コンスターチ(株) 衣浦事業所	14	13	11	2	1	企業献血
2月13日(火)	(株) J E R A 碧南火力発電所	28	26	25	1	2	企業献血
2月21日(水)	スギ製菓(株)	23	18	16	2	5	企業献血
3月3日(日)	トヨタ自動車(株) 豊養会衣浦支部	110	99	98	1	11	企業献血
3月8日(金)	愛知県中央信用組合本店	28	23	20	3	5	
3月10日(日)	大浜漁港 (碧南ライオンズクラブ)	47	41	41	0	6	大浜漁港 まつり
3月17日(金)	碧南市役所 正面玄関	68	62	62	－	6	
	15日 17会場	869	749	724	25	120	

3 碧南市献血事業における献血年度推移



4 碧南市健康を守る会の年度別表彰者数



第4 成人保健事業

1 成人保健事業の歩み

(1) 健康手帳の交付

昭和57年 65歳以上の者に健康手帳の送付を開始

平成11年 健康手帳の送付を中止

(2) 健康教育事業

ア 市民健康教育講座

昭和52年 市民健康教育講座を開始

イ 食生活改善学級

昭和53年 碧南市保健衛生推進員地区活動として開始

平成6年 食生活改善推進員養成のための栄養教室を開始

平成10年 食生活改善推進員養成のための栄養教室を隔年開催とする

ウ 健康づくりの集い

昭和59年 健康づくりの集いを開始

平成26年 健康づくりの集いを中止

エ 健康づくり体操講習会

平成元年 健康づくり体操講習会を開始

平成26年 健康づくり体操講習会を中止

オ 病態別健康教室

(ア) 貧血予防教室

平成7年 貧血予防のための栄養教室を開始

平成13年 貧血予防のための栄養教室を中止

(イ) 骨粗しょう症予防教室

平成7年 骨粗しょう症予防教室を開始

平成8年 骨コツ教室を開始

平成12年 骨粗しょう症予防教室を中止

平成15年 骨コツ教室を中止

(ウ) 高脂血症予防教室

平成7年 成人病予防（高脂血症予防）のための健康教室を開始

平成15年 高脂血症予防のための健康教室を中止、高脂血症個別健康教室を開始

(エ) 糖尿病予防教室

平成8年 糖尿病教室を開始

平成 13 年 糖尿病教室を中止、糖尿病個別健康教室を開始
平成 15 年 糖尿病個別健康教室を中止、糖尿病予防教室を実施
平成 16 年 糖尿病予防教室を中止、糖尿病個別健康教室を実施
平成 26 年 糖尿病予防プチ講座を開始
平成 27 年 糖尿病予防プチ講座をボディメンテナンス教室～糖尿病予防～に
変更し実施

(オ) 高血圧予防教室

平成 16 年 高血圧個別健康教室を開始

(カ) 生活習慣病予防教室

平成 18 年 高脂血症、糖尿病、高血圧を合わせて開始

平成 24 年 生活習慣病予防教室を中止

カ 女性の健康教室

平成 24 年 女性の健康教室を実施

キ 栄養教室

平成 9 年 中年男性のヘルシークッキング教室（男性のヘルシークッキング教室）
を開始

平成 15 年 60 歳以上の男性を対象とした「60 歳からの男性のヘルシークッキン
グ教室」を実施

平成 16 年 30 歳代から 40 歳代男性を対象とした「30 歳代から 40 歳代男性の
ヘルシークッキング教室」を実施

平成 17 年 男性対象の栄養教室を中止

平成 26 年 大人の食育講座を実施

平成 28 年 65 歳以上の男性対象に「男の料理塾」を開始

ク 健康づくり教室

平成 6 年 ウォーキング健康教室を開始

平成 13 年 ヘルシーウォーキング教室に名称変更し、水中プログラムを取り入れ実
施

平成 15 年 太極拳教室を実施

これから始める男性の運動教室～かつこいい！からだづくり～を実施

平成 28 年 スリムアップ教室実施（愛知県国民健康保険団体連合会健康体操普及事
業）を単年実施

ケ ゲートキーパー研修会

令和元年 へきなん自殺対策計画（平成 31 年 3 月策定）推進の一環として、ゲー

トキーパー研修を実施

(3) 健康相談事業

ア 病態別健康相談

昭和 57 年 成人病健診受診者を対象に、病態別栄養指導（集団指導）を開始

平成 3 年 病態別栄養指導を集団指導から個別指導に変更

イ いきいき健康相談

平成 4 年 いきいき健康相談を 7 公民館で月 1 回開始

平成 17 年 保健センターを会場に週 1 回実施に変更

ウ 糖尿病栄養相談

平成 14 年 糖尿病栄養相談を開始

エ こころの健康相談

平成 22 年 こころの健康相談を地域自殺対策緊急強化基金事業として開始

平成 26 年 こころの健康相談を中止

2 健康手帳の交付

(1) 目的

特定健康診査・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、健康管理と適切な医療に資することを目的とする。

(2) 配布場所

保健センター、市内指定医療機関

(3) 対象者

40 歳以上の市民

(4) 交付数

40 から 74 歳 1, 087 冊

75 歳以上 988 冊

3 市民健康教育講座

日時・場所	演 題	講 師	受講人数 (人)
7 月 25 日 (火)	子宮頸がん予防についての正しい 理解のために	碧南市医師会 岡村 誠 氏	33

日時・場所	演 題	講 師	受講人数 (人)
8 月 22 日(火)	NO ブレイン NO ライフ ～脳 卒中予防、あなたの脳の為に出来 る事～	碧南市看護師会 楠 賢太 氏	54
9 月 26 日(火)	がんゲノム医療について知ろう	愛知県がんセンター ゲノム医療センター 衣斐 寛倫 氏	51
10 月 24 日(火)	そもそも薬って何？ なんで効く の？	碧南市薬剤師会 中根 秀樹 氏	58
11 月 28 日(火)	からだの健康は歯とお口から	碧南歯科医師会 杉浦 宏樹 氏	72
12 月 12 日(火)	身近な事故から子供を守ろう	碧南市民病院 土井 悟 氏	23
1 月 23 日(火)	緑内障で失明しない方法	碧南市医師会 田中 浩人 氏	76

会場は市役所会議室 4・5

4 ボディメンテナンス教室～糖尿病予防～

(1) 目的

碧南市は特定健康診査の結果から、糖尿病に関連した有所見率が愛知県より男女とも高くなっている。糖尿病の発症・重症化予防を目的とし、糖尿病に関する正しい知識の提供、血糖値と関連の深い食習慣に重点をおいて生活習慣の改善を支援する。

(2) 場所

保健センター

(3) 時間

第1回 午後1時30分から3時30分

第2回 午前9時30分から12時30分

第3回 午前10時から12時

(4) 対象

碧南市の令和4年度特定健康診査・生活習慣病予防健診受診者のうち、HbA1c (NGSP 値) 6%から6.4%の70歳未満の服薬なしの者（個別通知）または血糖値が高めの一般成人の市民

(5) 日程・内容・参加人数

日 程	内容(講義と実技)	参加人数 (人)
7月6日(木) 【1回目】	・糖尿病とは(碧南市医師会 鈴木厚氏) ・歯周病と糖尿病の関係・オリエンテーション	18
7月28日(金) 【2回目】	・運動と休養について ・運動実践 ・血糖値を改善する食事 ・糖尿病予防のバランスランチ試食	18
個別面談【1回目】	・ライフコーダ、食事調査の結果説明と目標設定	18
個別面談【2回目】	・生活改善状況等の確認	18
電話相談【3回目】	・生活改善状況等の確認	17
10月13日(金) 【3回目】	・糖尿病理解度チェック(グループワーク) ・間食について・果物の適量(バイキング) ・振り返り	14

5 男の料理塾

(1) 目的

高齢男性の介護予防を目的とし、自分で簡単な料理ができることで自立した在宅生活を実現できるよう支援する。

(2) 場所

保健センター

(3) 時間

午前10時から12時30分

(4) 対象

65歳以上の男性市民

(5) 日程・内容・参加人数

	日 程	内 容	参加人数 (人)
1	11月15日(水)	講話「食べて元気にフレイル予防・栄養バランスについて」など	8
2	12月20日(水)	講話「糖尿病予防」 調理実習「ご飯の炊き方、みそ汁と基本のおかず」	8

	日 程	内 容	参加人数 (人)
3	1 月 17 日(水)	講話「高血圧予防 調理実習「魚の基本料理と野菜など」	8
4	2 月 21 日(水)	講話「認知症予防」 調理実習「肉の基本料理と野菜など」	7

6 ゲートキーパー研修

へきなん自殺対策計画（平成31年3月策定）推進の一環として実施

日 時	対 象	参加人数 (人)
8 月 31 日（木） 午後 3 時 30 分～5 時	碧南市民生委員児童委員協議会	71
9 月 11 日（月） 午後 1 時 30 分～3 時 30 分	市民、健康課所管ボランティア	18
1 月 19 日(金) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分	市職員	55

講師 株式会社オフィス・ウィズ 代表取締役 竹内和美氏
（プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー）

場所 市役所 会議室1および会議室4・5

7 他機関からの依頼による健康教室

種 別	実施回数 (回)	参加人数 (人)	担 当
職域出前講座等	4	195	保健師、歯科衛生士
地域包括支援センター	2	28	栄養士、歯科衛生士
老人クラブ連合会	1	325	保健師
老人クラブ出前講座	6	216	保健師、栄養士、歯科衛生士
まちかどサロン	6	49	保健師
出前講座	13	229	保健師、栄養士、歯科衛生士
保育士研修会	1	39	栄養士
計	33	1,081	

8 健康相談

(1) 目的

心身の健康に関する個別の相談に応じ、健康管理に資することを目的とする。

(2) 内容・実施日

ア いきいき健康相談 毎週月曜日 午前9時から11時30分

イ 電話・面接・家庭訪問による相談 随時

(3) 実施状況

種 別		延人数（人）	実施回数（回）
いきいき健康相談		4	4
電話相談		41	随時
面接相談		10	
家庭訪問	特定保健指導	17	
	その他	1	

9 病態別健康相談

(1) 目的

生活習慣や食生活の改善等の相談に応じ、疾病の予防と健康の保持増進を図る。

(2) 実施日

毎週木曜日 午後1時から3時

(3) 対象者

生活習慣病予防健診受診者、医療機関より紹介された者、相談希望者、特定保健指導対象者

(4) 従事者

管理栄養士、保健師

(5) 実施状況

主内容	相談者数(人)
肥 満	6
糖尿病	18
高血圧	6
脂質異常症	17
貧 血	3
高尿酸血症	1

主内容	相談者数(人)
肝臓病	1
腎臓病	8
消化器系	0
その他	3
計	63

10 糖尿病・高血圧栄養相談

(1) 目的

糖尿病・高血圧の発症・重症化による合併症予防を目的とし、糖尿病・高血圧に関する信頼性の高い知識の周知と、食生活を中心に生活習慣の改善を支援する。

(2) 実施日

毎月第2・4木曜日 午前9時から12時（相談者の状況により応相談）

(3) 対象者

医療機関より紹介された者、相談希望者

碧南市の令和4年度特定健康診査のうち、HbA1c（NGSP 値）6.5%以上で服薬なしの者（個別通知）

(4) 内容

糖尿病・高血圧個別栄養相談、食事調査

(5) 従事者

管理栄養士

(6) 実施状況

（単位：人）

	相談動機						計	
	広報等		医療機関紹介		個人通知			
	新規	再来	新規	再来	新規	再来	新規	再来
人数	5	3	2	2	20	2	27	7

11 生活習慣病予防健診事業

(1) 生活習慣病予防健診の歩み

昭和42年 結核住民健診と併せて、成人病健診として公民館で開始

昭和52年 保健センターで成人病健診を開始

40歳無料健診を開始

昭和 57 年 新保健センターで成人病健診を実施。受診者に、医師による個別指導を開始
昭和 58 年 保健衛生推進員の体験受診を開始
昭和 59 年 50 歳半額健診を開始
昭和 60 年 超音波検査による乳腺検診を開始
昭和 62 年 婦人総合健診（乳腺検診及び婦人健診）を開始
昭和 63 年 腹部超音波検査を開始
平成 2 年 デジタル乳房撮影による乳がん検診を開始
平成 7 年 骨粗しょう症検診を開始
平成 10 年 超音波検査による乳腺検診を中止
平成 14 年 前立腺がん検診を開始
平成 16 年 マンモグラフィによる乳がん検診に変更
脳ドック検診を開始
平成 17 年 生活習慣病予防健診に名称変更
女性専用日健診として、乳がん検診を併せて実施
平成 18 年 女性専用日健診に、子宮頸がん検診を追加実施
乳がん検診を公民館等で実施
平成 25 年 婦人健診を中止
平成 27 年 生活習慣病予防健診を碧南市医師会臨床検査センターへ委託
胃がんリスク検査を開始

(2) 生活習慣病予防健診コース別検査項目

コース別 検査内容	Aコース	Bコース	Cコース (30歳以上)	Eコース (腹部超音波)	婦人総合健診 (子宮がん・乳がん)	乳がん 検診	胃がん リスク検査	骨粗鬆症 検診	前立腺 がん検診	脳ドック
尿検査	○	○	○		○					
問診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
内科診察		○	○							
身体測定	○	○	○	○	○			○		○
腹囲測定	○	○	○							
視力測定	○	○	○		○					
血圧測定	○	○	○		○					○
貧血検査	○	○	○		○					
血液生化学検査	○	○	○							
聴力検査		○	○							
心電図検査		○	○							
肺機能検査		○	○							
眼圧検査		○	○							
眼底撮影		○	○							
胸部X線撮影	○	○	○							
胃部X線撮影			○							
便潜血		○	○							
スメアテスト(子宮がん)					○					
腹部超音波				○						
ピロリ菌抗体検査							○			
血清ペプシノーゲン検査							○			
乳がん検診(X線検査)					○	○				
骨密度測定								○		
前立腺がん検診(PSA)									○	
頭部MRI										○
頭部MRA										○
頸椎MRI										●
VSRAD										●

*脳ドックの●は、選択項目

(3) コース別・性別・年齢別内訳

(男)

単位：人

コース別 年齢別	A	B	C	E	胃がん リスク検査	骨粗しょう 症検診	前立腺がん 検診	脳ドック 検診	計	
									人	%
20歳未満	0	2	—	0	0	0	—	0	2	0.1
20～29歳	9	34	—	4	0	1	—	0	48	2.9
30～39歳	9	36	29	21	3	2	—	0	100	6.0
40～49歳	2	23	80	55	7	4	—	6	177	10.7
50～59歳	3	23	92	76	8	10	56	10	278	16.7
60～69歳	1	57	134	138	3	25	126	27	511	30.8
70歳以上	0	58	126	168	—	37	131	24	544	32.8
計	24	233	461	462	21	79	313	67	1,660	100.0

(女)

単位：人

コース別 年齢別	A	B	C	E	胃がん リスク検査	婦人総合健 診	乳がん検診	骨粗しょう 症検診	脳ドック 検診	計	
										人	%
20歳未満	0	1	—	0	0	—	—	0	0	1	0.0
20～29歳	5	44	—	12	0	1	10	7	0	79	2.7
30～39歳	8	79	30	30	4	12	63	30	0	256	8.6
40～49歳	3	95	121	86	14	15	174	14	13	535	18.0
50～59歳	7	128	131	152	12	37	205	45	30	747	25.1
60～69歳	4	140	148	206	3	27	207	78	44	857	28.8
70歳以上	1	53	72	113	—	23	154	54	35	505	16.9
計	28	540	502	599	33	115	813	228	122	2,980	100.0

ア 40歳の無料健診（B・Cコース）を 968人、

イ 50歳の半額健診（B・Cコース）を1,181人に案内

40歳 受診者数：男性25名・女性63名・計88名で9.1%受診

50歳 受診者数：男性14名・女性43名・計57名で4.8%受診

ウ 健康推進員、連絡委員に生活習慣病予防健診の受診を通して、市民への健診の普及啓発施策としてB・Cコースの無料体験受診を実施

健康推進員 Bコース15名・Cコース28名・計43名受診

連絡委員 Bコース 3名・Cコース12名・計15名受診

(4) コース別・性別・判定別内訳

ア Aコース（実施回数28回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男 性							女 性						
		A	B	C	D	E	F	計	A	B	C	D	E	F	計
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	14	0	1	4	4	0	0	9	0	2	2	1	0	0	5
30～39歳	17	1	0	6	2	0	0	9	3	3	2	0	0	0	8
40～49歳	5	0	0	0	0	2	0	2	0	0	1	1	1	0	3
50～59歳	10	0	0	1	1	0	1	3	0	0	5	2	0	0	7
60～69歳	5	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	1	0	1	4
70歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	52	1	1	11	7	2	2	24	3	5	12	5	1	2	28

イ Bコース（実施回数75回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男 性							女 性						
		A	B	C	D	E	F	計	A	B	C	D	E	F	計
20歳未満	3	0	0	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1
20～29歳	78	1	7	16	9	0	1	34	3	18	12	8	1	2	44
30～39歳	115	0	2	23	11	0	0	36	3	18	41	14	1	2	79
40～49歳	118	0	2	7	12	1	1	23	4	13	42	29	1	6	95
50～59歳	151	0	0	5	11	1	6	23	1	6	56	49	1	15	128
60～69歳	197	0	0	10	32	1	14	57	0	5	42	58	1	34	140
70歳以上	111	0	0	6	33	3	16	58	0	1	17	20	1	14	53
計	773	1	11	68	109	6	38	233	11	62	210	178	6	73	540

ウ Cコース（実施回数75回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男 性							女 性						
		A	B	C	D	E	F	計	A	B	C	D	E	F	計
30～39歳	59	0	2	12	13	0	2	29	0	7	17	6	0	0	30
40～49歳	201	0	2	37	35	0	6	80	5	8	66	39	0	3	121
50～59歳	223	0	0	29	44	5	14	92	1	6	43	56	1	24	131
60～69歳	282	0	0	26	70	1	37	134	0	0	37	73	4	34	148
70歳以上	198	0	0	17	72	2	35	126	0	0	16	40	0	16	72
計	963	0	4	121	234	8	94	461	6	21	179	214	5	77	502

< A・B・Cコースの判定 >

A：今回の検査の範囲内では、異常は認められません。

B：僅かな異常を認めますが、日常生活に支障ありません。

C：僅かな異常があり、日常生活上注意が必要です。

D：精密検査のため、または治療のため医師にかかってください。

E：異常が認められます。すぐ医師にかかってください。

F：治療中

エ 胸部レントゲン決定判定区分（A・B・Cコース）

（単位：人）

年齢		20歳未満		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上		計		総計
性別		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
判定決定区分	B	2	1	43	47	74	111	103	212	114	251	179	257	162	109	677	988	1,665
	C	0	0	0	0	0	0	1	2	0	9	7	21	16	12	24	44	68
	D 2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	3	1	4
	D 3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	4	0	4
	D 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	3	1	4
	E 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2
計		2	1	43	47	74	111	104	214	116	260	191	281	182	121	712	1,035	1,747

オ 婦人総合健診（実施回数 6 回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	総 合 判 定				ベセスダシステム				
		1	2	3	4	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL
20～29歳	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
30～39歳	12	11	1	0	0	12	0	0	0	0
40～49歳	15	6	3	1	5	14	1	0	0	0
50～59歳	37	13	14	5	5	37	0	0	0	0
60～69歳	27	10	6	7	4	26	1	0	0	0
70歳以上	23	10	4	6	3	23	0	0	0	0
計	115	51	28	19	17	113	2	0	0	0

総合判定 1：異常なし 2：経過観察 3：再検査 4：精密検査
ベセスダシステム NILM以外：要精密検査

カ 女性専用日 子宮がん検診（実施回数 16 回）（単位：人）

判定 年齢別	総 数	ベセスダシステム				
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL
20～29歳	6	6				
30～39歳	37	36				1
40～49歳	99	98	1			
50～59歳	115	115				
60～69歳	128	128				
70歳以上	54	54				
計	439	437	1	0	0	1

ベセスダシステム NILM以外：要精密検査

キ Eコース（腹部超音波検査）（実施回数81回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男性					女性				
		異常なし	放置可	要観察	要精検	計	異常なし	放置可	要観察	要精検	計
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	16	3	0	0	1	4	7	0	2	3	12
30～39歳	51	7	0	13	1	21	18	0	10	2	30
40～49歳	141	15	0	37	3	55	42	0	39	5	86
50～59歳	228	7	0	64	5	76	35	0	112	5	152
60～69歳	344	11	0	123	4	138	42	0	158	6	206
70歳以上	281	11	0	147	10	168	11	0	88	14	113
計	1,061	54	0	384	24	462	155	0	409	35	599

ク 骨粗しょう症検診（実施回数89回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男 性				女 性			
		A	B	C	計	A	B	C	計
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	8	1	0	0	1	7	0	0	7
30～39歳	32	2	0	0	2	20	8	2	30
40～49歳	18	2	1	1	4	12	2	0	14
50～59歳	55	10	0	0	10	25	16	4	45
60～69歳	103	12	12	1	25	23	44	11	78
70～79歳	78	19	9	5	33	15	18	12	45
80歳以上	13	2	2	0	4	2	4	3	9
計	307	48	24	7	79	104	92	32	228

A：異常なし B：要指導 C：要再検査

ケ 前立腺がん検診（実施回数 5 9 回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	P S A 測 定 値		
		4未満	4以上	(10以上)
50～59歳	56	55	1	(0)
60～69歳	126	117	9	(2)
70歳以上	131	123	8	(1)
計	313	295	18	(3)

P S A測定値 4 以上：要精密検査

コ 胃がんリスク検査（実施回数 3 5 回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	男性					女性				
		A	B	C	D	計	A	B	C	D	計
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～39歳	7	2	1	0	0	3	3	1	0	0	4
40～49歳	21	7	0	0	0	7	13	1	0	0	14
50～59歳	20	7	1	0	0	8	8	4	0	0	12
60～64歳	6	2	1	0	0	3	3	0	0	0	3
計	54	18	3	0	0	21	27	6	0	0	33

A：異常なし B・C・D：要精密検査

サ 乳がん検診（実施回数 3 1 回）

（単位：人）

判定 年齢別	総 数	異 常 な し	要 精 検	要精検カテゴリー				
				①	②	③	④	⑤
20～29歳	10	10						
30～39歳	63	58	5			5		
40～49歳	174	165	9	3		6		
50～59歳	205	198	7			7		
60～69歳	207	199	8	1	6		1	
70歳以上	154	149	5	1		3	1	
計	813	779	34	5	6	21	2	0

シ 脳ドック検診

（単位：人）

判定 年齢別	総数	男 性						女 性					
		A	B	C	D	E	計	A	B	C	D	E	計
40～49歳	19	0	4	2	0	0	6	7	3	0	3	0	13
50～59歳	40	2	4	1	3	0	10	9	14	1	6	0	30
60～69歳	71	2	12	6	7	0	27	6	19	7	12	0	44
70～79歳	44	1	9	6	4	0	20	0	11	4	9	0	24
80歳以上	15	0	3	0	1	0	4	0	6	4	1	0	11
計	189	5	32	15	15	0	67	22	53	16	31	0	122

<脳ドック検診の判定>

A：検査では異常は認められません。

B：わずかな異常は認められましたが、日常生活には差し支えがありません。

C：日常生活に注意を要し、経過観察を必要とします。

D：専門医の診察を必要とします。

E：治療中

(5) 各コースの要精密検査受診状況（令和6年5月31日現在）

ア コース別受診者及び精密検査受診状況

（単位：人）

コース	受診者	精密検査 対象者	精密検査 受診者	精密検査受診結果					
				異常なし	通院治療	入院治療	経過観察	他院へ紹介	ピロリ菌 除菌
A	52	15	4	1	1		2		0
B	773	221	72	19	18	1	34		0
C	963	317	67	22	23	1	19	2	0
（胸部X線（肺野））	（1,747）	8	6			1	5		0
（胃透視）	（963）	45	34	4	5		20		5
（胃がんリスク検査）	（54）	9	5	1			2		2
（女性専用子宮がん検診）	（439）	24	14	8		1	5		0
（子宮がん検診細胞診）	（439）	2	2			1	1		0
E	1,061	59	47	7	3	1	32	4	0
婦人総合健診	115	18	2	1	1				0
（婦人総合健診細胞診）	（115）	2	1	1					0
乳がん検診	813	34	31	12		1	18		0
骨粗しょう症検診	307	39	24	5	11		6	2	0
前立腺がん検診	313	18	11	2		2	7		0
脳ドック検診	189	46	18	8	1	1	7	1	0

がん発見者 乳がん1名、前立腺がん2名、原発性肺がん1名、中皮腫1名、
左腎細胞がん1名

イ 便潜血反応検査（B・Cコース）

（単位：人）

提出数		陽性者		精検受診者		精検受診結果	
男	女	男	女	男	女	異常なし	異常あり
661	999	54	40	31	28	24	35
1,660		94		59			

がん発見者 大腸がん2名

ウ 肝炎ウイルス検査（A・B・Cコース）

(ア) B型肝炎検査

（単位：人）

検査者数	陽性者数
239	0

(イ) C型肝炎検査

（単位：人）

検査者数	陽性者数
250	0

1 2 医療機関委託等の健康診査事業

(1) 個別方式の健康診査事業の歩み

- 昭和 58 年 老人保健法による子宮がん検診(30 歳以上)、胃がん検診(40 歳以上) 開始
- 昭和 63 年 肺がん検診(40 歳以上)、乳がん検診(30 歳以上)、子宮体がん検診(30 歳以上) 開始
- 平成 2 年 大腸がん検診(40 歳以上) 開始
- 平成 14 年 肝炎ウイルス検診(40 歳以上) 開始
- 平成 16 年 前立腺がん検診(50 歳以上) 開始
子宮がん検診の対象年齢を 20 歳以上に変更
- 平成 20 年 健康増進法に基づく事業としてがん検診実施
個別方式の乳がん検診(マンモグラフィ・40 歳以上) 実施
- 平成 22 年 碧南市医師会臨床検査センターに委託した特定健康診査集団方式に併せて、
胃・肺・大腸・前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診を開始
- 平成 23 年 ヒトパピローマウイルス検査を開始
- 令和 2 年 子宮・乳がん検診を通年実施
- 令和 4 年 乳がん検診に超音波検査を開始

(2) 個別方式の健康診査事業の概要

ア 実施内容

がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺がん)、肝炎ウイルス検診(B・C型肝炎ウイルス検査) *特定健康診査等と同時実施

種 別	内 容	対象年齢
胃がん検診	胃部X線写真撮影	40 歳以上
肺がん検診 (結核の検査を含みます)	胸部X線写真撮影 喀痰検査：医師が必要と認めた場合	
大腸がん検診	便潜血反応検査	
乳がん検診	乳房X線写真撮影(マンモグラフィ)・医師による 視触診・自己触診法の説明	20 歳以上
	乳房超音波(エコー)検査・医師による視触診・自 己触診法の説明	
前立腺がん検診	前立腺特異抗原(PSA)値測定(血液検査) 触診：医師が必要と認めた場合	50 歳以上

子宮がん検診		20歳以上
子宮頸部がん検診	内診・子宮頸部の細胞診	
子宮体部がん検診	体部細胞診：頸部検診で医師が必要と認めた場合	
ヒトパピローマウイルス検査	HPV検査（希望者のみ有料） ＊子宮頸部がん検診に併せて実施	

イ 実施期間

令和5年6月1日（木）から令和5年11月30日（木）

ウ 実施医療機関

碧南市医師会の推薦に基づいて市が契約する医療機関

医療機関名	住 所	特定健診・肝 炎ウイルス	が ん 検 診					
			胃	肺	大腸	子宮	乳	前立腺
岡 村 産 科 婦 人 科	沢渡町 29	●				◎	◎	
長 田 医 院	源氏町 4-36	○	○	○	○			○
加 藤 病 院	松本町 158	○	○	○	○			○
上 平 医 院	野田町 52	○		○	○			○
小 林 記 念 病 院	新川町 3-88	○	○	○	○	◎	◎	○
小 林 ク リ ニ ッ ク	立山町 1-10	○		○	○			○
さ か べ 医 院	志貴町 2-86	○	○	○	○			○
作塚杉浦クリニック	作塚町 3-10	○	○	○	○			○
新 川 中 央 病 院	松江町 6-83	○	○	○	○			○
杉 浦 医 院	音羽町 2-6	○		○	○			○
にしばたクリニック	札木町 2-74	○	○	○	○			○
原 田 医 院	湖西町 1-50	○	○	○	○			○
碧 南 市 民 病 院	平和町 3-6						◎	
へきなん中央クリニック	栄町 1-44	○		○	○			○
堀 尾 医 院	新川町 5-108	○	○	○	○			○
みどりの森クリニック	向陽町 1-41	○	○	○	○			○
もぎ内科クリニック	中山町 1-25	○	○	○	○			○
山 中 従 天 医 館	東浦町 2-85	○	○	○	○			○
わしづかクリニック	旭町 4-32-1	○	○	○	○			○

◎印は、令和6年3月30日まで実施、●印は、肝炎ウイルス検診のみ実施

(3) 集団方式の健康診査事業

ア 実施内容

がん検診（胃・肺・大腸・前立腺がん）、肝炎ウイルス検診（Ｂ・Ｃ型肝炎ウイルス検査）

＊特定健康診査等と同時実施、胃がん検診は(3)イ(イ)土曜日特定健康診査のみ実施

イ 実施日・場所

(ア) 巡回特定健康診査

令和５年８月１６日(水) 碧南市医師会臨床検査センター（保健センター内）

令和５年８月２９日(火) 碧南市医師会臨床検査センター（保健センター内）

令和５年８月３０日(水) 南部市民プラザ

(イ) 土曜日特定健康診査

令和６年１月２０日(土)・１月２７日(土)

ウ 実施機関

碧南市医師会臨床検査センター

(4) 各検診結果（令和6年5月31日現在）

ア がん検診

(ア) 胃がん検診

a 医療機関委託分

（単位：人）

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	36	58	184	902	1,180
	要精検者数	0	0	5	48	53
	精検受診者数	0	0	2	34	36
	異常なし	0	0	0	2	2
	がん以外の疾患	0	0	1	31	32
	が ん	0	0	1	1	2
女	受診者数	36	80	194	782	1,092
	要精検者数	0	0	4	25	29
	精検受診者数	0	0	4	21	25
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	4	20	24
	が ん	0	0	0	1	1
計	受診者数	72	138	378	1,684	2,272
	要精検者数	0	0	9	73	82
	精検受診者数	0	0	6	55	61
	異常なし	0	0	0	2	2
	がん以外の疾患	0	0	5	51	56
	が ん	0	0	1	2	3

b 集団健診分

（単位：人）

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	2	2	8	15	27
	要精検者数	0	0	0	1	1
	精検受診者数	0	0	0	1	1
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	1	1
	が ん	0	0	0	0	0
女	受診者数	2	2	4	8	16
	要精検者数	0	0	1	0	1
	精検受診者数	0	0	1	0	1
	異常なし	0	0	1	0	1
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0
計	受診者数	4	4	12	23	43
	要精検者数	0	0	1	1	2
	精検受診者数	0	0	1	1	2
	異常なし	0	0	1	0	1
	がん以外の疾患	0	0	0	1	1
	が ん	0	0	0	0	0

(イ) 肺がん検診

a 医療機関委託分

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	71	105	416	2,440	3,032
	X線判定E	1	1	4	37	43
	(再) 喀痰細胞診受診	6	5	27	282	320
	判定D・E	0	0	0	1	1
	要精検者数	1	1	8	79	89
	精検受診者数	1	1	7	58	67
	異常なし	0	1	2	15	18
	がん以外の疾患	1	0	5	38	44
	が ん	0	0	0	5	5
女	受診者数	72	153	514	3,115	3,854
	X線判定E	2	2	5	47	56
	(再) 喀痰細胞診受診	0	4	20	137	161
	判定D・E	0	0	0	0	0
	要精検者数	4	2	9	90	105
	精検受診者数	3	2	6	77	88
	異常なし	2	0	2	30	34
	がん以外の疾患	1	2	4	45	52
	が ん	0	0	0	2	2
計	受診者数	143	258	930	5,555	6,886
	X線判定E	3	3	9	84	99
	(再) 喀痰細胞診受診	6	9	47	419	481
	判定D・E	0	0	0	1	1
	要精検者数	5	3	17	169	194
	精検受診者数	4	3	13	135	155
	異常なし	2	1	4	45	52
	がん以外の疾患	2	2	9	83	96
	が ん	0	0	0	7	7

b 集団健診分

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	9	10	14	21	54
	要精検者数	0	0	0	0	0
	X線判定E	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0
女	受診者数	16	7	15	16	54
	要精検者数	0	0	0	1	1
	X線判定E	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0
計	受診者数	25	17	29	37	108
	要精検者数	0	0	0	1	1
	X線判定E	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0

(㊦) 大腸がん検診

a 医療機関委託分

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	52	79	320	1,857	2,308
	要精検者数	4	8	32	226	270
	便潜血(+)者数	4	7	32	226	269
	精検受診者数	1	5	17	100	123
	異常なし	1	0	4	24	29
	がん以外の疾患	0	5	11	69	85
	が ん	0	0	2	7	9
女	受診者数	61	155	417	2,113	2,746
	要精検者数	3	10	28	196	237
	便潜血(+)者数	3	10	28	194	235
	精検受診者数	1	7	15	92	115
	異常なし	1	1	4	22	28
	がん以外の疾患	0	6	11	64	81
	が ん	0	0	0	6	6
計	受診者数	113	234	737	3,970	5,054
	要精検者数	7	18	60	422	507
	便潜血(+)者数	7	17	60	420	504
	精検受診者数	2	12	32	192	238
	異常なし	2	1	8	46	57
	がん以外の疾患	0	11	22	133	166
	が ん	0	0	2	13	15

b 集団健診分

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	受診者数	8	9	13	18	48
	要精検者数	0	1	3	3	7
	便潜血（+）者数	0	1	3	3	7
	精検受診者数	0	1	0	1	2
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	1	1
	が ん	0	1	0	0	1
女	受診者数	15	8	11	14	48
	要精検者数	2	1	0	1	4
	便潜血（+）者数	2	1	0	1	4
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	0	0
	が ん	0	0	0	0	0
計	受診者数	23	17	24	32	96
	要精検者数	2	2	3	4	11
	便潜血（+）者数	2	2	3	4	11
	精検受診者数	0	1	0	1	2
	異常なし	0	0	0	0	0
	がん以外の疾患	0	0	0	1	1
	が ん	0	1	0	0	1

(エ) 子宮がん検診

(単位：人)

年 齢	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
頸部受診者数	230	264	349	296	195	200	1,534
ASC-US以上	15	8	14	10	2	2	51
(再)体部受診	2	7	33	44	9	6	101
疑陽性以上	0	0	0	0	1	0	1
要精検者数	16	8	17	13	5	3	62
精検受診者数	12	6	16	11	4	2	51
異常なし	3	1	6	5	0	1	16
がん以外の疾患	9	5	10	6	3	0	33
が ん	0	0	0	1	1	1	3

a ヒトパピローマウイルス検査結果

(単位：人)

年齢	20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上		合 計	
HPV ベセスダ	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-
NILM	9	43	9	62	9	85	3	66	1	35	0	17	31	308
ASC-US	2	0	2	0	2	0	0	5	0	0	0	0	6	5
ASC-H	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
LSIL	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
HSIL	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AGC	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
合計	12	43	11	62	12	85	5	71	1	35	0	17	41	313
	55		73		97		76		36		17		354	

(イ) 乳がん検診

a マンモグラフィ検査結果

(単位：人)

年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
受診者数	122	147	162	218	649
要精検者数	14	14	11	16	55
精検受診者数	12	13	10	9	44
異常なし	2	7	4	3	16
がん以外の疾患	9	5	6	5	25
が ん	1	1	0	1	3

b 超音波検査結果

(単位：人)

年 齢	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
受診者数	103	217	83	72	67	135	677
要精検者数	7	23	13	3	4	4	54
精検受診者数	5	22	12	3	4	4	50
異常なし	0	5	3	0	0	1	9
がん以外の疾患	5	17	9	2	4	3	40
が ん	0	0	0	1	0	0	1

(カ) 前立腺がん検診

a 医療機関委託分

(単位：人)

年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
受診者数	5	152	407	2,267	2,831
要精検者数	0	6	29	174	209
精検受診者数	0	5	21	106	132
異常なし	0	0	7	15	22
がん以外の疾患	0	5	12	84	101
が ん	0	0	2	7	9

b 集団健診分

(単位：人)

年 齢	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
受診者数	11	12	23	46
要精検者数	0	3	1	4
精検受診者数	0	2	1	3
異常なし	0	0	1	1
がん以外の疾患	0	2	0	2
が ん	0	0	0	0

イ 肝炎ウイルス検診

(7) B型肝炎ウイルス検査

a 医療機関委託分 検査結果

(単位：人)

	年 齢	40歳	41～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	陰 性	23	28	24	74	106	255
	陽 性	0	0	0	0	0	0
	合 計	23	28	24	74	106	255
女	陰 性	26	26	34	88	110	284
	陽 性	0	0	0	0	0	0
	合 計	26	26	34	88	110	284
計	陰 性	49	54	58	162	216	539
	陽 性	0	0	0	0	0	0
	合 計	49	54	58	162	216	539

b 医療機関委託分 精密検査結果

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	要精検者数	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	肝炎	0	0	0	0	0
	キャリア	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
女	要精検者数	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	肝炎	0	0	0	0	0
	キャリア	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
計	要精検者数	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	肝炎	0	0	0	0	0
	キャリア	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0

c 集団健診分

(単位：人)

	年 齢	40歳	41～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	陰 性	0	4	7	1	0	12
	陽 性	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	4	7	1	0	12
女	陰 性	0	3	3	0	3	9
	陽 性	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	3	3	0	3	9
計	陰 性	0	7	10	1	3	21
	陽 性	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	7	10	1	3	21

(イ) C型肝炎ウイルス検査

a 医療機関委託分

(単位：人)

	年 齢	40歳	41～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	0	0	0	0	0	0
	判 定 4	0	0	0	0	0	0
	判 定 5	23	28	24	73	105	253
	合 計	23	28	24	73	105	253
女	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	0	0	0	1	0	1
	判 定 4	0	0	0	0	2	2
	判 定 5	26	26	34	87	108	281
	合 計	26	26	34	88	110	284
計	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	0	0	0	1	0	1
	判 定 4	0	0	0	0	2	2
	判 定 5	49	54	58	160	213	534
	合 計	49	54	58	161	215	537

b 医療機関委託分 精密検査結果

(単位：人)

	年 齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	要精検者数	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	C型肝炎	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
女	要精検者数	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	C型肝炎	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
計	要精検者数	0	0	0	0	0
	精検受診者数	0	0	0	0	0
	C型肝炎	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0

c 集団健診分

(単位：人)

	年 齢	40歳	41～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
男	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	0	0	0	0	0	0
	判 定 4	0	0	0	0	0	0
	判 定 5	0	4	7	1	0	12
	合 計	0	4	7	1	0	12
女	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	0	0	0	0	0	0
	判 定 4	0	0	0	0	0	0
	判 定 5	0	3	3	0	3	9
	合 計	0	3	3	0	3	9
計	判 定 1	0	0	0	0	0	0
	判 定 2	0	0	0	0	0	0
	判 定 3	0	0	0	0	0	0
	判 定 4	0	0	0	0	0	0
	判 定 5	0	7	10	1	3	21
	合 計	0	7	10	1	3	21

第5 特定健康診査等

1 特定健康診査等の歩み

- 平成20年 高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査を開始
介護保険第1号被保険者で要介護等認定を受けていない者に生活機能評価を
同時実施
- 平成22年 後期高齢者医療広域連合加入者に医師が必要と認める詳細な項目を実施
碧南市医師会臨床検査センターに委託した特定健康診査集団方式を開始
- 平成25年 生活機能評価は廃止、介護保険第1号被保険者で要介護等認定を受けていな
い者に介護予防のための基本チェックリストを同時実施
- 平成27年 介護保険第1号被保険者で要介護等認定を受けていない者に介護予防のため
の基本チェックリストを廃止
- 令和2年 後期高齢者医療広域連合加入者にフレイル状態に着目した「後期高齢者の質
問票」を導入

2 特定健康診査等の概要

(1) 対象者

- ア 碧南市国民健康保険加入者で年度内に40歳から74歳に達する者
- イ 後期高齢者医療広域連合加入者
- ウ 碧南市在住の生活保護受給者で40歳以上の者
- ※ 高齢者の医療の確保に関する法律第55条第1項第2号から第5号までに規定
する施設に入所している者は対象外

(2) 実施期間・場所

- ア 医療機関委託
令和5年6月1日（木）から令和5年11月30日（木）
碧南市医師会の推薦に基づいて市が契約する医療機関（73ページを参照）
- イ 生活習慣病予防健診（特定健康診査として、対象者のうち(1)アのみを対象）
通年 保健センター
- ウ 集団健診（特定健康診査として、対象者のうち(1)アのみを対象）

(ア) 巡回特定健康診査

- 令和5年8月16日（水） 碧南市医師会臨床検査センター（保健センター内）
- 令和5年8月29日（火） 碧南市医師会臨床検査センター（保健センター内）
- 令和5年8月30日（水） 南部市民プラザ

(イ) 土曜日特定健康診査

令和6年1月20日(土)・1月27日(土)

碧南市医師会臨床検査センター（保健センター内）

(3) 検査項目

ア 基本的な項目

(ア) 問診：現病・既往歴・生活習慣等

(イ) 身体測定：身長・体重・腹囲・BMI

(ウ) 理学的所見：聴打診・触診

(エ) 血圧測定

(オ) 尿検査（糖・蛋白・潜血）

(カ) 血液検査：脂質（HDL・LDLコレステロール、中性脂肪）

肝機能（GOT・GPT・ γ -GTP）

血糖（空腹時または随時）、ヘモグロビンA1c

アルブミン、e-GFR、尿酸

イ 医師が必要と認める詳細な項目

(ア) 貧血検査：赤血球・血色素量・ヘマトクリット

(イ) 心電図検査（標準12誘導心電図）

(ウ) 眼底検査（無散瞳又は散瞳型カメラによる眼底写真撮影）

(エ) クレアチニン

3 健康診査受診者数状況

(1) 医療機関委託分

(単位：人)

		男	女	合計	詳細健診再掲								
					貧血検査			心電図検査			眼底検査		
					男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
国保	40～64歳	349	458	807	309	427	736	329	434	763	96	159	255
	65～74歳	1,114	1,226	2,340	1,012	1,098	2,110	1,083	1,195	2,278	279	275	554
	小計	1,463	1,684	3,147	1,321	1,525	2,846	1,412	1,629	3,041	375	434	809
後期高齢者		1,726	2,256	3,982	1,593	2,055	3,648	1,686	2,213	3,899	339	453	792
生活保護受給者		15	12	27	11	11	22	15	11	26	3	6	9
合計		3,204	3,952	7,156	2,925	3,591	6,516	3,113	3,853	6,966	717	893	1,610

(2) 生活習慣病予防健診分 (単位：人)

		男	女	合計
国保	40～64歳	125	155	280
	65～74歳	169	166	335
	合計	294	321	615

(3) 集団健診分 (単位：人)

		男	女	合計
国保	40～64歳	39	44	83
	65～74歳	35	33	68
	合計	74	77	151

4 医療機関委託分 健診結果

(1) 国民健康保険加入者分

		異常なし		要観察		要指導		要医療		判定なし		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
総合判定	男	67	4.6	393	26.9	216	14.8	784	53.6	3	0.2	1,463	100.0
	女	107	6.4	540	32.1	212	12.6	822	48.8	3	0.2	1,684	100.0
	合計	174	5.5	933	29.6	428	13.6	1,606	51.0	6	0.2	3,147	100.0
循環器	男	337	23.0	382	26.1	131	9.0	610	41.7	3	0.2	1,463	100.0
	女	417	24.8	436	25.9	130	7.7	696	41.3	5	0.3	1,684	100.0
	合計	754	24.0	818	26.0	261	8.3	1,306	41.5	8	0.3	3,147	100.0
貧血	男	1,105	75.5	239	16.3	33	2.3	26	1.8	60	4.1	1,463	100.0
	女	1,311	77.9	257	15.3	20	1.2	29	1.7	67	4.0	1,684	100.0
	合計	2,416	76.8	496	15.8	53	1.7	55	1.7	127	4.0	3,147	100.0
糖尿病	男	459	31.4	558	38.1	186	12.7	257	17.6	3	0.2	1,463	100.0
	女	555	33.0	744	44.2	204	12.1	178	10.6	3	0.2	1,684	100.0
	合計	1,014	32.2	1,302	41.4	390	12.4	435	13.8	6	0.2	3,147	100.0
肝疾患	男	981	67.1	301	20.6	96	6.6	82	5.6	3	0.2	1,463	100.0
	女	1,384	82.2	223	13.2	40	2.4	34	2.0	3	0.2	1,684	100.0
	合計	2,365	75.2	524	16.7	136	4.3	116	3.7	6	0.2	3,147	100.0
腎疾患	男	955	65.3	323	22.1	116	7.9	66	4.5	3	0.2	1,463	100.0
	女	1,145	68.0	375	22.3	110	6.5	51	3.0	3	0.2	1,684	100.0
	合計	2,100	66.7	698	22.2	226	7.2	117	3.7	6	0.2	3,147	100.0

※判定なしは、詳細健診等未実施等の場合

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

(2) 後期高齢者医療広域連合加入者分

		異常なし		要観察		要指導		要医療		判定なし		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
総合判定	男	44	2.5	377	21.8	255	14.8	1,048	60.7	2	0.1	1,726	100.0
	女	71	3.1	532	23.6	281	12.5	1,369	60.7	3	0.1	2,256	100.0
	合計	115	2.9	909	22.8	536	13.5	2,417	60.7	5	0.1	3,982	100.0
循環器	男	278	16.1	473	27.4	211	12.2	761	44.1	3	0.2	1,726	100.0
	女	384	17.0	566	25.1	201	8.9	1,101	48.8	4	0.2	2,256	100.0
	合計	662	16.6	1,039	26.1	412	10.3	1,862	46.8	7	0.2	3,982	100.0
貧血	男	937	54.3	538	31.2	91	5.3	86	5.0	74	4.3	1,726	100.0
	女	1,405	62.3	552	24.5	79	3.5	106	4.7	114	5.1	2,256	100.0
	合計	2,342	58.8	1,090	27.4	170	4.3	192	4.8	188	4.7	3,982	100.0
糖尿病	男	421	24.4	643	37.3	316	18.3	344	19.9	2	0.1	1,726	100.0
	女	526	23.3	993	44.0	409	18.1	325	14.4	3	0.1	2,256	100.0
	合計	947	23.8	1,636	41.1	725	18.2	669	16.8	5	0.1	3,982	100.0
肝疾患	男	1,299	75.3	280	16.2	95	5.5	50	2.9	2	0.1	1,726	100.0
	女	1,931	85.6	234	10.4	48	2.1	40	1.8	3	0.1	2,256	100.0
	合計	3,230	81.1	514	12.9	143	3.6	90	2.3	5	0.1	3,982	100.0
腎疾患	男	890	51.6	472	27.3	204	11.8	158	9.2	2	0.1	1,726	100.0
	女	1,141	50.6	715	31.7	276	12.2	121	5.4	3	0.1	2,256	100.0
	合計	2,031	51.0	1,187	29.8	480	12.1	279	7.0	5	0.1	3,982	100.0

※判定なしは、詳細健診等未実施等の場合

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

(3) 生活保護受給者分

		異常なし		要観察		要指導		要医療		判定なし		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
総合判定	男	0	0.0	3	20.0	1	6.7	11	73.3	0	0.0	15	100.0
	女	0	0.0	1	8.3	1	8.3	10	83.3	0	0.0	12	100.0
	合計	0	0.0	4	14.8	2	7.4	21	77.8	0	0.0	27	100.0
循環器	男	1	6.7	4	26.7	0	0.0	10	66.7	0	0.0	15	100.0
	女	0	0.0	4	33.3	0	0.0	8	66.7	0	0.0	12	100.0
	合計	1	3.7	8	29.6	0	0.0	18	66.7	0	0.0	27	100.0
貧血	男	10	66.7	2	13.3	2	13.3	0	0.0	1	6.7	15	100.0
	女	8	66.7	3	25.0	0	0.0	0	0.0	1	8.3	12	100.0
	合計	18	66.7	5	18.5	2	7.4	0	0.0	2	7.4	27	100.0
糖尿病	男	3	20.0	7	46.7	2	13.3	3	20.0	0	0.0	15	100.0
	女	0	0.0	4	33.3	5	41.7	3	25.0	0	0.0	12	100.0
	合計	3	11.1	11	40.7	7	25.9	6	22.2	0	0.0	27	100.0
肝疾患	男	10	66.7	3	20.0	2	13.3	0	0.0	0	0.0	15	100.0
	女	7	58.3	3	25.0	0	0.0	2	16.7	0	0.0	12	100.0
	合計	17	63.0	6	22.2	2	7.4	2	7.4	0	0.0	27	100.0
腎疾患	男	9	60.0	3	20.0	2	13.3	1	6.7	0	0.0	15	100.0
	女	5	41.7	4	33.3	2	16.7	1	8.3	0	0.0	12	100.0
	合計	14	51.9	7	25.9	4	14.8	2	7.4	0	0.0	27	100.0

※判定なしは、詳細健診等未実施等の場合

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

5 碧南市国民健康保険加入者 特定健康診査結果

(1) 令和5年度分

ア メタボリックシンドローム判定

		基準該当		予備群該当		非該当		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	146	28.5	96	18.7	270	52.6	1	0.2	513	100.0
	女	64	9.7	44	6.7	548	83.4	1	0.2	657	100.0
	小計	210	17.9	140	12.0	818	69.9	2	0.2	1,170	100.0
65～74 歳	男	508	38.5	215	16.3	595	45.1	0	0.0	1,318	100.0
	女	239	16.8	87	6.1	1,099	77.1	0	0.0	1,425	100.0
	小計	747	27.2	302	11.0	1,694	61.8	0	0.0	2,743	100.0
合計		957	24.5	442	11.3	2,512	64.2	2	0.1	3,913	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

イ 保健指導レベル

		積極的		動機づけ		服薬のための 情報提供		情報提供		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	88	17.2	46	9.0	129	25.1	249	48.5	1	0.2	513	100.0
	女	32	4.9	36	5.5	82	12.5	506	77.0	1	0.2	657	100.0
	小計	120	10.3	82	7.0	211	18.0	755	64.5	2	0.2	1,170	100.0
65～74 歳	男	-	-	163	12.4	592	44.9	562	42.6	1	0.1	1,318	100.0
	女	-	-	94	6.6	347	24.4	984	69.1	0	0.0	1,425	100.0
	小計	-	-	257	9.4	939	34.2	1,546	56.4	1	0.0	2,743	100.0
合計		120	3.1	339	8.7	1,150	29.4	2,301	58.8	3	0.1	3,913	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

(2) 医療機関委託分

ア メタボリックシンドローム判定

		基準該当		予備群該当		非該当		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	108	30.9	66	18.9	174	49.9	1	0.3	349	100.0
	女	59	12.9	36	7.9	362	79.0	1	0.2	458	100.0
	小計	167	20.7	102	12.6	536	66.4	2	0.2	807	100.0
65～74 歳	男	454	40.8	190	17.1	470	42.2	0	0.0	1,114	100.0
	女	218	17.8	84	6.9	924	75.4	0	0.0	1,226	100.0
	小計	672	28.7	274	11.7	1,394	59.6	0	0.0	2,340	100.0
合計		839	26.7	376	11.9	1,930	61.3	2	0.1	3,147	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

イ 保健指導レベル

		積極的		動機づけ		服薬のための 情報提供		情報提供		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	58	16.6	36	10.3	94	26.9	160	45.8	1	0.3	349	100.0
	女	26	5.7	26	5.7	72	15.7	333	72.7	1	0.2	458	100.0
	小計	84	10.4	62	7.7	166	20.6	493	61.1	2	0.2	807	100.0
65～74 歳	男	－	－	142	12.7	528	47.4	444	39.9	0	0.0	1,114	100.0
	女	－	－	82	6.7	314	25.6	830	67.7	0	0.0	1,226	100.0
	小計	－	－	224	9.6	842	36.0	1,274	54.4	0	0.0	2,340	100.0
合計		84	2.7	286	9.1	1,008	32.0	1,767	56.1	2	0.1	3,147	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

(3) 生活習慣病予防健診分

ア メタボリックシンドローム判定

		基準該当		予備群該当		非該当		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	25	20.0	22	17.6	78	62.4	0	0.0	125	100.0
	女	4	2.6	6	3.9	145	93.5	0	0.0	155	100.0
	小計	29	10.4	28	10.0	223	79.6	0	0.0	280	100.0
65～74 歳	男	43	25.4	23	13.6	103	60.9	0	0.0	169	100.0
	女	17	10.2	3	1.8	146	88.0	0	0.0	166	100.0
	小計	60	17.9	26	7.8	249	74.3	0	0.0	335	100.0
合計		89	14.5	54	8.8	472	76.7	0	0.0	615	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

イ 保健指導レベル

		積極的		動機づけ		服薬のための 情報提供		情報提供		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	19	15.2	9	7.2	24	19.2	73	58.4	0	0.0	125	100.0
	女	4	2.6	10	6.5	7	4.5	134	86.5	0	0.0	155	100.0
	小計	23	8.2	19	6.8	31	11.1	207	73.9	0	0.0	280	100.0
65～74 歳	男	－	－	17	10.1	53	31.4	98	58.0	1	0.6	169	100.0
	女	－	－	10	6.0	25	15.1	131	78.9	0	0.0	166	100.0
	小計	－	－	27	8.1	78	23.3	229	68.4	1	0.3	335	100.0
合計		23	3.7	46	7.5	109	17.7	436	70.9	1	0.2	615	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

(4) 集団健診分

ア メタボリックシンドローム判定

		基準該当		予備群該当		非該当		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	13	33.3	8	20.5	18	46.2	0	0.0	39	100.0
	女	1	2.3	2	4.5	41	93.2	0	0.0	44	100.0
	小計	14	16.9	10	12.0	59	71.1	0	0.0	83	100.0
65～74 歳	男	11	31.4	2	5.7	22	62.9	0	0.0	35	100.0
	女	4	12.1	0	0.0	29	87.9	0	0.0	33	100.0
	小計	15	22.1	2	2.9	51	75.0	0	0.0	68	100.0
合計		29	19.2	12	7.9	110	72.8	0	0.0	151	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

イ 保健指導レベル

		積極的		動機づけ		服薬のための 情報提供		情報提供		判定不能		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
40～64 歳	男	11	28.2	1	2.6	11	28.2	16	41.0	0	0.0	39	100.0
	女	2	4.5	0	0.0	3	6.8	39	88.6	0	0.0	44	100.0
	小計	13	15.7	1	1.2	14	16.9	55	66.3	0	0.0	83	100.0
65～74 歳	男	-	-	4	11.4	11	31.4	20	57.1	0	0.0	35	100.0
	女	-	-	2	6.1	8	24.2	23	69.7	0	0.0	33	100.0
	小計	-	-	6	8.8	19	27.9	43	63.2	0	0.0	68	100.0
合計		13	8.6	7	4.6	33	21.9	98	64.9	0	0.0	151	100.0

※%は小数点以下第2位を四捨五入して計上

6 特定保健指導等

(1) ライフデザイン相談（特定保健指導個別支援型）

ア 対象

積極的支援・動機付け支援対象者

イ 日時

予約制・1人30分程度

ウ 場所

保健センター

エ 従事

管理栄養士、保健師

オ 内容

個別面接による特定保健指導

カ 実施状況（健診年度に関わらず、令和5年度に特定保健指導を実施した者）

（単位：人）

内訳	積極的	動機付け	計
初回面接	12	59	71
中間評価	12	-	12
最終評価	7	62	69

※初回面接は、ライフデザイン講座（特定保健指導グループ支援型）参加者も含む。

(2) ライフデザイン講座（特定保健指導グループ支援型）

ア 対象

積極的支援・動機付け支援対象者

イ 場所

保健センター

ウ 従事

管理栄養士、保健師

エ 内容

1グループ90分・8名以内による特定保健指導

オ 実施状況

（単位：人）

	実施月日	積極的	動機付け	計
1	令和6年1月11日（木） 午前	0	3	3
2	2月15日（木） 午前	0	8	8

(単位：人)

	実 施 月 日	積極的	動機付け	計
3	2月21日(水) 午後	0	7	7
4	3月13日(水) 午前	2	10	12
5	3月14日(木) 午前	0	8	8
6	3月25日(月) 午後	1	7	8

(3) 実践講座

ア 対象

積極的支援・動機付け支援対象者等

イ 日時

毎月概ね第1木曜日 午後1時30分から3時

ウ 場所

へきなん福祉センターあいくる まちかどホール

エ 講師

運動実技指導 森田東子氏

オ 従事

保健師

カ 内容

血圧測定等健康チェック・運動実技

キ 実施状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	R6. 1	2	3	計
日	6	25	1	6	10	7	5	2	7	25	1	7	311
人数	33	25	27	22	中止	32	34	29	24	29	31	25	

(4) 国民健康保険健康づくりイベント（かるやかウォーキングツアー）

ア 対象

40歳から74歳までの碧南市国民健康保険加入者

イ 日時

(ア) 5月30日(火) 午前9時30分から13時

(イ) 10月31日(火) 午前9時30分から13時

ウ 場所

保健センター

エ 従事

保健師、管理栄養士

オ 協力

在宅保健師会「あいち」（愛知県国民健康保険団体連合会保健事業支援）、健康づくり食ボランティア協議会

カ 内容

血圧測定・健康チェック、ウォーキング（保健センター・臨海公園往復約5km）、健康づくりに関する講義

(ア) 感染症に負けない身体づくり（保健師）

(イ) 効果的なウォーキング（健康運動実践指導者）

キ 参加人数

(ア) 9人

(イ) 17人

(5) ウォーキング自主グループ活動

ア 日時

第2・4月曜日（祝日の場合は振替）月2回

午前9時から約1時間（夏季は午前8時30分から）

イ 内容

(ア) ウォーキング（保健センター・臨海公園往復約5km）、準備・整理体操

(イ) 5月31日（水）チャレンジデーにウォーキングイベント実施 18人

ウ 実施状況 会員28人(年度末)

(単位：人)

月	4		5		6		7		8		9	
日	10	24	8	22	12	26	10	24	14	28	11	25
人数	11	8	10	11	中止	12	9	10	7	10	中止	10
月	10		11		12		R6. 1		2		3	
日	2	23	13	27	11	25	15	22	19	26	11	25
人数	14	11	11	12	11	10	10	12	中止	11	7	中止
計	207											

※中止は、悪天候のため。

第6 介護予防事業

1 介護予防事業の歩み

平成18年度の介護保険制度改正により介護予防事業を含む地域支援事業が創設されたことに伴い、健康相談・教育の一部を変更しつつ、介護予防事業として組み立てた。

2 介護予防把握事業の歩み

(1) なごやかアンケート調査

平成18年 なごやか訪問を開始

平成28年 家庭訪問による基本チェックリスト等の回収を、在宅介護支援センター廃止に伴い、社会福祉協議会（委託）・市地域包括支援センター・健康課で実施

平成29年 平成27年度の介護保険法改正により、一次・二次介護予防事業を介護予防・日常生活支援総合事業の一般介護予防事業として再編したことに伴い、なごやかアンケート調査として実施

令和4年 高齢介護課で実施

(2) 介護予防スクリーニング

平成20年 特定健康診査等と同時に、介護保険第1号被保険者で要介護等認定を受けていない者に生活機能評価を実施

平成25年 生活機能評価は廃止。特定健康診査等と同時に、介護保険第1号被保険者で要介護等認定を受けていない者に基本チェックリストを実施

平成27年 特定健康診査等時の基本チェックリストを中止。過去3年間、基本チェックリストの未実施者を対象に実施

平成29年 平成27年度の介護保険法改正により、一次・二次介護予防事業を介護予防・日常生活支援総合事業の一般介護予防事業として再編したことに伴い、介護予防スクリーニングは、なごやかアンケート調査にて実施

(3) 介護予防相談

平成18年 介護予防相談を東部市民プラザ高齢者元気ッス館で開始

平成19年 8月より東部市民プラザ筋トレルーム60内で実施

平成29年 農業活性化センターあおいパーク筋トレルーム60開設に伴い、あおいパーク筋トレルーム60内で開始

平成30年 介護予防栄養相談を開始（介護予防相談に併設）

令和元年 5月の勤労青少年水上スポーツセンター筋トレルーム60開設に伴い、勤労青少年水上スポーツセンター筋トレルーム60内で開始

令和2年 介護予防歯科相談を開始（介護予防相談に併設）したが、感染拡大防止のため中止

令和3年 1月の筋トレルーム60委託事業者変更に伴い、事業者による相談を開始したため、筋トレルーム60内での介護予防相談は中止

3 通所型介護予防事業の歩み

(1) 元気はつらつ教室

平成18年 元気はつらつ教室を開始

平成27年 市地域包括支援センターで実施

(2) 貯筋塾

平成19年 貯筋塾を開始（一部を株式会社愛知スイミングへ委託）

平成26年 一部を東郷町施設サービス株式会社へ委託

平成28年 市地域包括支援センターで実施

4 訪問型介護予防事業の歩み

平成18年 訪問型介護予防事業を開始

平成28年 訪問型介護予防事業を終了

5 介護予防普及啓発事業の歩み

(1) すこやか健康講座

昭和54年 老人クラブを対象に老人保健大学、老人健康相談を開始

昭和55年 老人保健大学をシルバー保健学級に名称変更

平成元年 老人健康相談をすこやか健康教室に名称変更

平成2年 シルバー保健学級をすこやか健康教室に統合、各老人クラブ年3回実施

平成11年 各老人クラブ年2回実施に変更

平成18年 介護保険法の地域支援事業に位置付けて実施

平成20年 各老人クラブ年1回実施に変更

令和5年 高齢者教室の一講座として実施に変更

(2) 筋力トレーニング教室

平成14年 高齢者のための筋力トレーニング教室を開始

平成15年 メディカル筋力トレーニング教室に名称変更

平成18年 介護保険法の地域支援事業に位置付けて実施、筋力トレーニング教室に名称変更

- 平成 23 年 介護予防普及啓発事業「おたっしや大学」の講座として実施
- (3) 運動機能向上事業
- 平成 18 年 運動機能向上事業を開始（碧南スイミングスクールへ委託）
- 平成 20 年 運動機能向上事業を中止
- (4) 回想法教室
- 平成 18 年 回想法カレッジを開始
- 平成 21 年 回想法教室に名称変更
- 平成 23 年 介護予防普及啓発事業「おたっしや大学」の講座として実施
- (5) ピンシヤン講座
- 平成 18 年 ピンシヤン講座を開始
- 平成 23 年 介護予防普及啓発事業「おたっしや大学」の公開講座として実施
- (6) 低栄養予防、口腔機能向上事業
- 平成 18 年 低栄養予防として「自分でできるヘルシー栄養教室」を実施
- 平成 19 年 低栄養予防、口腔機能向上として「歯れやか栄養教室」を開始
- 平成 22 年 「歯れやか栄養教室」を中止
- 平成 23 年 低栄養予防、口腔機能向上事業を介護予防普及啓発事業「おたっしや大学」の講座として実施
- (7) 認知症・閉じこもり予防事業
- 平成 22 年 認知症・閉じこもり予防事業として「手作りを楽しんでみませんかクッキング編」を実施
- 平成 23 年 認知症・閉じこもり予防事業を介護予防普及啓発事業「おたっしや大学」の講座として実施
- (8) おたっしや大学
- 平成 23 年 介護予防を目的とした事業を統合し、「おたっしや大学」を開始
- 平成 29 年 「おたっしや大学」脳健康教室終了者で自主活動を開始
- (9) 筋トレルーム 60
- 平成 19 年 8 月より東部市民プラザ高齢者元気ッス館に開設（株式会社愛知スイミングに委託）
- 平成 20 年 実施日・時間を土・日曜日と午後に時間拡大
- 平成 21 年 碧南ライオンズクラブ 45 周年記念、ヒップ AB/ADD 寄贈
- 平成 26 年 東郷町施設サービス株式会社に委託
- 平成 29 年 農業活性化センターあおいパークに開設
- 9 月より、名称を筋トレルーム 60 に変更（旧貯筋ルーム）

令和元年 5月21日勤労青少年水上スポーツセンターに開設
令和3年 1月より、シンコースポーツ中部株式会社に委託
令和6年 1月より、株式会社アクトスに委託

6 地域介護予防活動支援事業の歩み

(1) リハビリ教室

平成3年 老人保健法機能訓練A型（基本型）として開始
平成7年 送迎を開始
平成12年 介護保険法施行に伴い、自主グループへ移行
要介護等認定非該当を対象にはつらつ教室を開始、年度末で中止

(2) 遊友の会

平成12年 老人保健法機能訓練B型（地域参加型）として、新川地区で開始
平成13年 旭地区を追加し実施
平成14年 中央・棚尾地区を追加し実施
平成15年 大浜・西端地区を追加し、市内全域で実施
平成18年 介護保険法の地域支援事業に位置付けて実施
平成27年 市包括支援センター実施の通所型介護予防事業「元氣いきいき教室」を中止希望者で地域介護予防活動支援事業に位置付け「元氣いきいき会」を開始

(3) 介護予防サポーター養成講習会

平成18年 介護予防サポーター養成講習会を開始、遊友の会ボランティアを介護予防サポーターへ位置付ける

(4) 傾聴ボランティア養成講習会

平成22年 地域自殺対策緊急強化基金事業として、傾聴ボランティア養成講習会を開始
平成25年 傾聴ボランティア「へきなん傾聴の会」発足
平成27年 地域自殺対策緊急強化基金事業終了に伴い、地域介護予防活動支援事業として実施

7 令和5年度 一般介護予防事業

事業	健康課 事業
介護予防把握事業	介護予防相談
介護予防普及啓発事業	すこやか健康講座
	おたっしや大学
	筋トレルーム60
地域介護予防活動支援事業	遊友の会
	介護予防サポーター養成・活動支援
	傾聴ボランティア養成・活動支援

8 すこやか健康講座

(1) 目的

疾病予防、介護予防に関する健康教育等を実施し、健康寿命の延伸につなげる。

(2) 対象

老人クラブ会員等

(3) 場所

各地区公民館等

(4) 内容

ア 医師・歯科医師・薬剤師を講師とした健康づくり・介護予防の講演

イ 保健師・栄養士・歯科衛生士による健康づくり・介護予防の情報提供及びレクリエーション

ウ 保健師による血圧測定、健康相談（希望者）

(5) 実施状況

地区	実施日	演題	講師	参加人数(人)
新川	12月14日(木)	余生を元気に - そのために心がけること -	堀尾 静氏	53
	1月24日(水)	スマートフォンやテレビなどを使用する時の姿勢が口腔内に与える影響	神谷 健史氏	34
中部	7月20日(木)	歯医者のお仕事	永坂 直哉氏	66

地区	実施日	演題	講師	参加人数(人)
大浜	12月5日(火)	人は血管とともに老いる	坂部 慶幸氏	26
	12月6日(水)	最近の認知症の話	吉原 直希氏	28
	12月7日(木)	食事でコツコツ予防！骨粗鬆症	健康課栄養士	45
棚尾	6月7日(水)	どうしよう、これから	杉浦 勇人氏	44
	10月4日(水)	薬の正しい使い方	和田 明日香氏	28
日進	9月28日(木)	オーラルフレイル～健康長寿のために知っておきたいこと～	小川 譲氏	25
鷺塚	9月8日(金)	薬剤師から見た認知症の治療と予防	辻野 友章氏	59
西端	1月12日(木)	冬に注意する病気	原田 公氏	66
合計				474

9 おたっしや大学

介護予防を目的とした事業を平成22年度までは、一つ一つの教室として実施してきたが、多くの高齢者の方に興味を持ってもらい、楽しみながら体系的に介護予防を学んでいただけるような仕組みとして「大学」という制度を設け、平成23年度より「おたっしや大学」を開校。

(1) 目的

- ア 介護予防に関する知識の普及啓発を行い、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることが出来るよう支援する。
- イ 「大学」という登録制度を作り、市が行う介護予防事業を体系的にまとめ、効果的な介護予防の普及啓発を行う。
- ウ 「大学」という登録制度を作り、介護予防に資する自発的な活動を促し、介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築をめざす。

(2) 対象者

65歳以上の市民で、自分で講座に参加できる人

(3) 内容

下記のとおり各種講座を実施。各種講座は、入学者が選択して受講する。各種講座ごとに受講認定ポイントを定め、必要ポイント達成者は、修了式に修学認定証を授与す

る。

ア 入学説明会

イ 始業式・基調講演

ウ 介護予防基本講座

(ア) 運動機能向上講演会

(イ) 口腔機能向上講演会

(ウ) 栄養講座

エ 脳機能の維持・向上実践講座

(ア) 脳の健康教室（2 2回コース）

(イ) おたっしやサロン～むかし話に花咲かせよう～（4 回コース）

オ 身体機能の維持・向上実践講座

(ア) 1 5 分運動！チャレンジデーを盛り上げよう

(イ) いつでも、どこでも、気軽に出来る指ヨガ健康法

(ウ) からだ、こころ 動き出す 体操講座（2 回コース）

(エ) 筋力トレーニング教室（1 3 回コース）

(オ) 太極拳（3 回コース）

カ 介護予防全般の講座

(ア) これからの人生「大切にしたいこと」を考えましょう

～もしバナゲームで人生会議～

(イ) 体力測定会

(ウ) ピンシヤン講座（公開講座）

キ 修了式

令和5年度登録者数 1 5 3 人（令和6年3月末）

講座名	実施日	内容・講師等	参加人数 (人)
入学説明会	4 月 11 日 (火)	入学説明会 担当：保健師	13
始業式 基調講演	5 月 23 日 (火)	「生涯現役でいるための体と頭の鍛え方」 講師：国立研究開発法人 国立長寿医療研究 センター 老年学 社会科学研究所センター 長 島田裕之氏	114

講座名	実施日	内容・講師等	参加人数 (人)
介護予防 基本講座(ア)	12月18日(月)	運動機能向上講演会 「宇宙医学から学ぶ、健康長寿に役立つ運動」 講師：日本福祉大学大学院 スポーツ 科学研究所 日本福祉大学 スポーツ 科学部 教授 西村直記氏	55
介護予防 基本講座(イ)	11月22日(水)	口腔機能向上講演会 「口腔機能と健康寿命」 講師：碧南歯科医師会 小林正人氏 実技担当：歯科衛生士	35
介護予防 基本講座(ウ)	1月29日(月)	栄養講座 講話：「チーズセミナー ～チーズを美味しく楽しむ～」、セルフチェック「高齢期に必要な栄養」 講師：雪印メグミルク 梅田佳代氏 担当：栄養士、保健師	33
脳機能の 維持・向上 実践講座(ア)	5月29日(月) から 11月20日(月)	脳の健康教室(22回コース) くもん学習療法センター「くもん脳の健康教室」を実施 担当：保健師	実 13 延 248
脳機能の 維持・向上 実践講座(イ)	8月18日(金) から 9月8日(金)	おたっしやサロン～むかし話に花咲かせよう～(4回コース) 担当：保健師	実 12 延 41
身体機能の 維持・向上 実践講座(ア)	5月31日(水)	15分運動！ チャレンジデーを盛り上げよう	55
身体機能の 維持・向上 実践講座(イ)	6月20日(火)	「いつでも、どこでも、気軽に出来る指ヨガ健康法」 ～指ヨガで、心と身体の声を聴いてみよう！～ 講師：森島千春氏・菅原ひな子氏	44
身体機能の 維持・向上 実践講座(ウ)	7月19日(水)	からだ、こころ 動き出す 体操講座 講師：たぶち優子氏 (2回コース・2クール)	午前 20 午後 23
	8月2日(水)		午前 19 午後 21

講座名	実施日	内容・講師等	参加人数 (人)
身体機能の 維持・向上 実践講座(エ)	8月28日(月) から 12月4日(月)	筋力トレーニング教室(13回コース) 講演「筋力トレーニングの必要性及び継続のために」 講師:日本福祉大学 社会福祉総合研究センター 荒深裕規氏 愛知県健康づくりアドバンスリーダー 石川春代氏	実 12 延 126
身体機能の 維持・向上 実践講座(オ)	10月3日(火) から 10月17日(火)	太極拳(3回コース) 講師:太極拳世界チャンピオン 太極拳世界連盟理事長 謝 美花氏	実 30 延 89
介護予防全般 の講座(ア)	9月6日(水)	これからの人生「大切にしたいこと」を考え ましょう ～もしバナゲームで人生会議～ 担当:在宅医療サポートセンター 高齢介護課 地域支援係	24
介護予防全般 の講座(イ)	10月13日(金)	体力測定会 指導:日本福祉大学 スポーツ科学部 准教授 児玉 友氏	36
介護予防全般 の講座(ウ)	2月20日(火)	ピンシヤン講座(公開講座) 「フレイルを予防しよう ～心と体の健康のために～」 講師:国立長寿医療研究センター リハビリ テーション科医長 大沢愛子氏	85
修了式	3月27日(水)	担当:保健師	60

(4) 従事者

保健師、栄養士、歯科衛生士

(5) 協力者

介護予防サポーター、おたっしや大学学生協力員

(6) 周知方法

ア 広報、ホームページ

イ 令和4年度登録者に個別通知

(7) その他

入学は、随時可とする。

(8) 脳の健康教室修了者による自主活動

ア 名称 脳活塾へきなん

イ 日程 毎月第2・4月曜日(祝日はお休み) 午後1時30分から2時30分

- ウ 会場 ヘキなん福祉センターあいくる
- エ 内容 学習（計算、すうじ盤、音読）、レクリエーション等
- オ 経緯 平成２９年度「脳の健康教室」終了後、平成３０年１月から開始
令和５年度は３１人にて活動
- カ 実績 ２０回実施 参加者延３５２人

１０ 筋トレルーム６０

(１) 目的

介護予防トレーニングマシンを利用して、老化により動かなくなった神経・筋を再活性化させて動作性の向上・維持を促すことにより生活機能を向上させ要介護状態になることを防ぐことを目的とする。

(２) 対象

６０歳以上の市民

(３) 実施日

火曜日から日曜日

東部市民プラザ高齢者元気ッス館の休館日、農業活性化センターあおいパークの休園日、勤労青少年水上スポーツセンターの１２月２９日から１月３日は除く

(４) 場所

東部市民プラザ 高齢者元気ッス館 筋トレルーム６０

農業活性化センターあおいパーク 筋トレルーム６０

勤労青少年水上スポーツセンター 筋トレルーム６０

(５) 内容

ア 健康チェック

イ 簡易な個人プログラム作成

ウ マシンの使用説明、ウォーミングアップ・ストレッチ等の指導

(６) 従事者

健康運動指導士等（委託事業者）

(７) 実施状況

会 場	会員登録者数 (人)	開設日 (日)	延利用者数 (人)
東部市民プラザ	1,309	294	7,516
あおいパーク	1,132	310	9,652

会 場	会員登録者数 (人)	開設日 (日)	延利用者数 (人)
勤労青少年水上スポーツセンター	958	308	17,534
計	—	—	34,702

※令和5年5月16日より予約・入替制の廃止

1.1 遊友の会

(1) 目的

- ア 心身機能の低下により生じる閉じこもりや孤立の防止を図る。
- イ 社会との交流を持つことにより生きがいのある生活を送ることができるよう支援する。
- ウ 参加者同士の結びつきを広め、仲間作りの機会とする。
- エ 認知症の予防、寝たきり予防を図る。

(2) 対象

65歳以上の市民で、自分で来所できる人

(3) 実施場所・日程

会 名	会 場	実施日	実施時間
みなわ会	へきなん福祉センターあいくる	第1・3金曜日	午後1時30分から3時
なでしこ会	東部市民プラザ	第2・4水曜日	午後1時から2時30分
友楽会	棚尾公民館	第2・4金曜日	午後1時30分から3時
わかば会	中部公民館	第2・4水曜日	午後1時30分から3時
浜友会	大浜まちかどサロン	第2・4火曜日	午前9時30分から11時
さくら会	碧南社協地域包括支援センター西端出張所	第1・3木曜日	午後1時30分から3時
元気いきいき会	文化会館	第2・4木曜日	午後1時から2時30分

(4) 内容

- ア 参加者の健康状況把握（健康チェック、血圧測定など）
- イ 脳活性化ゲーム、体操、手工芸等の創作活動や施設外活動等
- ウ 基本チェックリストを実施し、生活機能等の低下がみられる方に介護予防事業、訪問等を通じた支援

(5) 実施回数・参加状況

※会員数は、令和6年3月末現在

会 名	実施回数(回)	会員数 (人)	延参加人数 (人)	活動開始時期
みなわ会	21	14	188	平成14年1月
なでしこ会	24	10	220	平成14年2月
友楽会	21	11	174	平成15年4月
わかば会	23	16	248	平成15年4月
浜友会	24	8	127	平成16年3月
さくら会	23	22	154	平成16年4月
元気いきいき会	22	15	234	平成27年5月
計	158	96	1,345	

(6) 従事者

保健師1名、介護予防サポーター1名から7名

(7) 行事

講座名	実施日	内容・講師	参加人数 (人)	参加人数内訳 (人)
講演会	① 2月16日 ② 12月27日 ③ 9月22日 ④ 2月28日 ⑤ 12月12日 ⑥ 12月21日 ⑦ 1月11日	「実践しよう！オーラルフレイル対応ガイド」 担当：歯科衛生士	会員 56 サポーター 24	①みなわ会 9 サポーター 3 ②なでしこ会 7 サポーター 2 ③友楽会 10 サポーター 3 ④わかば会 11 サポーター 4 ⑤浜友会 4 サポーター 4 ⑥さくら会 4 サポーター 3 ⑦元気いきいき会 11 サポーター 5

講座名	実施日	内容・講師	参加人数（人）	参加人数内訳（人）
講演会	① 7月 7日 ② 5月 24日 ③ 7月 14日 ④ 11月 8日 ⑤ 10月 24日 ⑥ 10月 19日 ⑦ 5月 11日	「高血圧を防ぐ減塩生活」 担当：栄養士 （食ボランティアによる糖尿病予防のレシピ紹介・試食）	会員 71 サポーター 28	①みなわ会 11 サポーター 4 ②なでしこ会 12 サポーター 3 ③友楽会 9 サポーター 4 ④わかば会 13 サポーター 5 ⑤浜友会 4 サポーター 4 ⑥さくら会 9 サポーター 3 ⑦元氣いきいき会 13 サポーター 5
	11月 10日	「健康寿命の延ばし方 ～介護保険と無縁の人生～」 講師：碧南市医師会 西中康人氏	会員 12 サポーター 4	①友楽会 9 サポーター 3 ②他会場会員 3 他会場サポーター 1
ロコモ予防	6月 15日	「ロコモティブシンドロームの予防」 講師：森田東子氏	会員 7 サポーター 2	さくら会 7 サポーター 2
レクリエーション	1月 24日	「楽しくレクで健康づくり」 講師：スポーツ推進委員 榊原節子氏	会員 3 サポーター 2	なでしこ会 3 サポーター 2
懐かしの音楽	10月 11日	「懐かしの歌を歌おう」 講師：鈴木恵美氏	会員 12 サポーター 4	わかば会 12 サポーター 4

第7 健康推進員事業

1 健康推進員の歩み

(1) 目的

地域住民の自主的健康管理のために各種保健事業を企画および実施し、また市ならびに碧南市健康を守る会が行う事業を運営する。

(2) 健康推進員の歩み

昭和51年 地区保健衛生組織育成事業開始（西端・天王地区）

昭和52年 各公民館保健衛生推進組織ができる（13か所）

昭和57年 保健衛生推進員市内全域に配置（25地区）

平成元年 名称を「保健衛生推進員」から「健康推進員」に改める

平成23年 健康推進員の地区を23地区（鷺塚・鷺林・旭町を1地区に統合）に変更

2 研修会等参加状況

(1) 健康推進員研修会

令和5年度 健康推進員23地区 211人

	実施日・場所	内容	講師	参加人数(人)
1	4月25日(火) 市役所2階 会議室4・5	講演 「健康を守る会の事業について」 「へきなん健康づくり21プランについて」	健康を守る会 会長 山中寛紀氏 健康課保健師	32
2	6月5日(月) 保健センター 3階講義室	【介護予防コース】 ～あたまもからだもイキイキとした生活をめざそう！～ ・介護予防の講義 ・脳活性化ゲームの体験	健康課保健師	10
	6月19日(月) 保健センター 3階講義室	【ライフデザインコース】 ～メタボリックシンドローム？とは言わせない！～ ・生活習慣病予防の講義 ・料理カードのバイキングで献立作り	健康課 保健師、栄養士	9

	実施日・場所	内容	講師	参加人数(人)
3	7月7日(金) 市役所2階 会議室4・5	健康を守る会総会記念講演 「生活環境と病気の関係 ～日本人のがん予防を考える～」	岐阜大学大学院 医学系研究科 准教授 医学博士 和田恵子氏	11

(2) 代表者会議

	実施日	場所	議題	出席人数(人)
1	4月4日(火) ①午後2時から3時 ②午後7時から8時	保健センター 3階講義室	健康推進員活動について	① 10 ② 13 計 23
2	令和6年 2月5日(月) ①午後2時から3時 ②午後7時から8時	保健センター 3階講義室	制度の見直し、意見交換 実績報告書等の提出について	① 11 ② 8 計 19

3 家族検尿実施状況

(1) 検査内容等

ア 検査項目：蛋白・糖・ウロビリノーゲン・潜血

イ 検査料金：無料

ウ 検査結果：健康課より個人通知

(2) 実施状況

(単位：件)

地区名	検査数	検 尿 結 果	
		異常なし	要注意
鶴ヶ崎	3	3	0
西 端	20	17	3
計	23	20	3

4 各地区健康推進員関係事業

(1) 久沓地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
脳トレ体操で若返り	6月24日(土)	久沓区民館	5(4)	
子ども会ラジオ体操	7月21日(金)	久沓公園	60(2)	
クリスマスリース作り	11月25日(土)	久沓区民館	4(4)	松井尚子氏

(2) 田尻地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
ラジオ体操	7月21日(金) から7月23日(日)	田尻区秋葉 神社境内内	58 子供76 (16)	
クリスマスリース作り	11月12日(日)	田尻区民館	15(4)	フラワーショッ プ花の色 松井尚子氏
歩け歩け運動	12月10日(日)	田尻区民館 ⇔ 遊歩道東屋	15(4)	

(3) 西松江地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
第一回 歩け歩け	6月25日(日)	西松江区民館 ⇔ 臨海水族館	52(4)	
第二回 歩け歩け	11月19日(日)	西松江区民館 ⇔ 臨海水族館	56(4)	
スタンプラリー	12月10日(日)	区民館 ⇔ 明石公園内	39(4)	

(4) 東松江地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
寄せ植えづくり教室	12月17日(日)	東松江区民館	26(6)	フラワーショップ花の色 松井尚子氏
ヨガ教室	1月27日(土)	東松江区民館	6(5)	原田里香氏

(5) 鶴ヶ崎地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
健康になるための教室	6月10日(土)	鶴ヶ崎区民ホール	18(4)	宮田琢斗氏
ヨガ教室	7月8日(土)	鶴ヶ崎区民ホール	6(4)	原田里香氏
健康教室	9月9日(土)	鶴ヶ崎区民ホール	13(4)	山西伴幸氏
正月寄せ植え教室	12月16日(土)	鶴ヶ崎区民館 駐車場	26(4)	花の色 松井新吾氏

(6) 千福地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
早朝ウォーキング	5月21日(日) 6月4日(日)	齊宮社集合	50(3) 50(4)	
健康体操教室	7月1日(土)	区民館	6(10)	エアロビクス インストラクター 能城まゆみ氏
AED講習会	7月23日(日)	まつり会館	20(5)	
千福区防火訓練	11月19日(日)	新川小学校	80(4)	

千福地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
フラワーアレンジメント教室	12月10日(日)	区民館	11(10)	日本フラワーデザイナー協会講師 村松まみこ氏

(7) 浜尾地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
ながら運動教室	7月2日(日)	浜尾区民館	9(7)	碧南市健康課 保健師
リンパマッサージ教室	9月9日(土)	浜尾区民館	19(8)	リラクゼーションサロン「niko」 宗像美由紀氏
クリスマス& 正月飾り作り	12月9日(土)	浜尾区民館	19(8)	花の色 松井新吾氏

(8) 東山地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
筋力トレーニング& 有酸素運動	6月18日(日)	東山区民館	10(6)	後藤ゆりか氏
自主防災訓練 防犯パトロール	7月9日(日) 9月2日(土)	秋葉神社境内	0(1)	
ヨガ教室	10月1日(日)	東山区民館	11(5)	窪田千春氏
さわやかウォーキング	11月12日(日)	東山区民館～ 無我苑	59 子供4 (6)	
フラワーアレンジメント	12月3日(日)	東山区民館	24(5)	花の色 松井氏

(9) 西山地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
タオルを使って簡単 ヨガ	8月6日(日)	西山区民館	7(6)	祢宜田満代氏
ラジオ体操	7月25日(火)から 7月28日(金)	御鞆社境内	210(10)	
お正月飾り	12月10日(日)	西山区民館	14(6)	松井尚子氏

(10) 道場山地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
出前講座 「家庭でできる気軽 な運動教室」	7月1日(土)	道場山区民館	12(12)	スポーツ課
防災訓練	10月22日(日)	道場山区民館 末広公園	0(3)	
寄せ植え体験	12月16日(土)	道場山区民館	54(12)	花の色 松井尚子氏

(11) 天王地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
講座 帯のアレンジ結び	7月8日(土)	天王区民館	8(7)	着付け先生 藤井もとみ氏
お正月アレンジメン ト	12月16日(土)	天王区民館	19(7)	TRENTA-flowers
太極拳	1月20日(土)	天王区民館	1(9)	榊原氏

(12) 中山地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
第一回健康推進活動 リラックスヨガ教室	6月25日(日)	中山区民館	8(6)	小野里香氏

中山地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
防犯パトロール	7月9日(日) 8月6日(日) 9月10日(日)	中山地区各町 内	0(4) 0(5) 0(4)	
第二回健康推進活動 お灸教室	8月27日(日)	中山区民館	9(4)	大図光氏

(13) 大浜上地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
第一回健康講座 リンパマッサージ	7月15日(土)	大浜上区民 館	11(9)	村松美由紀氏
第二回健康講座 腸活	9月2日(土)	大浜上区民 館	15(9)	腸活アドバイザー 葛西裕美氏

(14) 大浜中地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
リンパマッサージ教 室	6月4日(日)	大浜中区民 館	9(5)	
防災訓練	7月16日(日)	大浜中区民 館 防災備 蓄倉庫	0(4) 0(5)	
ハーバリウム体験教 室	11月19日(日)	大浜中区民 館	15(5)	花の色 松井尚子氏

(15) 大浜下地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
ヨガ教室	5月30日(火) から 11月24日(金)	大浜中区民 館	9(5)	

大浜下地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
フラワー教室	11月12日(日)	大浜中区民 館 防災備 蓄倉庫	0(4) 0(5)	
クリスマスケーキ教 室	12月3日(日)	大浜中区民 館	15(5)	花の色 松井尚子 氏

(16) 棚尾地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
シニア健康体操教室	11月12日(日)	棚尾公民館	18(6)	かしわぎ鍼灸 接骨院院長 鈴木茂治氏
クリスマスハーフリ ース作り講座	11月12日(日)	棚尾公民館	20(6)	CoeurDeMama 村松まみ子氏

(17) 東町内会地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
さわやかウォーキン グ	6月11日(日)	水源公園	49(8)	雨天中止
健康教室	9月10日(日)	東町内会館	17(7)	碧南市健康課 保健師
アレンジフラワー教 室	11月12日(日)	鷺塚公民館	35(8)	花工房ラック 犬塚好美氏

(18) 西部連合町内会地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
出張出前講座	6月24日(土)	西部区民館	14(6)	
早朝ラジオ体操	7月9日(日)から 7月30日(日)	西部区民館	192(6)	
歩け歩け運動	10月15日(日)	西部区民館	53(6)	

西部連合町内会地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
ふれあいスポーツ大会	3月2日(土)	西部区民館	40(6)	長谷川高士氏

(19) 神有地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
簡単ヨガ教室	9月10日(日)	神有区民館	5(7)	村松美由紀氏
しめ縄リース教室	11月26日(日)	神有公民館	29(8)	Blue Velvet 山田葵氏

(20) 鷺塚住宅地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
脳のバランスゲーム	8月26日(土)	集会場	11(3)	
脳トレゲーム	11月18日(土)	集会場	6(4)	

(21) 伏見屋地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
地域清掃	毎月最終日曜日	伏見屋区民館 周辺	延 120 (延 78)	
早朝ウォーキング	毎週日曜日	日進地区内	延 123 (延 96)	
健康教室	7月30日(日) 9月24日(日) 11月26日(日) 1月28日(日)	伏見屋区民館	延 32 (延 16)	村松美由紀氏

(22) 平七地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
リンパマッサージ教室	9月30日(土)	霞浦会館	8(6)	村松美由紀氏

平七地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
多肉植物寄せ植え教室	12 月 9 日 (土)	霞浦会館	30(6)	高橋世利子氏
新春文芸展	1 月 1 日 (月)	霞浦会館	0(6)	

(23) 西端地区

事業名	実施日	実施場所	参加人数 (人)	内容・講師等
AED講習会	7 月 17 日 (月)	農業者コミュニティセンター	7 ボランティア講師 10 (4)	
子供クッキング	8 月 27 日 (日)	西端公民館	子供 15 保護者 2 (4)	角谷和子氏
リンパマッサージ	9 月 24 日 (日)	農業者コミュニティセンター	5(4)	村松美由紀氏
歯ブラシでカラーセラピー	11 月 11 日 (土)	農業者コミュニティセンター	4 子供 4 (4)	岡田照代氏
クリスマスリース or テーブルフラワー作り	11 月 29 日 (水)	農業者コミュニティセンター	7 子供 2 (4)	森谷幾代氏
味噌作り教室	1 月 23 日 (火)	西端公民館	6(3)	

※ () は健康推進員数

第8 介護予防サポーター育成事業等

1 介護予防サポーター養成講習会

(1) 目的

高齢者の介護が大きな社会問題となる中で、高齢者自らの積極的健康づくりや介護予防への取り組みを促進するためには、地域でその普及啓発などに協力していただく支援者が必要となる。

そのための人材の育成について養成講習会を実施し、地域で支える介護予防活動を展開できる体制づくりに取り組む。

(2) 場所

保健センター 講義室

(3) 時間

午後1時30分から3時30分

(4) 内容・参加人数

	実施日	内 容	参加人数(人)
1	6月27日(火)	・自己紹介 ・講義「介護予防について」 ・脳活性化ゲーム体験	4
2	7月4日(火)	講義「レクリエーションのすすめ方(実技体験含む)」 講師：碧南市スポーツ推進委員 榊原節子氏	4
3	7月11日(火)	講義「介護予防活動を支援するサポーターの役割」 講師：株式会社オフィス・ウィズ 代表取締役 竹内和美氏 (プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー)	4
4	7月18日(火)	・介護予防サポーター体験談 ・グループワーク「養成講習会を終えて」	4
見学 体験	7月・8月	介護予防事業(遊友の会、脳の健康教室)の見学・体験	4

実参加人数 4人(受講者のうち、介護予防サポーター登録1人)

延参加人数 16人

2 介護予防サポーター活動

(1) 登録人数 31人(令和6年3月末現在)

(2) 実績

事業名		活動回数(回)	延人数(人)
遊友の会	みなわ会	21	90
	なでしこ会	24	49
遊友の会	わかば会	23	89
	浜友会	24	86
	友楽会	21	69
	さくら会	23	61
	元気いきいき会	22	118
脳の健康教室		22	89
脳活塾へきなん(継続活動支援)		20	22

(3) 打合せ会

日程		内 容	出席人数 (人)
1	6月6日(火)	- 令和4年度介護予防事業の実施状況について - 令和5年度介護予防事業の予定について - 令和5年度介護予防サポーター養成講習会の予定について - 令和5年度介護予防事業のサポートについて	19
2	11月7日(火)	講演「いつでも、どこでも、気軽に出来る指ヨガ健康法」～指ヨガで、心と身体の声聴いてみよう！ ～ 講師：森島千春氏・菅原ひな子氏	17
3	3月5日(火)	- 令和6年度介護予防事業(案)について - 令和6年度介護予防事業サポート(案)について	18

3 傾聴ボランティア養成講習会

(1) 目的

傾聴(相手の心に耳を傾け、話を聞く)に必要な心構えや技術などを学習することにより、傾聴のできるボランティアの養成を目的とする。

(2) 場所

市役所 会議室1

(3) 時間

午前10時から午後3時(休憩1時間)

(4) 講師

株式会社オフィス・ウィズ 代表取締役 竹内和美氏

(プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー)

(5) 内容・参加人数

	日 程	内 容(講義と実技)	参加人数(人)
1	11 月 17 日 (金)	・ 傾聴技術の基礎	9
2	11 月 24 日 (金)	・ 傾聴技術の基礎と応用	8
3	12 月 1 日 (金)	・ ボランティアとして活動する心構え ・ 傾聴技術の取得と練習	9

実参加人数 9 人 (受講者のうち、へきなん傾聴の会登録 1 人)

延参加人数 26 人

(6) 実践研修

老人保健施設ひまわりにて実施

(7) へきなん傾聴の会 (傾聴ボランティア団体)

平成 25 年 2 月 26 日発足会。平成 25 年 4 月より、へきなん傾聴の会会則に基づき、月 1 回定例会開催し、活動開始

ア 会員数：16 人 (令和 6 年 3 月末日現在)

イ 定例会：11 回 (月 1 回、8 月のみ中止) 延 131 人

ウ 傾聴活動：自宅訪問 延 15 回

施設活動 延 130 人

第9 碧南市健康づくり食ボランティア協議会

1 歩み

(1) 栄養教室

平成6年 地域での食生活の改善のための原動力として食生活改善推進員養成のための栄養教室を開始

平成10年 「食生活改善推進員養成のための栄養教室」を隔年開催とする

(2) 協議会

平成9年 地域保健法施行により食生活改善推進員養成事業が市町村に移行、碧南市健康づくり食生活改善協議会の設立総会を行う
（「A」、「B」、「むつみ」の3グループ）

愛知県食生活改善推進員連絡協議会に入会する

平成11年 「みどり」グループを新たに加え、4グループとなる

平成19年 「B」グループが脱会、「キャロット」グループを新設する

平成22年 愛知県食生活改善推進員連絡協議会から脱会する

全国食生活改善推進員協議会が「食生活改善推進員」を商標登録したことから、「碧南市健康づくり食生活改善協議会」の名称を「碧南市健康づくり食ボランティア協議会」と変更する

2 目的

地域活動をもってひとりひとりが「自分の健康は自分で守る」という自覚と認識を広めるとともに、食育や調理実習を通して正しい食生活の普及浸透を図り、地域住民の健康で文化的な食生活の維持・発展に寄与すること。

3 会員数

4グループ 41人 （Aグループ10人、むつみグループ10人、
キャロットグループ14人、みどりグループ7人）

4 活動内容

グループ	A	むつみ	みどり	キャロット
時 間	毎月第2月曜日 午前9時30分～	毎月第2金曜日 午前9時30分～	毎月第2木曜日 午前9時30分～	毎月第2木曜日 午前9時30分～

※場所 保健センター

5 事業実施状況

(1) 協議会事業

事業名	実施日	回数・内容	会員 (人)	市民 (人)	会 場
総会	4 月 24 日		29	—	保健センター
役員会	4 月から 3 月	全 5 回	33	—	保健センター
各グループ 活動	4 月から 3 月	テ ー マ 毎 の 勉 強 会・打ち合わせ・ 調理実習	284	—	保健センター
遊友の会 レシピ紹介 と試食	10 月 19 日	高血圧予防レシピ 紹介と試食	7	44	社協西端出張 所
	10 月 24 日				大浜まちかど サロン
	11 月 8 日				中部公民館
親子食育 クッキング	8 月 10 日	食育ゲーム・バラン ス食の調理実習	9	14	あおいパーク
合同研修会	11 月 13 日	豆腐について学ぶ	20	—	おとうふ工房

(2) 市事業協力

事業名	実施日	回数・内容	会員 (人)	市民 (人)	会 場
食育教室	4 月から 6 月	エプロンシアター 10 回	20	550	市内保育園・ 幼稚園
会議	6 月 1 日	地産地消委員会	1	—	市役所
	6 月 8 日	食育推進委員会	1	—	市役所
離乳食教室 前期	4 月から 3 月	毎月 1 回試食作成	24	親子 111 組	保健センター
離乳食教室 後期	4 月から 2 月	偶数月 1 回 試食作成	11	親子 75 組	保健センター
離乳食教室 完了期	5 月から 3 月	奇数月 1 回 試食作成	12	親子 60 組	保健センター
国保事業	5 月 30 日	食事の提供	5	9	保健センター
	10 月 31 日		5	24	保健センター
糖尿病予防 教室	7 月 6 日	食事の準備提供	4	18	保健センター
	10 月 13 日	果物の準備提供	2	17	保健センター

6 碧南市健康づくり食ボランティア育成・活動支援

(1) 役員会

単位：人

	実施日	内 容	従事者	参加 人数
1	4 月 20 日	令和 5 年度総会当日準備について	健康課 栄養士	9
2	6 月 7 日	親子食育クッキング エプロンシアター実施について		7
3	8 月 23 日	高齢者試食会デザート試作調理		4
4	9 月 27 日	食ボランティア養成講座交流会について 合同研修会について		7
5	2 月 7 日	令和 6 年度各グループ役員、総会について 令和 6 年度事業について		6

(2) 勉強会栄養講話

単位：人

実施日	内 容	従事者	参加 人数
5 月 8・10・11・19 日	高血圧予防について 献立作成時のポイント	健康課 栄養士	33
2 月 2・8・14・19 日	メタボ予防について 献立作成時のポイント		31

(3) 各グループ献立作成・栄養価計算支援等

単位：人

実施日	内 容	従事者	参加 人数
令和 5 年 5 月から 令和 6 年 2 月（24 回）	糖尿病・高血圧・メタボ予防・親子食 育等	健康課 栄養士	189

7 健康づくり食ボランティア養成講座

(1) 目的

地域住民の健康づくりについて正しい食生活の普及を図り、健康保持増進を推進する会員を養成するために本事業を実施する。

(2) 実施期間

8 月から 3 月 月 1 回の 8 回コース 概ね午前 10 時から 12 時

(3) 実施場所

碧南市保健センター

(4) 対象者

市内在住の成人 申込人数 11 名

(5) 実施内容

へきなん健康づくり 21 プラン講話、乳幼児から高齢者までのライフステージ

毎の栄養講話、生活習慣病予防の講話、食ボランティア活動紹介、調理実習等

(単位：人)

	実施日	内 容	従事者	参加 人数
1	8 月 25 日	オリエンテーション、講話「へきな ん健康づくり 21 プラン」 グループワーク、活動紹介	管理栄養士 食ボランティア会 長	11
2	9 月 22 日	講話「離乳食について」「食品衛生」 調理「乳幼児の発達に合わせた離乳 食」、試食	管理栄養士	10
3	10 月 27 日	講話「食品栄養成分の見方」 演習「栄養価計算」	管理栄養士	7
4	11 月 24 日	講話「栄養知識と献立の立て方」 グループワーク「献立作成」	管理栄養士	8
5	12 月 22 日	講話「健診結果の見方」 「生活習慣病予防の食事」 調理「肥満・糖尿病予防の食事」	保健師 管理栄養士	7
6	1 月 26 日	講話「高齢者の健康と介護予防」 「低栄養予防」 調理「高齢者の低栄養を防ぐ食事」	保健師 管理栄養士	9
7	2 月 9 日	講話「健康づくりの運動と休養」 運動実習「自宅で手軽にできる運動」 調理「免疫力を整える食事」	保健師 運動講師 管理栄養士	7
8	3 月 22 日	修了証書授与式 グループワーク 食ボランティア会員との交流	保健師、管理栄養 士、食ボランティ ア役員	8

(6) 修了者数

8 名（修了資格は全 8 回中 5 回以上参加した者）

(7) 食ボランティア会員申込状況

5 名

第10 歯科保健事業

1 歯科保健の歩み

- 昭和36年 3歳児歯科健康診査開始
- 昭和48年 3歳児歯科健診部が健康を守る会小児保健部会に入る
- 昭和49年 市内保育園・幼稚園歯科口腔衛生講話とブラッシング指導開始
- 昭和50年 母親教室で歯科衛生教育開始
健康を守る会歯科保健部会設置
- 昭和51年 2歳児歯科健康診査フッ化物塗布開始
- 昭和52年 1歳6か月児歯科健康診査フッ化物塗布始まる。
2歳児歯科健康診査中止（10月）
- 昭和60年 成人歯科健康診査始まる
- 昭和62年 E6保護事業開始
寝たきり者歯科訪問治療県モデル地区指定（62年度まで）
- 昭和63年 寝たきり者歯科訪問治療開始（モデル事業を発展）（18年度まで）
- 平成2年 8020県民歯科保健運動に伴い表彰者の審査開始
妊婦歯科健康診査開始（成人歯科健康診査と同時）
市民歯科実態調査開始
- 平成3年 7520市民歯科保健運動開始
- 平成4年 歯槽膿漏個別健診開始（30・60・65歳）
- 平成5年 歯槽膿漏個別健診対象者の拡大
（40・50・70・75歳、妊婦歯科健康診査を移す）
- 平成6年 7520市民歯科保健運動を7521市民歯科保健運動に変更
- 平成7年 E6保護育成事業内容変更
- 平成8年 施設歯科健康診査及び口腔衛生指導開始
- 平成9年 幼児歯科健康診査フッ化物塗布開始
（2歳児・2歳4か月児・2歳8か月児）
妊婦歯科健康診査集団を開始
3歳児歯科健康診査にフッ化物塗布開始
- 平成10年 よい子のよい歯のコンクール対象者拡大
休日歯科診療所開所
- 平成11年 よい子の歯みがき運動開始
歯槽膿漏個別健診を歯周病個別健診に名称変更

- 平成 12 年 障害者歯科診療所開始
- 平成 13 年 よい子の歯みがき運動と E 6 保護育成事業が協賛し市内幼稚園保育園全園実施
歯周病個別健診対象者の拡大（4 5 歳）
- 平成 15 年 歯磨き習慣確立事業開始
6 0 2 4 歯科保健運動開始
歯周病個別健診対象者の拡大（5 5 歳）
- 平成 16 年 よい子のよい歯のコンクールにフッ化物塗布開始
歯の衛生週間に伴う歯科健診とフッ化物塗布の対象者を拡大（3 歳児追加）
集団妊婦歯科健康診査をマタニティークッキング教室と同日開催
- 平成 17 年 歯の衛生週間に伴う歯科健診とフッ化物塗布の対象者変更（6 か月児から 1 歳 5 か月児）
成人歯科健康診査実施回数増加（1 8 回）
- 平成 19 年 個別妊婦歯科健康診査開始（集団中止）
- 平成 24 年 休日・障害者歯科診療所を移設
- 平成 25 年 よい子のよい歯のコンクール中止し、歯っぴい検定開始
歯の衛生週間を歯と口の健康週間に名称変更
E 6 保護育成事業開始（委託事業中止）
歯磨き習慣確立事業フッ化物洗口用コップ配布中止
- 平成 26 年 歯磨き習慣確立事業市内全小学校 1 年生健康教育開始
- 平成 28 年 歯と口の健康週間事業と歯っぴい検定事業を同時に参加可とした
- 平成 29 年 歯と口の健康週間事業と歯っぴい検定事業を午前・午後で開催していたが午前のみで開催
- 令和元年 歯周病個別健診対象者の拡大（2 0 歳・妊婦のパートナー）
成人歯科健康診査実施回数変更（1 2 回）
- 令和 2 年 歯と口の健康週間事業と歯っぴい検定事業とよい子の歯みがき運動を中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
8 0 2 0 歯科保健運動に伴う表彰式を各歯科医療機関にて実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため市民ふれあいフェスティバル中止）
- 令和 3 年 歯と口の健康週間事業、歯っぴい検定事業、E 6 保護育成事業を中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

- 令和4年 歯と口の健康週間事業を中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
3か月児健康診査集団を開始
- 令和5年 歯と口の健康週間事業を中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
8020歯科保健運動に伴う表彰式を市役所にて実施

2 妊婦歯科健康診査

(1) 事業概要

妊婦を対象に市内32指定医療機関で実施

(2) 目的

妊娠中は、歯牙・歯周疾患が進行しやすいため、その早期発見・早期治療を目的とする。

(3) 健診内容

ア 歯牙状況 イ C P I 判定 ウ 口腔内所見

(4) 健診期間

令和5年4月1日から令和6年3月30日

(5) 歯科健診状況

実施者数（人）	1人あたりの 現在歯数（本）	1人あたりの う歯数（本）	進行した歯周炎の ある人の割合（%）
173	28.1	6.8	48.0

3 パートナー歯科健康診査

(1) 事業概要

妊婦のパートナーを対象に市内32指定医療機関で実施

(2) 目的

歯を失う大きな原因となっている歯周病を早期に発見し、治療を行うことにより、市民の健康保持と増進を図る。

(3) 健診内容

ア 歯牙状況 イ C P I 判定 ウ 口腔内所見

(4) 健診期間

令和5年4月1日から令和6年3月30日

(5) 歯科健診状況

実施者数 (人)	1人あたりの 現在歯数 (本)	1人あたりの う歯数 (本)	進行した歯周炎の ある人の割合 (%)
76	28.9	6.1	42.1

4 歯のけんこう教室

(1) 事業概要

母子健康手帳交付時に初産婦を対象に集団指導

(2) 目的

妊娠中の食生活や生活リズム、母体の変化が口腔内に及ぼす影響について学習する場を設け、歯科保健行動の定着を図る。

(3) 実施状況

初産婦対象者 (人)	実施者数 (人)	実施者の割合 (%)
218	126	57.8

5 1歳6か月児歯科健康診査

(1) 目的

乳前歯が萌出し、子どもの歯の健康に関心が高まるこの時期に、歯科疾患の早期発見・早期予防につとめ、また家庭で子どもの歯科疾患の予防ができるよう、更なる知識の普及を図る。

(2) 内容

ア 歯科健診 イ 個別相談 ウ フッ化物塗布 エ 要精検者の追跡

(3) 実施回数

月2回 (年24回)

(4) 歯科健診状況

対象者数	実施者数	フッ化物 塗布者数	むし歯の ある者数	1人あたり のう歯数
553人	550人(99.5%)	447人(81.3%)	2人(0.4%)	0.01本

(5) むし歯の罹患状況 (単位：人)

○1型	○2・要指導	○2・要観察	A型	B型	C型
270	165	113	2	0	0

(6) その他の状況 (単位：人)

指しゃぶりの ある者	おしゃぶりの ある者	歯列・咬合異 常のある者	軟組織異常の ある者	その他の異常 のある者
10	2	36	19	13

6 2歳児歯科健康診査

(1) 目的

乳臼歯が萌出しはじめ、う蝕が急増するこの時期に、歯科疾患予防のための正しい生活習慣を身につけ、歯科に対する意識を向上させる。

(2) 内容

ア 歯科健診 イ 個別相談 ウ フッ化物塗布 エ 要精検者の追跡

(3) 実施回数

月1回（年12回）

(4) 歯科健診状況

対象者数	実施者数	フッ化物 塗布者数	むし歯の ある者数	1人あたり のう歯数
574人	306人(53.3%)	283人(92.5%)	3人(1.0%)	0.03本

(5) むし歯の罹患状況 (単位：人)

Ｏ１型	Ｏ２・要指導	Ｏ２・要観察	A型	B型	C型
119	106	78	2	1	0

(6) その他の状況 (単位：人)

指しゃぶりの ある者	おしゃぶりの ある者	歯列・咬合異 常のある者	軟組織異常の ある者	その他の異常 のある者
6	1	16	14	12

7 2歳4か月児歯科健康診査

(1) 内容

ア 歯科健診 イ 個別相談 ウ 染め出し エ フッ化物塗布
オ 要精検者の追跡

(2) 実施回数

月1回（年12回）

(3) 歯科健診状況

対象者数	実施者数	フッ化物 塗布者数	むし歯の ある者数	1人あたり のう歯数
591人	273人(46.2%)	256人(93.8%)	1人(0.4%)	0.004本

(4) むし歯の罹患状況 (単位:人)

Ｏ１型	Ｏ２・要指導	Ｏ２・要観察	A型	B型	C型
116	89	67	1	0	0

(5) その他の状況 (単位:人)

指しゃぶりの ある者	おしゃぶりの ある者	歯列・咬合異常 のある者	軟組織異常の ある者	その他の異常 のある者
2	1	14	1	8

8 2歳8か月児歯科健康診査

(1) 内容

ア 歯科健診 イ 個別相談 ウ フッ化物塗布 エ 要精検者の追跡

(2) 実施回数

月1回（年12回）

(3) 歯科健診状況

対象者数	実施者数	フッ化物 塗布者数	むし歯の ある者数	1人あたり のう歯数
580人	219人(37.8%)	207人(94.5%)	1人(0.5%)	0.02本

(4) むし歯の罹患状況 (単位:人)

Ｏ１型	Ｏ２・要指導	Ｏ２・要観察	A型	B型	C型
82	75	61	0	1	0

(5) その他の状況 (単位:人)

指しゃぶりの ある者	おしゃぶりの ある者	歯列・咬合異常 のある者	軟組織異常の ある者	その他の異常 のある者
2	0	18	0	9

9 3歳児歯科健康診査

(1) 目的

乳歯列完成期にあたるこの時期に、歯科疾患を予防するための生活習慣が身についているかどうか確認し、今後萌出してくるであろう永久歯も含めて歯科疾患の予防が家庭でできるよう支援する。

(2) 内容

ア 歯科健診 イ 個別相談 ウ フッ化物塗布 エ 要精検者の追跡

(3) 実施回数

月2回 (年24回)

(4) 歯科健診状況

対象者数	実施者数	フッ化物 塗布者数	むし歯の ある者数	1人あたり のう歯数
581人	582人(100.2%)	416人(71.5%)	10人(1.7%)	0.07本

(5) むし歯の罹患状況 (単位:人)

○1型	○2・要指導	○2・要観察	A型	B型	C型
190	206	176	7	2	1

(6) その他の状況 (単位:人)

指しゃぶりの ある者	おしゃぶりの ある者	歯列・咬合異常 のある者	軟組織異常の ある者	その他の異常 のある者
18	1	61	8	27

10 保育園・幼稚園の歯科健診状況

	むし歯のある子の割合(%)			1人あたりのう歯数(本)		
	年少児	年中児	年長児	年少児	年中児	年長児
5年度	5.0	13.8	22.0	0.12	0.51	0.88

	むし歯のある子の割合(%)			1人あたりのう歯数(本)		
	年少児	年中児	年長児	年少児	年中児	年長児
4年度	6.9	14.7	26.8	0.30	0.57	0.97

資料：愛知県衣浦東部保健所 地域歯科保健業務状況報告（令和4年度・令和5年度）

1.1 よい子の歯みがき運動

(1) 目的

第一大臼歯が萌出しはじめる時期の子どもたちに自分で歯を健康に保つための習慣や知識を身につけさせるとともに、8020運動を推進し生涯を通じた歯の健康づくりに役立てるように支援する。

(2) 対象者

年長児、年中児、年少児

(3) 内容

ア 歯科衛生士による園児への講話 「6ちゃん おうさまになる」

イ 新しい歯みがきスタイル

ウ 歯みがきの練習

エ 第一大臼歯について

(4) 実施状況

施設数（箇所）		参加園児数（人）
幼稚園	5	307
保育園	13	1,097
認定こども園	3	211
合 計	21	1,615

1.2 E6 保護育成事業

(1) 目的

第一大臼歯が萌出しはじめる時期の子どもたちに、自分で歯を健康に保つための習慣や知識を身につけさせるとともに、保護者に歯科疾患予防に関して学習する機会をつくり、8020を達成するために必要とされる「第一大臼歯」を親子で保護育成できるように支援する。

(2) 対象者

年少児、年中児、年長児

年長児の保護者

(3) 内容

- ア 歯科衛生士による講話
- イ 染め出しにて磨き残しの確認（年長児）
- ウ 仕上げみがき（年長児）
- エ フッ化物塗布
- オ 歯科医師による講話（年長児保護者）

(4) 実施状況

施設数（箇所）		参加園児数（人）
幼稚園	5	370
保育園	13	1,008
認定こども園	3	213
合 計	21	1,591

1 3 歯と口の健康週間に伴う歯科健診とフッ化物塗布

(1) 目的

乳歯が萌出しはじめた子どもに対し、歯みがきや食生活など、う蝕予防を目的とした生活習慣を身につけることができるように支援する。

(2) 対象者

6か月児から1歳5か月児

（令和3年12月1日から令和4年11月30日生まれの親子）

(3) 内容

ア 問診（保護者記入） イ 親子の歯科健診、フッ化物塗布

(4) 実施状況

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

1 4 歯っぴい検定

(1) 目的

お口の健康の維持・増進について問題意識を高め、正しい口腔ケアを毎日楽しく続け、歯科口腔衛生の普及を図る。

(2) 対象者

平成31年4月2日から令和2年4月1日生まれの児

(3) 内容

- ア 問診（保護者記入）
- イ 内審査・フッ化物塗布（歯科医師）
- ウ 内審査介助（歯科衛生士）

(4) 実施状況

実施日	対象者数	参加者数	参加の割合	1 級	2 級	3 級
5 月 28 日（日）午前	607 人	131 人	21.6%	68 人	50 人	13 人

1 5 歯科相談

(1) 目的

口の中に関する心配や不安を軽減し、よりよい生活が送れるように支援する。

(2) 実施回数

毎週月曜日（年46回）

(3) 実施状況（単位：人）

乳児	幼児	計
46	97	143

1 6 歯みがき習慣確立事業

(1) 目的

小学校入学に向けて保護者に対し、子どものむし歯や歯肉の病気予防に必要な歯の磨き方や正しい食生活を指導する。また、子ども自身に歯や口の健康を保つ習慣を身につけてほしいため、歯科衛生士による健康教育を行う。

(2) 対象者

市内小学校1年生とその保護者

(3) 内容

- ア 入学説明会にて保護者に対して健康教育
- イ 1年生に対してクラス毎に健康教育

(4) 実施状況

ア	施設数	実施者数（人）
	7	625

イ

小学校名	クラス数	実施者数(人)
棚尾小学校	4	102
中央小学校	6	128
大浜小学校	4	127
新川小学校	5	129
西端小学校	2	62
日進小学校	3	75
鷺塚小学校	4	102

17 小学生の歯科保健

(1) 永久歯にむし歯のある児童の割合 (単位：%)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
5年度	0.5	1.5	3.4	8.7	9.9	13.7
4年度	0.3	1.7	4.9	6.9	11.1	14.0

(2) 永久歯の1人平均のむし歯数 (単位：本)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
5年度	0.01	0.02	0.05	0.14	0.15	0.21
4年度	0.01	0.03	0.08	0.12	0.19	0.24

資料：愛知県衣浦東部保健所 地域歯科保健業務状況報告（令和4年度・令和5年度）

18 中学生の歯科保健

(1) 永久歯にむし歯のある生徒の割合 (単位：%)

	1年生	2年生	3年生
5年度	17.0	21.1	22.2
4年度	19.5	17.6	24.2

(2) 永久歯の1人平均のう歯数 (単位：本)

	1年生	2年生	3年生
5年度	0.32	0.47	0.50
4年度	0.36	0.40	0.52

資料：愛知県衣浦東部保健所 地域歯科保健業務状況報告（令和4年度・令和5年度）

19 歯周病個別健診

(1) 目的

高齢社会となり、一生自分の歯で食べられることが健康保持の大切な要素となってきた歯の生活習慣病といわれる歯周病の早期発見・早期治療を推進する。

(2) 対象者

年度中に20、30、40、45、50、55、60、65、70、75歳の誕生日を迎える市民

(3) 内容

ア 歯牙状況 イ C P I測定 ウ 口腔内所見

(4) 実施期間

令和5年4月1日から令和6年3月30日

(5) 実施機関

市内32指定医療機関

(6) 実施状況

	20歳	30歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳	計
対象者数(人)	771	828	968	938	1179	1072	892	799	782	883	9,112
受診者数(人)	56	42	101	84	129	97	166	156	165	226	1,222
受診者の割合(%)	7.3	5.1	10.4	9.0	10.9	9.0	18.6	19.5	21.1	25.6	13.4
平均現在歯数(本)	28.5	28.7	28.4	28.3	28.1	28.1	26.9	26.4	24.8	23.9	26.6
歯周炎の割合(%)	26.8	33.3	45.5	57.1	47.3	47.4	50.6	58.3	55.2	55.3	50.8

20 成人歯科健診

(1) 目的

生涯健康な自分の歯で食べることができることを目標とし、成人期から増加する歯周病の予防を中心に、口腔衛生の周知、啓発をし、歯周疾患の早期発見、早期治療を推進する。

(2) 対象者

18歳以上の市民

(3) 内容

ア 歯牙状況 イ C P I測定 ウ 口腔内所見 エ 歯間補助道具の紹介
オ 要精検者の追跡

(4) 実施回数

生活習慣病予防健診に併せて実施

毎月第2木曜日（年12回）

(5) 実施状況

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
受診者数（人）	11	22	14	8	14	13	3	85
平均現在歯数（本）	28.9	28.1	28.5	27.3	27.2	25.3	20.3	27.4
歯周炎の割合（％）	9.1	9.1	35.7	0.0	71.4	30.8	66.7	28.2

2.1 8020・7521・6024 歯科保健運動

(1) 目的

健康で豊かな老後を迎えるために生涯自分の歯でかみ味わうことを目的に

8020（はちまるにいます）、7521（ななごうにいいち）、6024（ろくまるにいいん） 歯科保健運動を行い、啓発・普及を図る。

(2) 表彰者数状況

区分	対象者数 （人）	受診者数 （人）	受診率 （％）	達成者数 （人）	達成者率 （％）
8020 歯科保健運動	664	97	14.6	93	14.0
7521 歯科保健運動	883	226	25.6	166	18.8
6024 歯科保健運動	892	166	18.6	153	17.2

(3) 表彰場所

	表彰年月日	会場
8020 歯科保健運動	令和5年11月28日（火）	碧南市役所
7521 歯科保健運動	表彰については、各医療機関にて実施	
6024 歯科保健運動	表彰については、各医療機関にて実施	

2.2 歯科健康教育

事業名	対象者	実施回数(回)	実施者数(人)
個別歯科相談	乳幼児	8	30
訪問口腔衛生指導	乳幼児	2	2
3か月児健康診査(集団)	3か月児	24	526

事業名	対象者	実施回数(回)	実施者数(人)
離乳食教室(前期)	4か月から 6か月児	12	111
離乳食教室(後期)	7か月から 11か月児	6	75
離乳食教室(完了期)	1歳から 1歳半頃	6	58
子育て支援センター	就園前児	4	36
すくすく教室 (に合わせて)	就園前児	5	6
のびのび教室 (に合わせて)	就園前児	1	3
生活習慣病若年化対策事業	小学校4年生	5	36
けんこう講座(西端中)	中学校1年生	1	68
養護教諭・保育士研修	養護教諭・保育士	3	60
出前講座(鷺塚児童クラブ本館)	小学生	1	67
出前講座(碧南市民図書館中部分館)	就園前児とその保 護者	1	11
出前講座(JA あいち中央デパート・ビル碧南)	デパート・ビル利用者	1	30
出前講座(JA あいち中央デパート・ビル碧南)	デパート・ビル職員	1	22
出前講座(碧南市生活学校)	一般	1	20
出前講座(株式会社アイ・ステージ)	一般	1	17
出前講座(老人クラブ信和会)	65歳以上	1	57
出前講座(ケアラーズカフェれんげ草)	65歳以上	1	12
老人会(神有神友会)	65歳以上	1	24
フレイル予防教室	65歳以上	1	16
おたっしや大学 (に合わせて)	65歳以上	1	35
遊友の会 (に合わせて)	65歳以上	7	85
糖尿病講座 (に合わせて)	一般	2	32
糖尿病個別相談	一般	10	10
母子保健推進員研修 (に合わせて)	一般	1	13

第 1 1 生活習慣病対策事業

1 生活習慣病対策事業の歩み

昭和 60 年	成人病若年化対策事業開始 市内 5 中学校の 1 年生の希望者に、食生活調査と肥満度・血圧測定・血液検査（白血球・赤血球・血色素・ヘマトクリット）を実施
昭和 61 年	血液検査対象者に中学 2 年生（前年度要再検査者）を追加
昭和 62 年	血液検査項目に、総コレステロール・中性脂肪・総蛋白・無機リン・カルシウムを追加 血液検査対象者に日進小学校 4 年生・5 年生を追加 小学 4 年生を対象に栄養調査を開始 モデル校：日進小学校
昭和 63 年	血液検査対象者に、市内 7 小学校の 4 年生・5 年生（前年度要再検査者）を追加 栄養調査モデル校：新川小学校 小冊子「子供たちの健康読本」を作製
平成元年	血液検査項目より、特別の異常者にしか反応しない無機リン・カルシウムを中止 血液検査実施者に小冊子「子供たちの健康読本」の配付開始 栄養調査モデル校：中央小学校
平成 2 年	栄養調査モデル校：大浜小学校
平成 3 年	血液検査項目に、HDL コレステロールを追加 皮脂厚測定を開始 小学校 2 校（日進小学校 4 年生・西端小学校 4 年生）と中学校 1 校（西端中学校 1 年生） 栄養調査モデル校：棚尾小学校
平成 4 年	血液検査項目に、血糖、LDL コレステロール、動脈硬化指数を追加 成人病若年化対策事業専用の健診結果表を作製 栄養調査モデル校：日進小学校
平成 5 年	判定の統一化を図るため判定基準を一律にする 小冊子「子供たちの健康読本」を見直し再作製 栄養調査モデル校：鷺塚小学校
平成 6 年	判定基準値の変更

血色素 男子 12.5～18.0 g /dl → 11.4～16.0 g /dl
 女子 12.0～16.0 g /dl → 11.4～16.0 g /dl
 血糖値 男女 70～140m g /dl → 75～110m g /dl
 総蛋白 男女 6.5～8.0 g /dl → 6.5～8.2 g /dl
 ヘマトクリット 男子 36.0～50.0% → 35.7～46.5%
 女子 35.0～48.0% → 35.7～46.5%
 HDL コレステロール 男女 40～80m g /dl
 → 32～100m g /dl
 LDL コレステロール 男女 70～140m g /dl
 → 48～150m g /dl

小冊子「子供たちの健康読本」を見直し再作製

栄養調査モデル校：西端小学校

平成 7 年 総合判定を基準値による一律の判定から校医の判定とする

栄養調査モデル校：新川小学校

平成 8 年 判定基準値の変更

血糖値 男女 75～110m g /dl → 70～120m g /dl

総蛋白 男女 6.5～8.2 g /dl → 6.2～8.2 g /dl

小冊子「子供たちの健康読本」を毎年作製とする

栄養調査モデル校：中央小学校

平成 9 年 栄養調査モデル校：大浜小学校

平成 10 年 栄養調査モデル校：棚尾小学校

平成 11 年 栄養調査モデル校：日進小学校

平成 12 年 事業名の変更 成人病若年化対策事業 → 生活習慣病対策事業

栄養調査モデル校：鷺塚小学校

平成 13 年 栄養調査モデル校：西端小学校

平成 14 年 皮脂厚測定を中止

栄養調査モデル校：新川小学校

平成 15 年 栄養調査モデル校：中央小学校

平成 16 年 栄養調査モデル校：大浜小学校

平成 17 年 栄養調査モデル校：棚尾小学校

健診結果票の変更（個人情報保護）

平成 18 年 栄養調査モデル校：日進小学校

- 平成 19 年 栄養調査モデル校：鷺塚小学校
- 平成 20 年 「愛知県学童期生活習慣病対策事業」のモデル指定をうけ、当該年度 4 年生を対象として、3 年間追跡調査を行い、メタボリックシンドローム・生活習慣病の予防を目指す。小学 4 年生の血液検査のみ、空腹時採血とする
- 平成 21 年 平成 20 年度に引き続き、モデル事業として「愛知県学童期生活習慣病対策事業」は 5 年を迎える児童を対象に実施する。本年度は検査項目に肝機能の検査（G O T，G P T）を加える。小学生の血液検査は空腹時採血
- 平成 22 年 モデル事業の「愛知県学童期生活習慣病対策事業」は、6 年を迎える児童を対象に実施
- 平成 23 年 中学生の血液検査を空腹時採血とする。平成 20 年度から 23 年度の「愛知県学童期生活習慣病対策事業」で行った小学 4 年生を対象とした保健指導を継続実施
岐阜大学による「学童における生活習慣と健康に関する前向き研究」に協力。調査対象は平成 27 年までの小学 1 年生
- 平成 25 年 「碧南市生活習慣病若年化対策事業」（D V D）を協力作成し、公益財団法人碧南市健康増進会により発行
- 平成 26 年 岐阜大学による「学童における生活習慣と健康に関する前向き研究」の調査対象が平成 30 年まで小学 4 年生となる
- 平成 29 年 岐阜大学による「学童における生活習慣と健康に関する前向き研究」の調査対象が令和 3 年まで中学 1 年生となる
- 令和元年 岐阜大学による「学童における生活習慣と健康に関する前向き研究」の調査対象が令和 5 年まで中学 3 年生となる

2 生活習慣病若年化対策事業

(1) 事業概要

小学 4 年生と中学 1 年生を対象に、血液検査・血圧測定などを実施し、子どもたちからの適切な食生活や生活習慣を身につけることで、将来の生活習慣病を予防する。

また、メタボリックシンドローム予防のための生活習慣を定着させることをめざし、個々の健康増進を図る。

(2) 検査内容等

身長・体重測定、血圧測定、腹囲測定、血液検査（空腹時）、生活習慣アンケート

(3) 実施時期

令和５年５月から６月

(4) 対象

市内の小学校７校および中学校５校

3 生活習慣病若年化対策事業結果

(1) 検査数

ア 小学４年生

学校名	男子			女子			合計		
	対象者	被検査者		対象者	被検査者		対象者	被検査者	
	人	人	%	人	人	%	人	人	%
新川小	60	53	88.3	68	57	83.8	128	110	85.9
中央小	51	42	82.4	40	33	82.5	91	75	82.4
大浜小	52	44	84.6	44	36	81.8	96	80	83.3
棚尾小	59	55	93.2	51	48	94.1	110	103	93.6
日進小	21	20	95.2	26	21	80.8	47	41	87.2
鷺塚小	57	46	80.7	53	48	90.6	110	94	85.5
西端小	39	33	84.6	29	25	86.2	68	58	85.3
合 計	339	293	86.4	311	268	86.2	650	561	86.3

イ 中学１年生

学校名	男子			女子			合計		
	対象者	被検査者		対象者	被検査者		対象者	被検査者	
	人	人	%	人	人	%	人	人	%
新川中	73	64	87.7	68	55	80.9	141	119	84.4
中央中	56	46	82.1	39	37	94.9	95	83	87.4
南 中	102	101	99.0	97	90	92.8	199	191	96.0
東 中	83	74	89.2	73	68	93.2	156	142	91.0
西端中	39	33	84.6	29	26	89.7	68	59	86.8
合 計	353	318	90.1	306	276	90.2	659	594	90.1

(2) 検査結果及び保健指導対象数

ア 小学4年生

学校名	性別	被検者	検 査 結 果							
			異常なし		要注意		要受診		保健指導	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
			人	%	人	%	人	%	人	%
新川小	男	53	25	47.2	16	30.2	12	22.6	14	26.4
	女	57	23	40.4	17	29.8	17	29.8%	10	17.5
中央小	男	42	18	42.9	17	40.5	7	16.7%	9	21.4
	女	33	16	48.5	14	42.4	3	9.1%	5	15.2
大浜小	男	44	26	59.1	8	18.2	10	22.7%	9	20.5
	女	36	17	47.2	12	33.3	7	19.4%	5	13.9
棚尾小	男	55	29	52.7	19	34.5	7	12.7%	14	25.5
	女	48	27	56.3	19	39.6	2	4.2%	3	6.3
日進小	男	20	7	35.0	7	35.0	6	30.0%	3	15.0
	女	21	12	57.1	3	14.3	6	28.6%	2	9.5
鷺塚小	男	46	23	50.0	9	19.6	14	30.4%	11	23.9
	女	48	23	47.9	13	27.1	12	25.0%	7	14.6
西端小	男	33	16	48.5	8	24.2	9	27.3%	5	15.2
	女	25	15	60.0	6	24.0	4	16.0%	1	4.0
計	男	293	144	49.1	84	28.7	65	22.2%	65	22.2
	女	268	133	49.6	84	31.3	51	19.0%	33	12.3
合計		561	277	49.4	168	29.9	116	20.7	98	17.5

※ 被検者には、血圧・腹囲測定のみも含む

イ 中学1年生

学校名	性別	被検者	検 査 結 果							
			異常なし		要注意		要受診		保健指導	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
			人	%	人	%	人	%	人	%
新川中	男	64	34	53.1	9	14.1	21	32.8	7	10.9
	女	55	30	54.5	13	23.6	12	21.8	9	16.4
中央中	男	46	23	50.0	14	30.4	9	19.6	6	13.0
	女	37	21	56.8	8	21.6	8	21.6	5	13.5
南中	男	101	41	40.6	25	24.8	35	34.7	14	13.9
	女	90	45	50.0	24	26.7	21	23.3	11	12.2
東中	男	74	43	58.1	18	24.3	13	17.6	8	10.8
	女	68	43	63.2	18	26.5	7	10.3	11	16.2
西端中	男	33	18	54.5	11	33.3	4	12.1	5	15.2
	女	26	17	65.4	7	26.9	2	7.7	2	7.7
計	男	318	159	50.0	77	24.2	82	25.8	40	12.6
	女	276	156	56.5	70	25.4	50	18.1	38	13.8
合計		594	315	53.0	147	24.7	132	22.2	78	13.1

※ 被検者には、血圧・囲測定のみも含む

(3) 血液検査等の要受診者の状況

ア 小学4年生

学校名	要受診者数	要受診者の事後状況		
		受診・異常なし	受診・異常あり	未受診
	人	人	人	人
新川小	29	13	6	10
中央小	10	3	3	4
大浜小	17	5	8	4
棚尾小	9	1	5	3
日進小	12	6	2	4
鷺塚小	26	9	7	10
西端小	13	7	6	0
合 計	116	44	37	35
割合 (%)		37.9	31.9	30.2

○要受診者のうち、受診結果で異常を認めた者の内訳（重複あり）（単位：人）

診 断 名	人数	診 断 名	人数
コレステロール高値	15	貧血	0
中性脂肪高値	5	肝機能障害	8
血糖高値	1	その他 *1	13
白血球高値	2		

*1 その他の内訳

- ・肥満症（傾向含む） 10人
- ・低体重 1人
- ・脂肪肝 1人
- ・その他 1人

○保健指導対象者の状況

学校名	保健指導対象者	対象者の総合判定		申し込み状況		
		要注意	要受診	健康へゴー！ *1	保健室指導 *2	不参加
	人	人	人	人	人	人
新川小	24	16	8	2	11	11
中央小	14	8	6	5	6	3

学校名	保健指導対象者	対象者の総合判定		申し込み状況		
		要注意	要受診	健康へゴー！ * 1	保健室指導 * 2	不参加
	人	人	人	人	人	人
大浜小	13	6	7	3	2	8
棚尾小	17	10	7	1	6	10
日進小	5	2	3	1	1	3
鷺塚小	19	11	8	4	7	8
西端小	6	3	3	1	2	3
合 計	98	56	42	17	35	46
割合 (%)		57.1	42.9	17.3	35.7	46.9

* 1 健康づくり教室「健康へゴー！」

* 2 養護教諭による保健指導「すくすく教室」

※ その他の活動

新川小 学校保健委員会

「元気なうんちをだそう！！」（１年生から３年生全員）

イ 中学１年生

学校名	要受診者数	要受診者の事後状況		
		受診・異常なし	受診・異常あり	未受診
	人	人	人	人
新川中	33	9	8	16
中央中	17	6	3	8
南 中	56	15	17	24
東 中	20	4	6	10
西端中	6	1	2	3
合 計	132	35	36	61
割合 (%)		26.5	27.3	46.2

○要受診者のうち、受診結果で異常を認めた者の内訳（重複あり）（単位：人）

診断名	人数	診断名	人数
コレステロール高値	10	貧血	2
中性脂肪高値	13	肝機能障害	4
血糖高値	2	その他 * 1	14
白血球高値	1		

＊ 1 その他の内訳

- ・肥満症（傾向含む） 2人
- ・低体重（傾向含む） 7人
- ・赤血球増多症 2人
- ・その他 3人

○保健指導対象者の状況

学校名	保健指導 対象者	対象者の総合判定		保健室指導	
		要注意	要受診	参加	不参加
	人	人	人	人	人
新川中	16	7	9	16	0
中央中	11	7	4	11	0
南 中	25	6	19	24	1
東 中	19	14	5	19	0
西端中	7	4	3	3	4
合 計	78	38	40	73	5
割合（％）		48.7	51.3	93.6	6.4

※ その他の活動

- 新川中 「健康分析集会～血液検査の結果から～」（1年生全員）
- 南中 「健康分析集会～血液検査の結果から～」（1年生全員）
- 中央中 「学校保健集会」（1年生全員）
- 東中 「すこやか集会～血液検査の結果から～」（1年生全員）

(4) 血液検査平均値 (M) 標準偏差値 (SD)

ア 小学4年生

性別	男子			女子		
対象数	293人			268人		
項目	M	SD	M±2SD	M	SD	M±2SD
身長	133.37	5.68	122.2～ 143.9	133.88	6.62	121.3～147.7
体重	31.52	7.11	22.7～55.2	30.97	6.71	21.6～48.1
腹囲	59.65	8.83	47.8～80.3	58.17	7.54	47.8～75.3
腹囲/身長比	0.45	0.06	0.365～ 0.579	0.43	0.05	0.366～0.539
肥満度	4.17	16.06	-18.1～46.8	2.30	13.48	-19.0～33.1
最高血圧	101.24	11.17	80.6～124.4	59.21	8.10	82.1～126.4
最低血圧	59.21	8.10	43.2～73.1	59.68	8.76	44.1～76.6
白血球	6172.84	1665.27	3729～10117	6063.23	1550.92	3874～9723
赤血球	481.42	29.65	428.0～ 543.9	481.77	29.62	428.4～542.3
血色素量	13.27	0.71	11.90～ 14.71	13.39	0.71	12.13～14.74
ヘマトクリット	39.90	1.98	36.22～ 44.04	40.52	2.10	36.76～44.55
平均赤血球容積	82.99	2.81	77.9～88.8	84.18	2.90	79.0～90.0
平均赤血球血色素量	27.60	1.12	25.31～ 29.55	27.82	1.17	25.47～29.96
平均赤血球血色素濃度	33.26	0.74	31.75～ 34.60	33.05	0.72	31.70～34.47
血糖	87.95	5.58	77.7～99.0	86.46	5.74	75.4～97.6
総蛋白量	7.33	0.37	6.68～8.14	7.30	0.36	6.68～8.03
総コレステロール	175.25	26.03	128.6～ 229.9	179.90	28.84	130.0～240.6
HDL コレステロール	70.67	14.09	47.5～102.9	69.17	13.88	44.8～98.7
LDL コレステロール	93.84	21.24	58.0～141.2	98.82	24.60	61.6～153.1
動脈硬化指数	1.54	0.50	0.77～2.71	1.67	0.63	0.84～2.89
中性脂肪	55.67	31.36	20～145	65.05	39.12	26～178
AST (GOT)	26.08	4.80	19.5～36.1	23.79	4.59	17.4～33.6
ALT (GPT)	15.88	7.73	9.9～29.5	13.63	7.02	8.9～20.4

イ 中学1年生

性別	男子			女子		
対象数	3 1 8 人			2 7 6 人		
項目	M	SD	M± 2 SD	M	SD	M± 2 SD
身長	152.93	8.05	137.3～ 168.9	151.40	6.30	139.0～163.4
体重	43.63	10.46	29.8～69.6	44.44	10.26	31.6～66.6
腹囲	63.68	9.09	51.6～83.6	63.70	8.27	52.7～80.8
腹囲/身長比	0.42	0.05	0.346～ 0.523	0.42	0.05	0.355～0.515
肥満度	-1.32	15.34	-21.9～36.1	1.53	17.52	-20.1～39.9
最高血圧	107.03	10.97	84.0～127.0	106.29	10.15	88.2～127.2
最低血圧	60.13	7.75	46.5～76.3	60.26	8.11	43.8～75.0
白血球	5889.59	1575.71	3790～8699	6222.62	1565.17	3927～9743
赤血球	506.84	35.49	445.8～ 576.0	478.92	31.06	422.6～540.5
血色素量	14.16	0.90	12.48～ 15.96	13.61	0.95	11.82～15.12
ヘマトクリット	42.65	2.56	37.85～ 47.74	41.50	2.44	36.81～45.66
平均赤血球容積	84.18	3.36	78.5～89.8	86.69	4.02	81.3～93.2
平均赤血球血色素量	27.95	1.40	25.44～ 30.16	28.44	1.81	25.68～31.05
平均赤血球血色素濃度	33.19	0.76	31.75～ 34.61	32.78	0.95	31.28～34.26
血糖	91.03	13.30	80.8～102.4	89.06	5.88	79.3～101.9
総蛋白量	7.32	0.36	6.68～8.06	7.47	0.41	6.74～8.28
総コレステロール	170.71	30.01	124.0～ 225.5	174.57	27.59	131.9～234.3
HDL コレステロール	67.34	13.73	44.5～96.4	68.16	13.62	44.5～96.5
LDL コレステロール	90.56	25.36	56.3～138.3	93.49	22.43	55.5～140.0
動脈硬化指数	1.61	0.58	0.82～2.94	1.63	0.62	0.85～2.92
中性脂肪	70.53	50.72	27～168	75.10	41.98	30～180
AST (GOT)	22.06	5.53	15.1～35.0	18.23	4.15	13.1～27.0
ALT (GPT)	16.23	10.38	9.6～32.0	12.20	6.44	7.5～20.6

第 1 2 へきなん健康づくり 2 1 プラン推進事業

1 へきなん健康づくり 2 1 プラン推進事業の歩み

平成 15 年 へきなん健康づくり 2 1 プラン（第一次）策定（10 年計画）
平成 19 年 へきなん健康づくり 2 1 プラン（第一次）中間評価
平成 26 年 へきなん健康づくり 2 1 プラン（第二次）策定（10 年計画）
平成 26 年 へきなん健康づくり 2 1 プラン推進イベント開始
平成 27 年 へきなん健康マイレージ事業開始
令和元年 へきなん健康づくり 2 1 プラン（第二次）中間評価・見直し

2 へきなん健康づくり 2 1 プラン推進事業

(1) 目的

へきなん健康づくり 2 1 プラン（第二次）推進のために、全市的に碧南市
の健康課題、健康づくりについて普及啓発をはかる。

(2) 対象者

市民

(3) 日時

令和 6 年 1 月 1 5 日（月）午後 1 時 3 0 分から 3 時

(4) 実施場所

碧南市役所 2 階 会議室 4 ・ 5

(5) 内容

講演 「耳からはじめる認知症予防への取り組み

～ヒアリングフレイルとは？難聴がもたらす認知症リスクとの
関係～」

講師 ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社 聴脳科学総合研究所

所長 東京都立大学 非常勤講師 中石 真一路 氏

(6) 参加人数

8 8 人

3 へきなん健康マイレージ事業

(1) 目的

へきなん健康づくり 2 1 プラン（第二次）副題である「健康寿命日本一を目指して」のために、市民の主体的な健康づくりへの動機付け支援を行い、健

康的な生活習慣の定着、継続を目指すとともに、企業・団体等との連携による健康づくりを支える環境の整備を促進することを目的とする。

(2) 対象者

18歳以上の市民、在勤者

(3) 優待カード発行数

66枚（紙） 73枚（アプリ） 計139枚

第 1 3 骨髄提供者等に対する助成事業

1 骨髄提供者等に対する助成事業

(1) 目的

公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業にドナー登録を行い、骨髄又は末梢血幹細胞の提供を行った人及び骨髄提供者が勤務する事業所に対して助成金を交付することにより、骨髄提供者等の負担の軽減を図るとともに、骨髄等の移植を推進する。

(2) 対象者

ア 骨髄提供者で骨髄等の提供の日に市内に住所を有する人

イ (2)アの骨髄提供者（個人事業主を除く）が骨髄等の提供の日に勤務している国内の事業所（国、地方公共団体、独立行政法人、地方独立行政法人、国立大学法人及び公立大学法人を除く）

(3) 助成金額

ア 骨髄提供者

1人につき、通院又は入院に要した日数に20,000円を乗じた額。
ただし、通算7日（140,000円）を限度とする。

イ 事業所

1事業所につき、1(1)の骨髄提供者が通院又は入院に要した日数に10,000円を乗じた額。ただし、通算7日（70,000円）を限度とする。

(4) 開始日

平成31年4月1日

(5) 実績

令和元年度 0件

令和2年度 1件（6日分、120,000円）

令和3年度 0件

令和4年度 0件

令和5年度 0件

第 1 4 がん患者支援事業

1 がん患者アピアランスケア支援事業

(1) 目的

がん患者のがん治療による外見変貌を補完する補整用具の購入費用の一部を助成することにより、がん患者の就労及び社会参加を支援し、療養生活の質の向上を図る。

(2) 対象者

下記のアからエの全てに当てはまる人

ア 申請時において碧南市に住民登録している人

イ がんと診断され、その治療を受けた又は現に受けている人

ウ がん治療による脱毛又は乳房が変形したことに伴い補整用具を購入した人

エ 過去に同じ対象品で助成を受けていない人

(3) 助成内容

ア ウィッグ（かつら）

ウィッグ全頭用又は部分用で、ウィッグと同時に購入した頭皮保護用ネットを含む。

イ 乳房補整具

補整下着、補整パッド又は人工乳房。補整パッド又は人工乳房と同時に購入した補整パッド又は人工乳房を固定するための補整機能のない下着を含む。

(4) 助成金額

補整用具の購入費用に2分の1を乗じて得た額とし、2万円を上限とする。助成の回数は、対象者1人につき、補整用具の種類ごとに1回とする。

(5) 開始日

令和4年4月1日

(6) 実績

(単位：件)

	ウィッグ	乳房補整具
令和5年度	21	10

2 若年がん患者在宅療養支援事業

(1) 目的

医学的知見に基づき回復の見込みがない状態に至ったと診断された若年のがん患者に対し、若年がん患者在宅療養費助成金を支給することにより、住み慣れた自宅で最期まで自分らしく安心して日常生活を送ることができるよう支援し、患者及びその家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減を図ることを目的とする。

(2) 対象者

下記のアからエの全てに当てはまる人

- ア 利用時において碧南市に住民登録している人
- イ 利用時において、40歳未満の人
- ウ がんと診断された人
- エ 在宅における療養生活の支援及び介護が必要な人

(3) 助成内容

- ア 在宅サービス
- イ 福祉用具の貸与
- ウ 福祉用具の購入

※他の制度において支援事業と同等の助成又は給付を受けているものは、対象外

(4) 助成金額

在宅サービス等の利用費用の9割相当額とし、1か月5万4千円を上限とする。

(5) 開始日

令和5年4月1日

(6) 実績

	申請数（件）
令和5年度	1